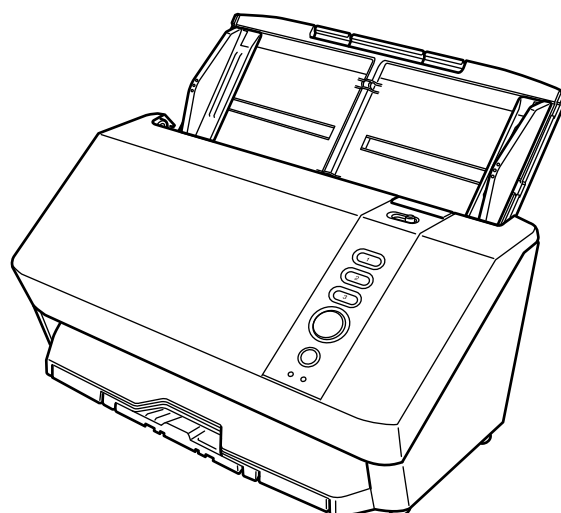


SP-2240

オペレーターガイド



目次

はじめに	7
マニュアルの種類	7
商標および登録商標	9
開発・販売元	9
発行日・発行責任	9
安全にお使いいただくために	9
本書で正在している記号	10
本書での略記	11
連続する操作の表記	12
本書に掲載している画面	12
ご利用条件	12
スキャナーをお使いになる前に	13
このスキャナーでできること	13
スキャナーの接続形態	15
各部の名称と働き	16
ランプ（LED）の表示内容	22
スキャナーのセットアップを始める	23
ソフトウェアの概要	23
動作環境	25
ソフトウェアのインストール方法（オンラインの環境）	26
ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境）	30
基本的なスキャナーの使い方	35
電源の投入/切断	35
電源の投入	35
電源の切断	36
省電力モードへの移行と復帰	37
ADF の開閉	39
ADF の開け方	39
ADF の閉じ方	40
ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定	41

スタッカーの設定	42
基本的な読み取り方	43
画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する	44
スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る	46
Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する	48
原稿のセット方法	51
原稿のセット	51
原稿の準備	51
原稿のセット方法	53
読み取りできる原稿	55
原稿のサイズ	55
原稿の種類	55
原稿の厚さ	55
うまく読み取れない場合がある原稿	56
読み取れない原稿	56
原稿とプラスチックカードの注意	57
セットできる原稿の枚数	59
穴を開けてはいけない領域	60
インデックスタブ付き原稿のセット方法	61
原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件	62
混載条件	64
自動原稿サイズ検出を行うための条件	68
A3 キャリアシートを使用する場合の条件	69
写真キャリアシートを使用する場合の条件	72
いろいろな原稿の読み取り方	74
幅の違う原稿を読み取りたいとき	74
幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき	76
2 つ折りの原稿を読み取りたいとき	79
封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき	81
A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき	83
写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき	85
長尺帳票を読み取りたいとき	87
日常のお手入れ	89

清掃用品	89
清掃箇所と清掃頻度	91
スキャナー外部の清掃	92
スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパー）	93
スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布）	95
キャリアシートの清掃	101
消耗品の交換	102
消耗品と交換周期	102
ブレーキローラの交換	104
ピックローラの交換	107
困ったときには	112
原稿づまりが発生したときは	112
エラーについて	114
原稿づまり/ピックエラー	116
マルチフィード	116
給紙モードスイッチ切り替え検出	116
センサーよごれ	117
ADF オープン	117
光量異常（ADF）	117
センサー異常	118
メモリー異常/LSI 異常	118
画像メモリー RW エラー	118
RAM 異常	119
ランプ系異常	119
スキャナー内部異常	119
スキャナー内部通信異常	120
モーター異常	120
EEPROM 異常	120
原稿の搬送を中止しました	120
ほかで使用中	121
読み取り領域指定異常	121
原稿がありません。原稿をセットしてください。	122
トラブルと対処方法	123
電源が投入されない	124
スキャナーとコンピューターを USB で接続できない	125
読み取りが開始されない	126

原稿の読み取りに時間がかかる	127
絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する	128
文字や線の読み取り結果が良くない	129
画像がゆがむまたは鮮明ではない	130
画像に縦線（縦筋）が出る	131
頻繁に原稿が重なって搬送される	132
原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる	135
原稿づまり/ピックアップミスが頻繁に起こる	137
画像が間延びする	139
画像の先端または後端に影がある	140
原稿に黒い跡が残る	141
キャリアシートがうまく送られない/つまる	142
キャリアシートで読み取ると画像が欠ける	144
工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる	144
お問い合わせの前に	145
お問い合わせの前に行うこと	145
お問い合わせの前に確認すること	145
装置ラベルの確認	147
スキャナー設定（Software Operation Panel）	148
Software Operation Panel の起動	148
Software Operation Panel の閲覧モード設定	150
「閲覧モード」の設定	151
「閲覧モード」の設定解除	153
パスワードの設定	155
パスワードの変更	156
パスワードの設定解除	157
パスワードを紛失したときの対応	158
設定項目	159
装置設定	159
装置設定 2	161
枚数カウンターに関する設定	163
枚数カウンターの確認	163
枚数カウンターのクリア	165
消耗品交換/清掃指示メッセージ	166
スキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）	167
消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター）	168
読み取りに関する設定	169
読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整）	169

画像の端にできる影や筋の消去（縁消し(ADF)）	171
指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）	173
給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）	174
高地で読み取る機能の設定（高地モード）	175
原稿の重なり（マルチフィード）検出に関する設定	176
原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）	176
待機時間に関する設定	178
省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）	178
スキャナーとコンピューターの接続に関する設定	180
USB 動作の設定（USB）	180
電源投入/切断およびスキャナーの消費電力に関する設定	181
電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）	181
スキャナーの保守に関する設定	182
ガラスのよごれを通知する設定（ガラスよごれ通知）	182
付録	183
スキャナー基本仕様	183
設置諸元	185
外形寸法	186
スキャナーのオプション	187
スキャナーのオプションの交換	190
ADF 給紙シュート（フィーダー）の交換	190
スタッカーの交換	192
スタックーストッパーの交換	193
ソフトウェアのアンインストール手順	195
e-文書法に適合した電子文書の作成	196
修理・お問い合わせ	198
トラブル対処	198
修理サービスのご案内	198
お問い合わせ窓口	199
サプライ用品の購入先	200

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。
必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意（紙、PDF）	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。 本製品をお使いになる前に必ずお読みください。
スタートアップガイド（紙）	スキャナーの梱包品の確認、保護用部材の取り外し、使用前の準備を説明しています。
オペレーターガイド（本書）（HTML）	スキャナーのセットアップ方法、基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。
PaperStream Capture ユーザーズガイド（HTML）	PaperStream Capture の概要、導入方法、設定方法、原稿の読み取り方法、便利な設定、画面項目を説明しています。
PaperStream IP ヘルプ	PaperStream IP ドライバーの使い方や設定方法を説明しています。
PaperStream ClickScan ヘルプ	PaperStream ClickScan の使い方や設定方法を説明しています。
SP Series Online Update ヘルプ	SP Series Online Update の使い方や設定方法を説明しています。

上記のほかに、使用するソフトウェアに応じて、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
ソフトウェアについては、[ソフトウェアの概要 \(23 ページ\)](#)を参照してください。

● スキャナーをセットアップするときの参照マニュアル

作業		参照先
開梱～使用前の準備		スタートアップガイド
スキャナーのセットアップ	接続形態の確認	オペレーターガイド ● スキャナーの接続形態 (15 ページ)
	ソフトウェアのインストール/ 接続方法の設定	● オペレーターガイド - スキャナーのセットアップを始める (23 ページ)
読み取り	読み取りの流れ	オペレーターガイド

作業		参照先
		• 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (44 ページ) • スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (46 ページ)
	読み取り設定	• スキャナードライバーのヘルプ • 画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプ
スキャナーの動作設定		オペレーターガイド • スキャナー設定 (Software Operation Panel) (148 ページ)

商標および登録商標

Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

Google および Google Chrome は、Google LLC.の商標または登録商標です。

Microsoft、Internet Explorer、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5（横浜アイマークプレイス）

発行日・発行責任

発行日 2026 年 7 月

発行責任 株式会社 PFU

Regulatory Model : P3880E

© PFU Limited 2026

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。

**警告**

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

**注意**

この表示は、取り扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

また、警告表示とは別に、説明中に次の記号を使用しています。

重要

特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。

ヒント

操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® 10 Home (32/64 ビット) Windows® 10 Pro (32/64 ビット) Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) Windows® 10 Education (32/64 ビット)	Windows 10 (*1)
Windows® 11 Home (64 ビット) Windows® 11 Pro (64 ビット) Windows® 11 Enterprise (64 ビット) Windows® 11 Education (64 ビット)	Windows 11 (*1)
Windows Server® 2016 Standard (64 ビット)	Windows Server 2016 (*1)
Windows Server® 2019 Standard (64 ビット)	Windows Server 2019 (*1)
Windows Server® 2022 Standard (64 ビット)	Windows Server 2022 (*1)
Windows Server® 2025 Standard (64 ビット)	Windows Server 2025 (*1)
Internet Explorer®	Internet Explorer
Google Chrome™	Google Chrome
PaperStream IP (TWAIN) for SP Series PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series	PaperStream IP ドライバー
A3 キャリアシート 写真キャリアシート	キャリアシート

*1：すべてのオペレーティングシステムを区別しないで説明する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コントロール パネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

本書では、Windows 11 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデートするときに提供されるマニュアルを参照してください。

ご利用条件

本書については、次のご利用条件をご確認のうえご利用ください。

- 本書に記載されている機能をすべて使用する場合は、SP シリーズに関連するソフトウェアおよびファームウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。
- 本書は、製品を購入または導入いただいたお客様のための資料です。本書について、購入または導入されたお客様以外からのお問い合わせにはお応えできない場合がありますので、ご了承ください。
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更、またはサービスを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の利用、または利用できなかったことにより万一損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。

スキャナーをお使いになる前に

ここでは、スキャナーを使い始める前に知っておきたい概要について説明します。

このスキャナーでできること

● スキャナーの接続

- スキャナーを USB ケーブルで接続できます

→ [スキャナーの接続形態 \(15 ページ\)](#)

● 読み取りの方法

- コンピューターから読み取りを開始できます

→ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(44 ページ\)](#)

- スキャナーのボタンで読み取りを開始できます

→ [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(46 ページ\)](#)

● 多様な原稿の読み取り

- 読み取りが難しい原稿（2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの転写紙など）も読み取れます

→ [読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)

→ [幅の違う原稿を読み取りたいとき \(74 ページ\)](#)

→ [封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき \(81 ページ\)](#)

- 厚さやサイズ、種類の異なる原稿をまとめて一度に読み取ります

→ [混載条件 \(64 ページ\)](#)

→ [幅の違う原稿を読み取りたいとき \(74 ページ\)](#)

- 大きいサイズの原稿を読み取ります

→ [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(83 ページ\)](#)

→ [長尺帳票を読み取りたいとき \(87 ページ\)](#)

- 特定のサイズの原稿を読み取ります

→ [幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき \(76 ページ\)](#)

- 大事な原稿、写真や切り抜きを傷つけないよう保護しながら読み取ります

→ [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(83 ページ\)](#)

→ [写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき \(85 ページ\)](#)

→ [A3 キャリアシートを使用する場合の条件 \(69 ページ\)](#)

→ [写真キャリアシートを使用する場合の条件 \(72 ページ\)](#)

- e-文書法の画質要件を満たした電子文書を作成します

→ [e-文書法に適合した電子文書の作成 \(196 ページ\)](#)

- **スキャナーを集中管理**

- PaperStream Central Admin Agent を使用すると、PaperStream Central Admin でスキャナーを管理
できます
詳細は、PaperStream Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

スキャナーの接続形態

- スキャナーを USB で接続する

スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。



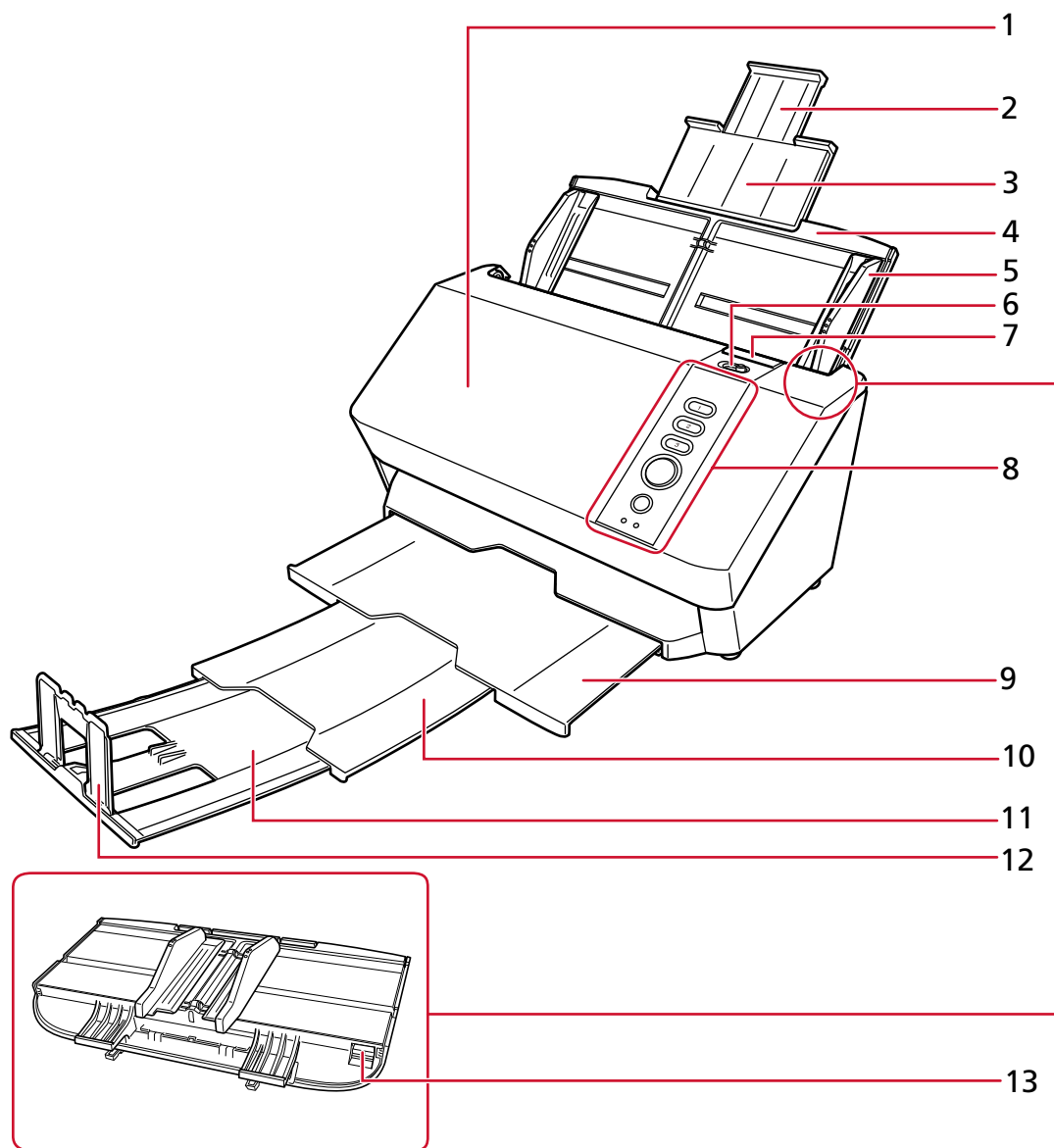
次の方法で読み取りできます。

- コンピューターから読み取る
 - ➔ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(44 ページ\)](#)
- スキャナーのボタンで読み取る
 - ➔ [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(46 ページ\)](#)

各部の名称と働き

スキャナーの各部名称について説明します。

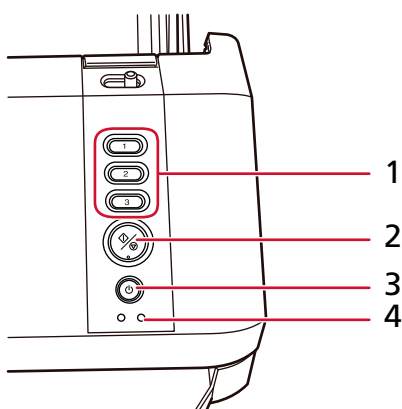
● 前面



No.	名称	働き
1	ADF（自動給紙機構）	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿を、1 枚ずつ引き込んで搬送します。 消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開けます。
2	シュートエクステンション 2	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。
3	シュートエクステンション 1	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

No.	名称	働き
4	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
5	サイドガイド	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿の幅に合わせて、原稿の横位置を決めます。 原稿が傾いて搬送されるのを防止します。
6	給紙モードスイッチ	給紙モードスイッチを左にスライドすると、手差し・単送モードに切り替わります。
7	ADF オープンレバー	ADF オープンレバーを手前に引くと、ADF が開きます。
8	操作パネル	スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。 ➔ 操作パネル (17 ページ)
9	スタッカー	引き出して使用します。スタッカーを引き出すと、排出された原稿が積み重ねられます。
10	スタッカーエクステンション 1	読み取る原稿の長さに合わせて、手前にスライドさせて使います。
11	スタッカーエクステンション 2	読み取る原稿の長さに合わせて、手前にスライドさせて使います。
12	スタッカーストッパー	読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。
13	サイドガイド拡張スイッチ	サイドガイドの可動範囲を広げます。 ➔ 幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき (76 ページ)

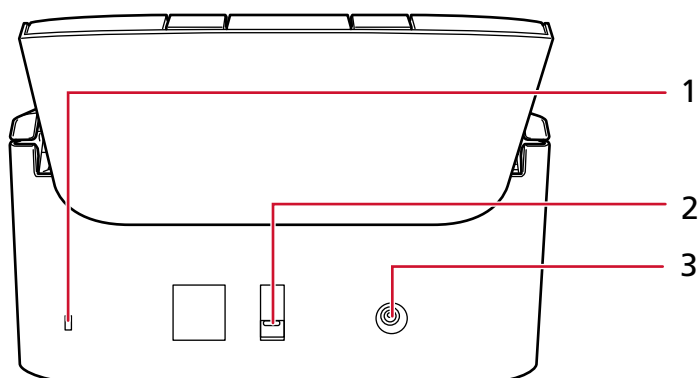
● 操作パネル



No.	名称	働き
1	Send to ボタン	読み取りを開始します。 次のこともできます。

No.	名称	働き
		- 特定の画像読み取り用アプリケーションで読み取りを開始できます。 → スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (46 ページ)
2	Scan/Stop ボタン	読み取りを開始します。 また、次のような動作になります。 - 読み取り中にボタンを押すと、原稿の搬送を中止 (Power/Check ランプ (LED) が緑色の点灯) します。 - 継続読み取りが可能なとき、原稿をセットせずにボタンを押すと、読み取りを完了します。 - エラー状態 (Power/Check ランプ (LED) が橙色の点灯または点滅) のときにボタンを押すと、エラー状態を解除します。 一時的なエラーの場合は、継続読み取りが可能 (Power/Check ランプ (LED) が緑色の早い点滅 (0.5 秒点灯 0.5 秒消灯)) になります。また、原稿の重なりが検出されたときは、原稿が排出されます。
3	電源ボタン	スキャナーの電源を投入したり、切断したりできます。
4	Power/Check ランプ (LED)	スキャナーの状態を示します。 → ランプ (LED) の表示内容 (22 ページ)

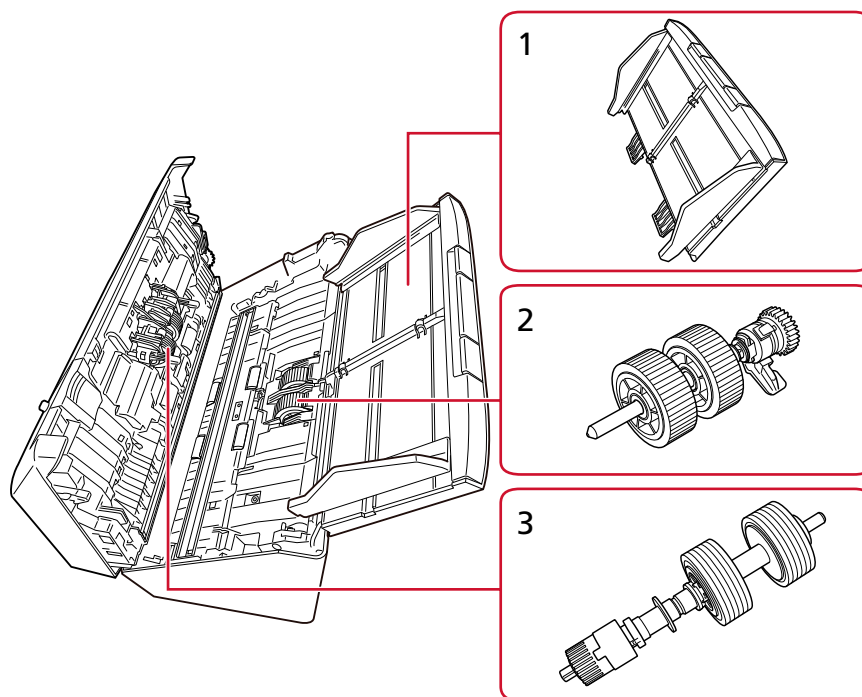
● 背面



No.	名称	働き
1	セキュリティケーブルスロット	市販のセキュリティケーブル (盗難防止用) を接続します。
2	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。
3	電源コネクター	電源ケーブルを接続します。

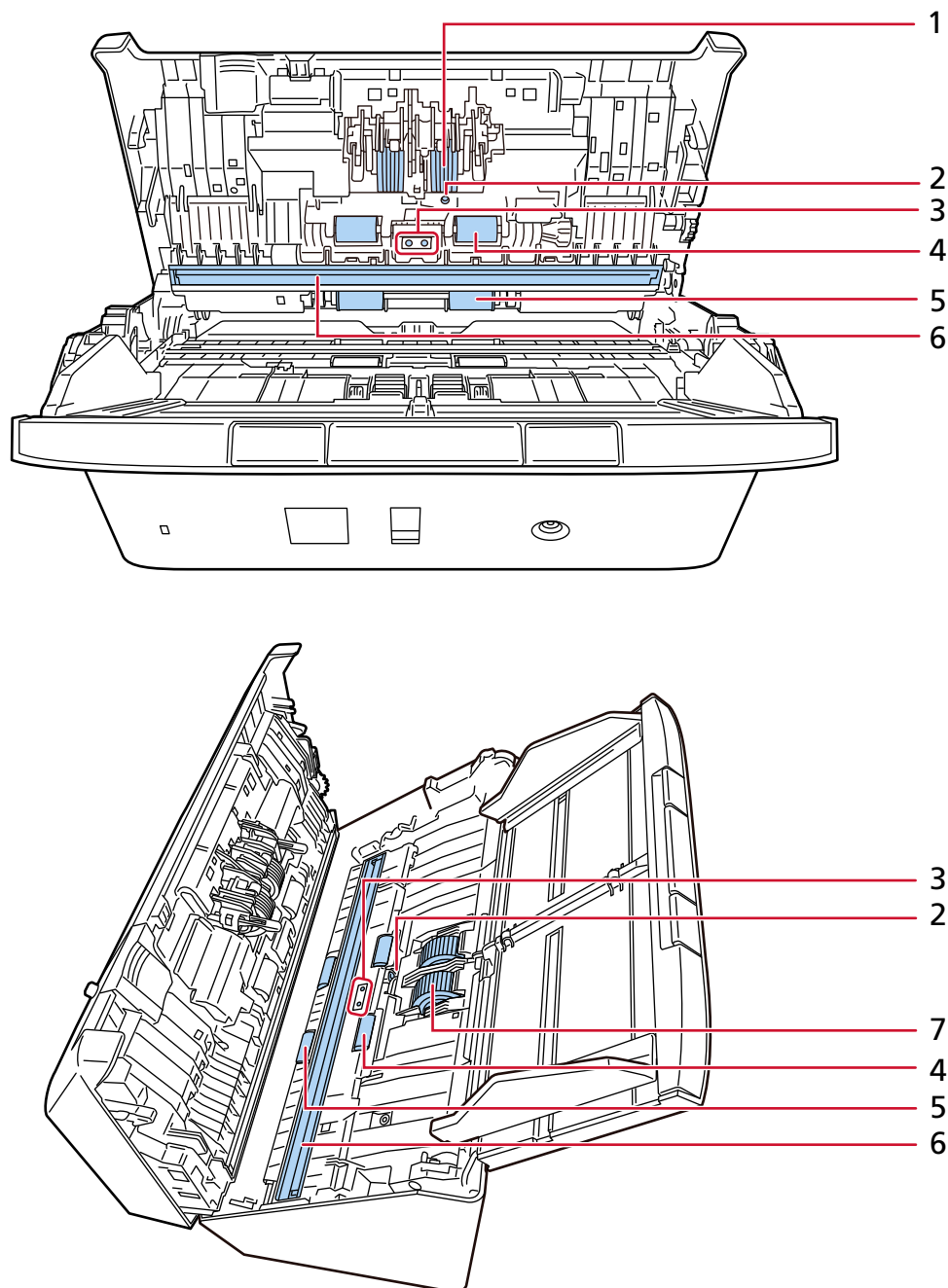
No.	名称	働き
		電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したケーブルのことです。

● 取り外し可能部品



No.	名称	働き
1	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
2	ピックローラ	ADF 給紙シュート（フィーダー）の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。
3	ブレーキローラ	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されることを防止するローラーです。

● 内部 (ADF)



No.	名称	働き
1	ブレーキローラ (2 か所)	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されることを防止するローラーです。
2	超音波センサー (2 か所)	超音波によって原稿の重なりを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、原稿の重なりを検出します。

No.	名称	働き
3	原稿検知センサー（2 か所）	原稿の有無を検知するセンサーです。
4	フィードローラー（4 か所）	ADF 内で原稿を搬送するローラーです。
5	排出ローラー（4 か所）	ADF からスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。
6	ガラス（2 か所）	原稿を読み取る面です。
7	ピックアップローラ（2 か所）	ADF 給紙シュート（フィーダー）の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。

ランプ（LED）の表示内容

● Power/Check ランプ（LED）

表示内容	説明
緑色の点灯	読み取り可能な状態です。 正常に起動したことを意味します。
緑色の遅い点滅（2 秒点灯 2 秒消灯）	省電力状態であることを意味します。 電源を投入したあと、スキャナーの操作をしないまま、一定時間経過すると、省電力状態になります。
緑色の通常点滅（1 秒点灯 1 秒消灯）	原稿を読み取り中または画像転送中であることを意味します。 クリーニングモードになったときもこの表示になります。
緑色の早い点滅（0.5 秒点灯 0.5 秒消灯）	電源を投入したあと、起動中であることを意味します。 原稿の継続読み取りが可能なきもこの表示になります。 次の場合に、継続読み取りが可能になります。 - 読み取り設定で継続読み取りを有効にしている場合に、セットした原稿がすべて搬送されたあと - 読み取り中に発生した一時的なエラー（橙色に点灯または点滅）を解除したあと
橙色の点灯	原稿を読み取り中に、一時的なエラーが発生したことを意味します。 ➔ エラーについて (114 ページ)
橙色の点滅	原稿を読み取り中に、装置異常または一時的なエラーが発生したことを意味します。 ➔ エラーについて (114 ページ) 装置異常が発生した場合は、電源を再投入してください。 電源を再投入したあとも引き続き装置異常が発生する場合は、サービスエンジニア、本製品を購入した販社/販売店、または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ)に連絡してください。

スキャナーのセットアップを始める

ここでは、スキャナーを使用するためのセットアップについて説明します。

スキャナーを使用するには、ダウンロードサイトからインストーラーを取得して、次のセットアップを行います。

- ソフトウェアのインストール
スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェアをインストールします。
 - ➔ [ソフトウェアのインストール方法（オンラインの環境）（26 ページ）](#)
 - ➔ [ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境）（30 ページ）](#)
- スキャナーの接続
スキャナーを USB ケーブルで接続します。
スキャナーの接続形態については、[スキャナーの接続形態（15 ページ）](#)を参照してください。
そのあと、必要に応じて、次の設定を行います。
- スキャナーの動作設定
 - ➔ [スキャナー設定（Software Operation Panel）（148 ページ）](#)

ソフトウェアの概要

スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェアについて説明します。

ソフトウェアは、ダウンロードサイトからインストーラーを取得して一括インストールするか、必要なソフトウェアを個別にインストールします。

- PaperStream IP ドライバー
PaperStream IP ドライバーは、TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。ネットワークに接続したスキャナーにも対応しています。
PaperStream IP ドライバーには、次の種類があります。
 - PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 32 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series
TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 64 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
オペレーティングシステムに関係なく、32 ビットの画像読み取り用アプリケーションを使用する場合は、PaperStream IP (TWAIN) for SP Series を使用してください。
詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。
- Software Operation Panel
原稿を読み取るときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。
PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。
 - ➔ [スキャナー設定（Software Operation Panel）（148 ページ）](#)
- Error Recovery Guide
スキャナーのエラーが発生した場合に、スキャナーの状態と対処方法を表示するアプリケーションです。

PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。
 対処方法は、[困ったときには \(112 ページ\)](#)でも参照できます。

- Error Recovery Guide (マニュアル)
 Error Recovery Guide が通知するエラーの対処方法が記載されたマニュアルです。
- PaperStream ClickScan
 PaperStream IP (TWAIN) for SP Series に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
 シンプルな設定と操作だけで読み取りできます。
 コンピューターにログインすると同時に自動で起動し、タスクバーの通知領域に常駐します。
 詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。
- PaperStream Capture
 PaperStream IP (TWAIN) for SP Series に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
 スキャナーの読み取り処理の設定をジョブに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。
 なお、PaperStream Capture には有償の PaperStream Capture Pro/PaperStream Capture Pro Premium があり、評価版で PaperStream Capture Pro Premium の機能を体験できます。
 詳細は、PaperStream Capture ユーザーズガイドを参照してください。
- マニュアル
 安全上のご注意およびオペレーターガイドがインストールされます。
- SP Series Online Update
 次の最新アップデートプログラムを確認し、アップデートするアプリケーションです。
 - コンピューターにインストールされているソフトウェア
 - コンピューターと接続しているスキャナーのファームウェア
 詳細は、SP Series Online Update のヘルプを参照してください。

動作環境

ソフトウェアをインストールするコンピュータの動作環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	● Windows® 10 Home (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Pro (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Education (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Home (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Pro (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Enterprise (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Education (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2016 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2019 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2022 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2025 Standard (64 ビット) (*1)
CPU	Intel または Intel 互換プロセッサ
ディスプレイ解像度	1024×768 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ (*2)
ディスク容量	12GB 以上の空き容量が必要 (*3)
インターフェイス	USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1

*1：添付ソフトウェアは、デスクトップアプリケーションとして動作します。

*2：PaperStream Capture を使用する場合は、1280×800 ピクセル以上、65536 色以上表示可能なディスプレイを使用してください。

*3：原稿を読み取るときは、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

ソフトウェアのインストール方法（オンラインの環境）

スキャナーを接続するコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

コンピューターをインターネットに接続する必要があります。

スキャナーを接続するコンピューターがインターネットに接続できない場合は、[ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境）](#)（30 ページ）を参照してインストールしてください。

重要

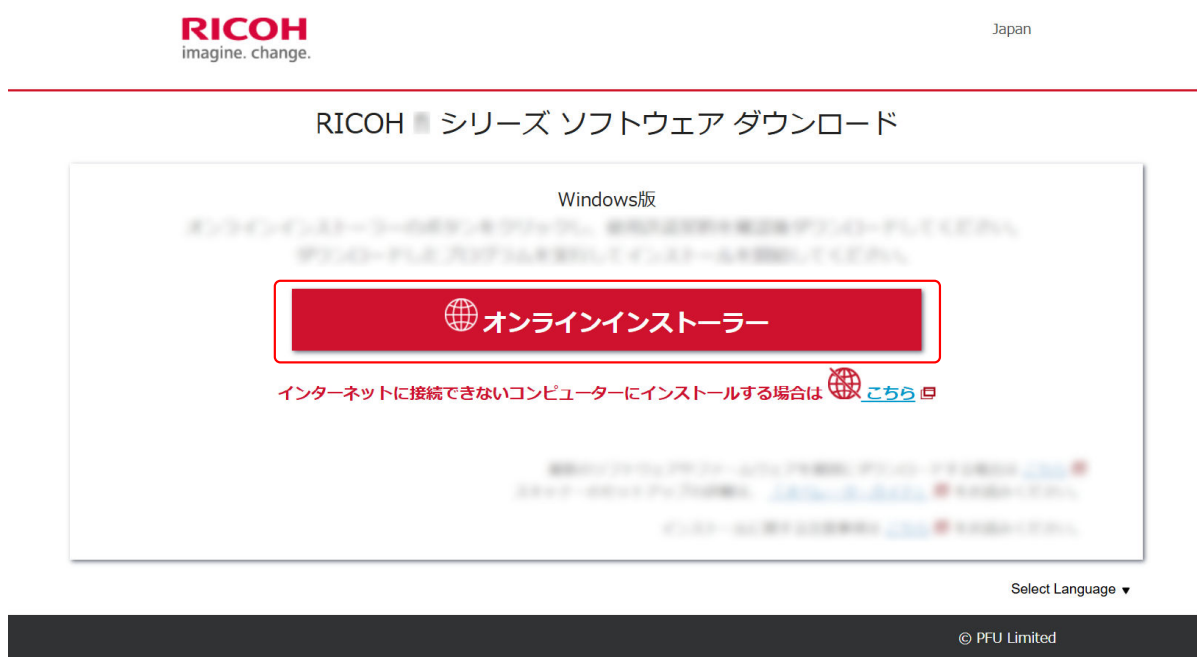
- 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
→ [ソフトウェアのアンインストール手順](#)（195 ページ）

1 コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にサインインします。

2 ダウンロードサイトに接続します。

<https://www.pfu.ricoh.com/sp/d/>

3 「オンラインインストーラー」をクリックします。

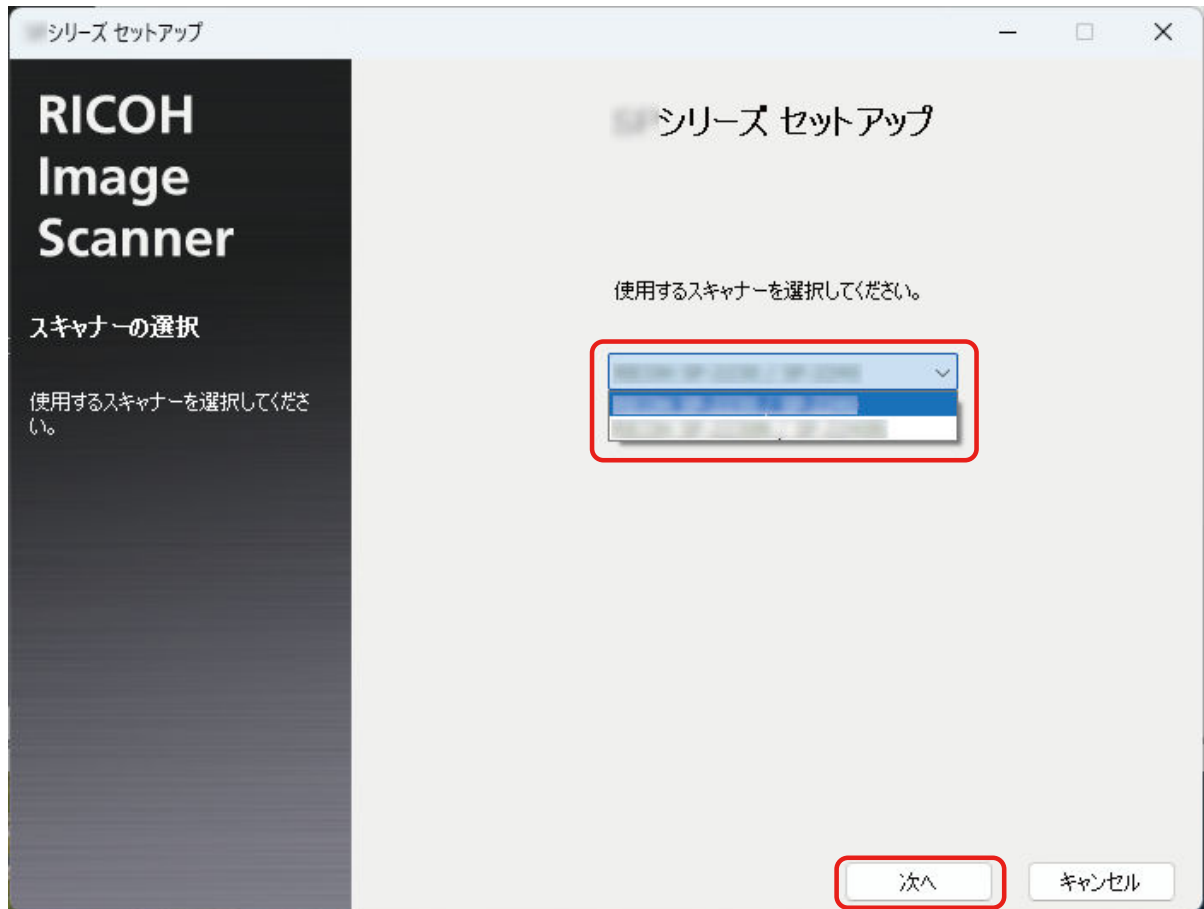


4 使用許諾契約の画面で、内容を確認して【同意してダウンロード】ボタンをクリックします。

オンラインインストーラーのダウンロードが開始されます。

5 ダウンロードしたオンラインインストーラー「Online Installer SP Series.exe」をダブルクリックします。

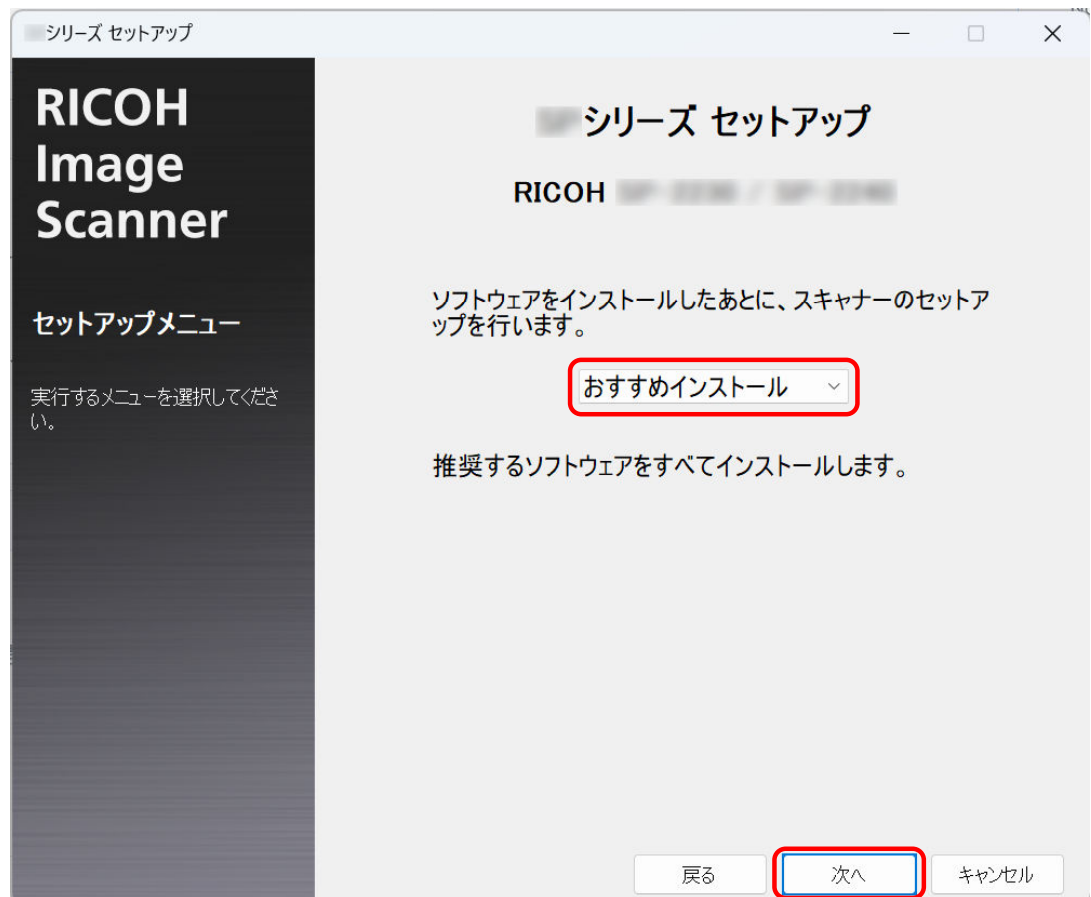
- 6 機種名選択画面が表示されたら、使用するスキャナーの機種名を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



- 7 おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。

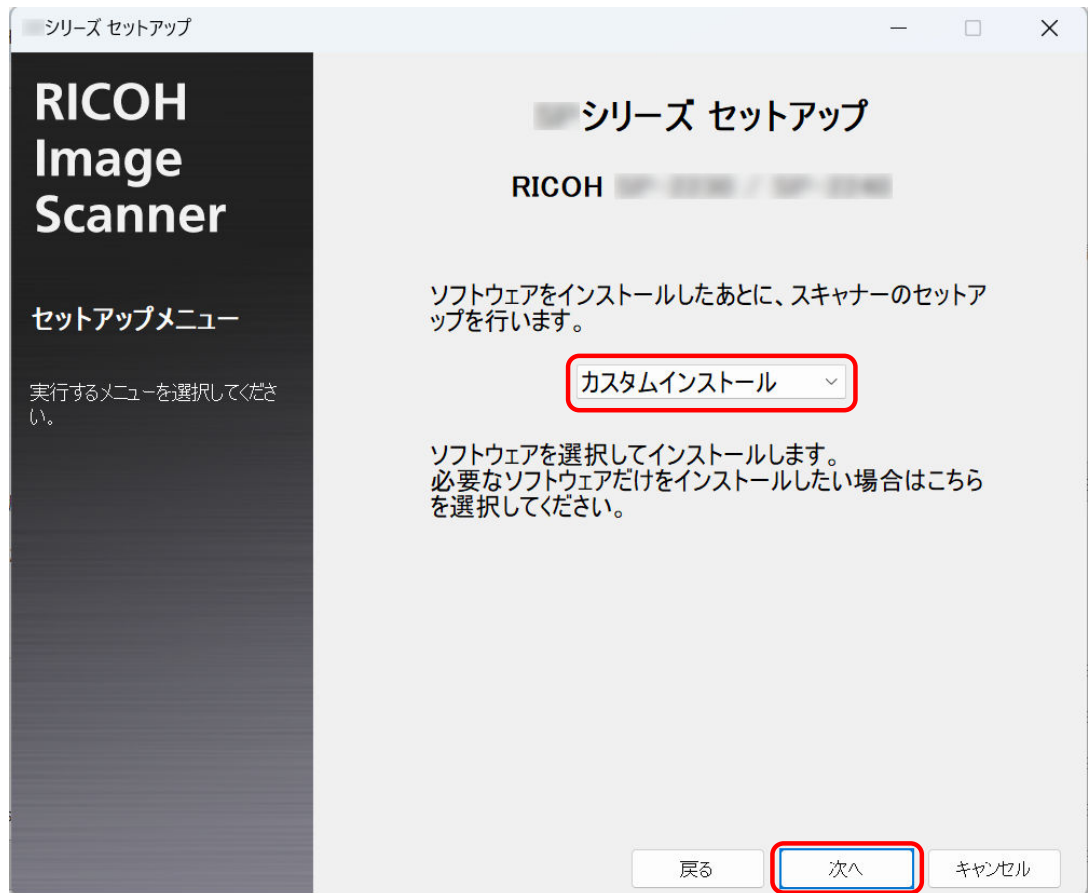
- おすすめインストール
次のソフトウェアがインストールされます。
 - PaperStream IP (TWAIN) SP Series
次も同時にインストールされます。
 - Software Operation Panel
 - Error Recovery Guide
 - PaperStream Capture
 - PaperStream ClickScan
 - Error Recovery Guide (マニュアル)
 - SP Series Online Update
 - マニュアル (安全上のご注意、オペレーターガイド)

- a 「おすすめインストール」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- カスタムインストール
必要なソフトウェアを選択してインストールします。

- a 「カスタムインストール」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- b インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、[次へ] ボタンをクリックします。

8 表示される画面の指示に従ってインストールします。

ファームウェアのアップデートがある場合、ファームウェアをアップデートするかどうかの画面が表示されます。

アップデートするかどうかを指定して、操作を進めてください。

ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境）

スキャナーを接続するコンピューターがインターネットに接続できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

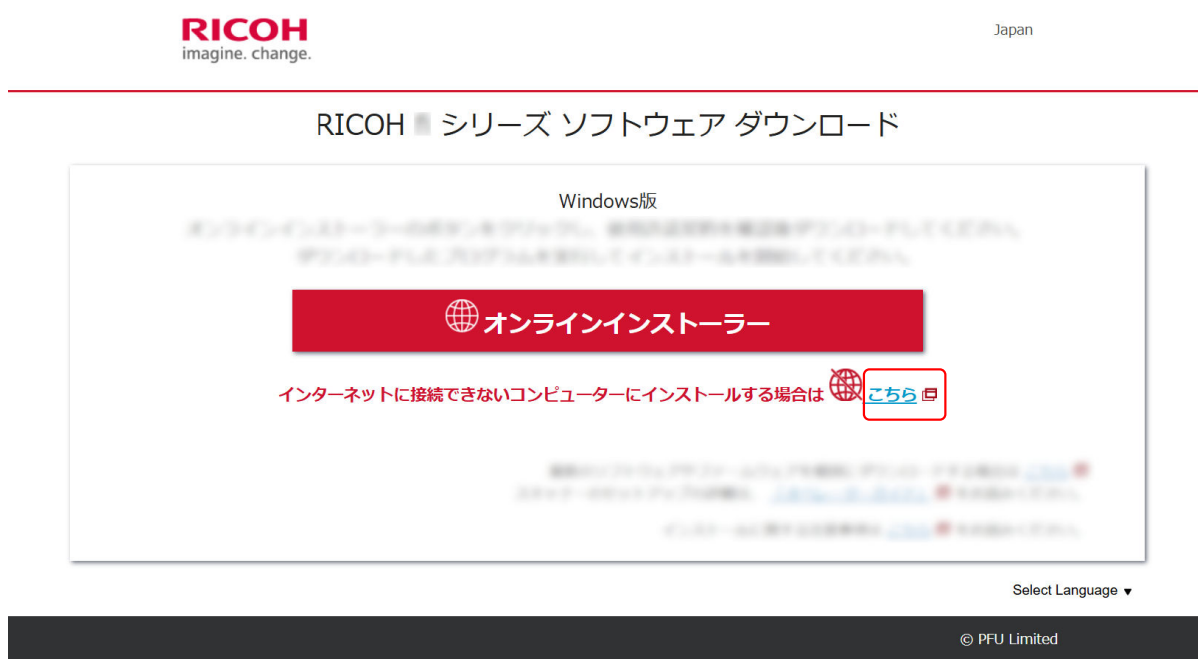
この場合、インターネットに接続できるコンピューターで、ダウンロードサイトからオフラインインストーラークリエイターを入手し、オフラインインストーラー（ISO ファイル）を作成します。

スキャナーを接続するコンピューターで、オフラインインストーラー（ISO ファイル）を実行してソフトウェアをインストールします。

重要

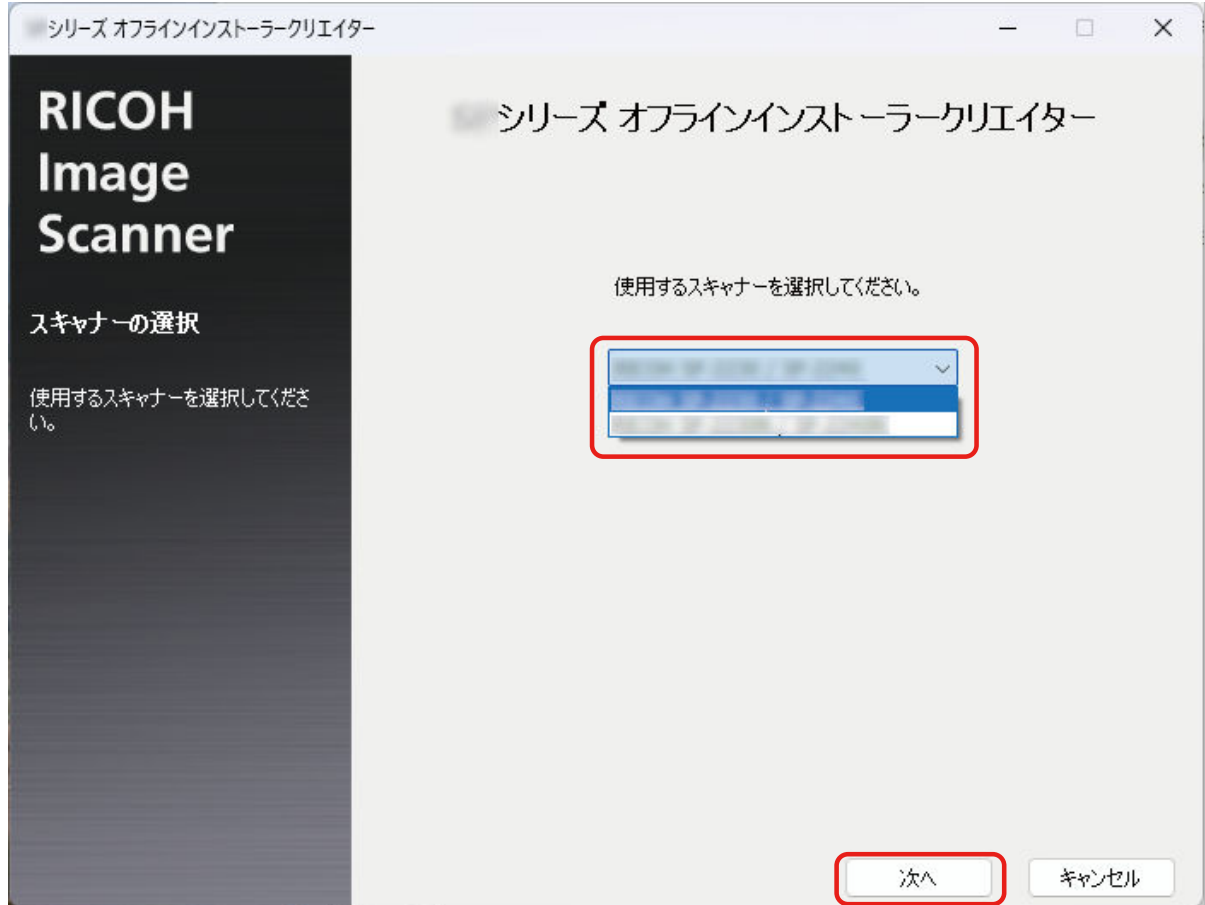
- 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
→ [ソフトウェアのアンインストール手順 \(195 ページ\)](#)

- 1 インターネットに接続できるコンピューターで、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にサインインします。
- 2 ダウンロードサイトに接続します。
<https://www.pfu.ricoh.com/sp/d/>
- 3 「インターネットに接続できないコンピューターにインストールする場合はこちら」の「こちら」をクリックします。



- 4 インストールの流れを説明した画面で、「オフラインインストーラークリエイター」をクリックします。
- 5 使用許諾契約の画面で、内容を確認して【同意してダウンロード】ボタンをクリックします。
オフラインインストーラークリエイターのダウンロードが開始されます。

- 6 ダウンロードしたオフラインインストーラークリエイター「Offline Installer Creator SP Series.exe」をダブルクリックします。
- 7 機種名選択画面が表示されたら、使用するスキャナーの機種名を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



- 8 おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。
ここで選択した内容に従って、最新のソフトウェアを含むオフラインインストーラー（ISO ファイル）が作成されます。
- おすすめインストール
次のソフトウェアがインストールされます。
 - PaperStream IP (TWAIN) SP Series
次も同時にインストールされます。
 - Software Operation Panel
 - Error Recovery Guide
 - PaperStream Capture
 - PaperStream ClickScan
 - Error Recovery Guide（マニュアル）
 - SP Series Online Update
 - マニュアル（安全上のご注意、オペレーターガイド）

- a 「おすすめインストール」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



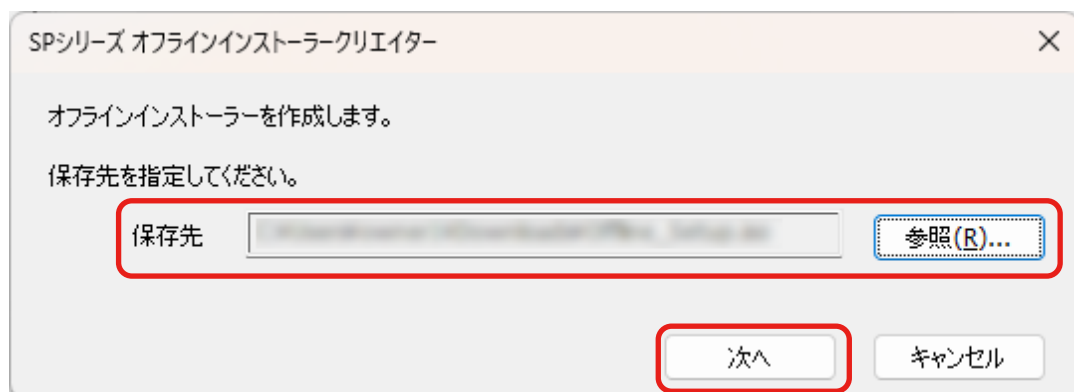
- カスタムインストール
必要なソフトウェアを選択します。

- a 「カスタムインストール」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

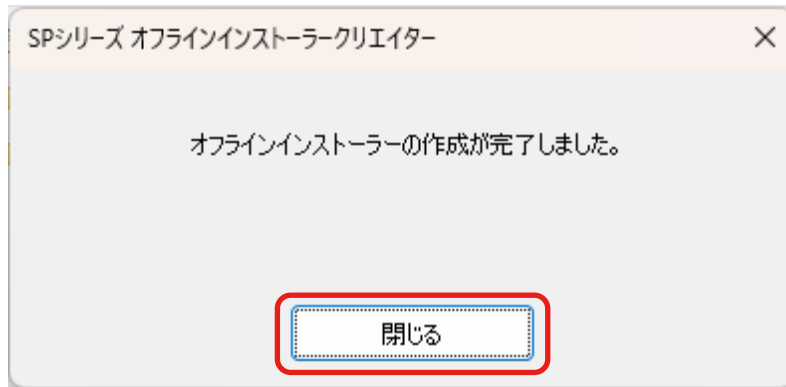


- b インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、[次へ] ボタンをクリックします。

9 ISO ファイルの保存先を指定して、[次へ] ボタンをクリックします。



10 【閉じる】 ボタンをクリックします。

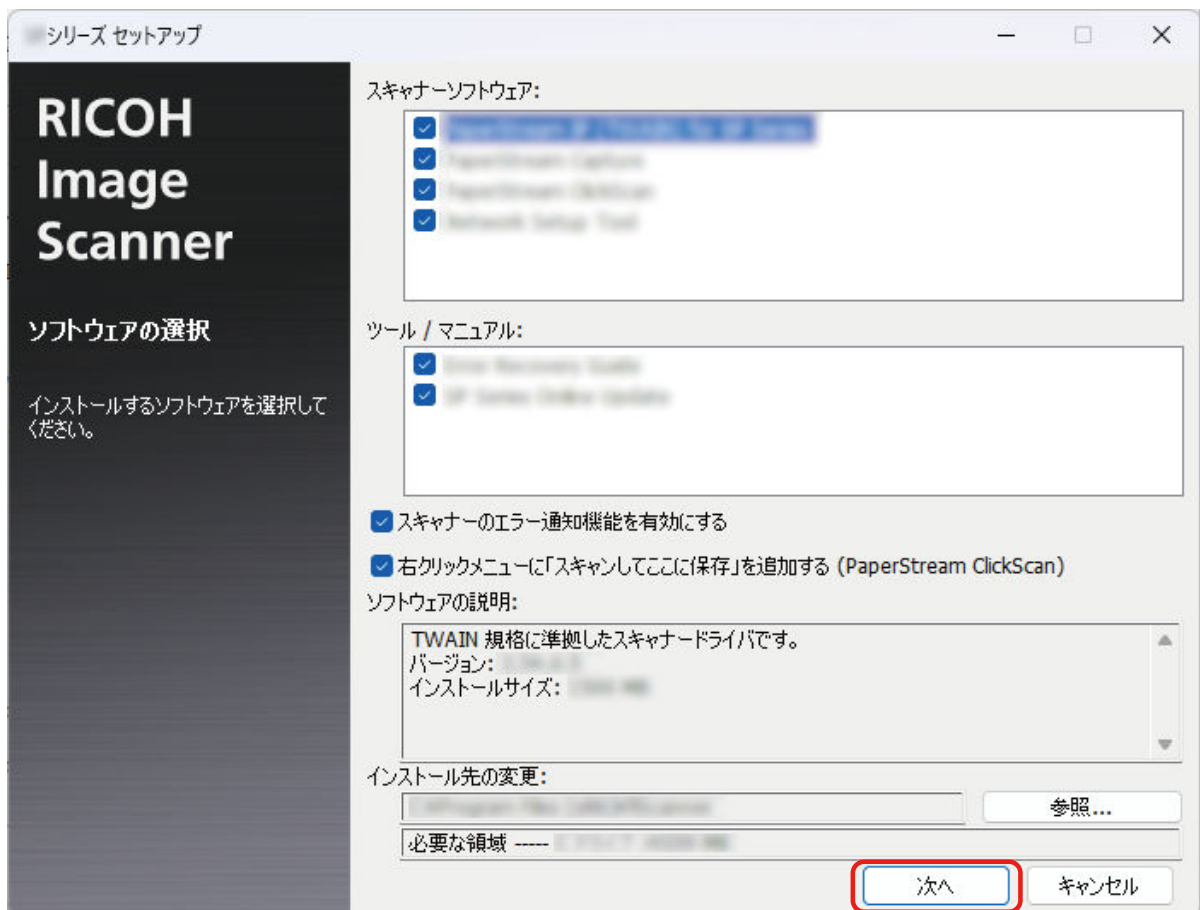


11 スキャナーを接続するコンピューターに、作成した ISO ファイルを保存します。

12 保存した ISO ファイルを右クリックして「マウント」をクリックします。

13 表示されたフォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。

14 【次へ】 ボタンをクリックします。



15 表示される画面の指示に従ってインストールします。

基本的なスキャナーの使い方

ここでは、基本的な操作方法について説明します。

電源の投入/切断

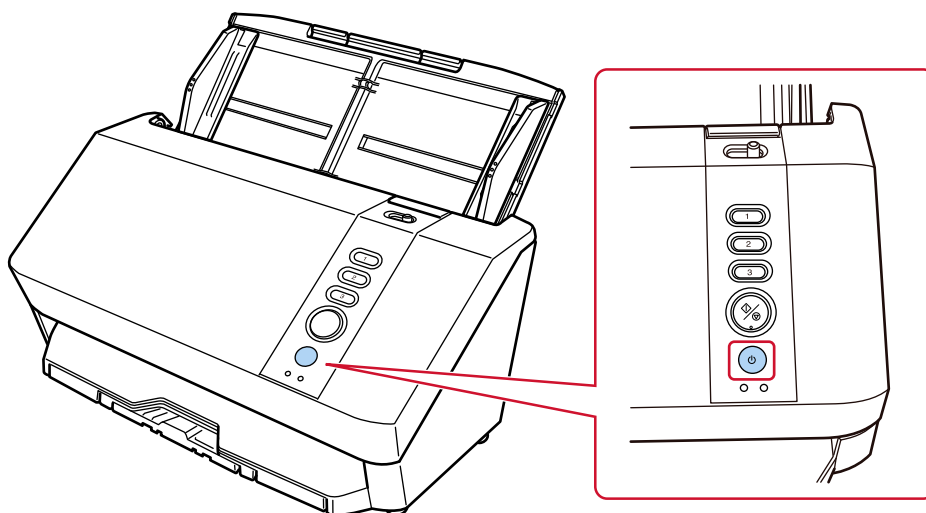
スキャナーの電源の投入/切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナーの電源ボタンでスキャナーの電源を投入/切断する
- ➔ [電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）（181 ページ）](#)

ここでは、スキャナーの電源ボタンでスキャナーの電源を投入/切断する設定した場合を例に説明します。

電源の投入

- 1 スキャナーの電源ボタンを押します。



電源が投入されます。

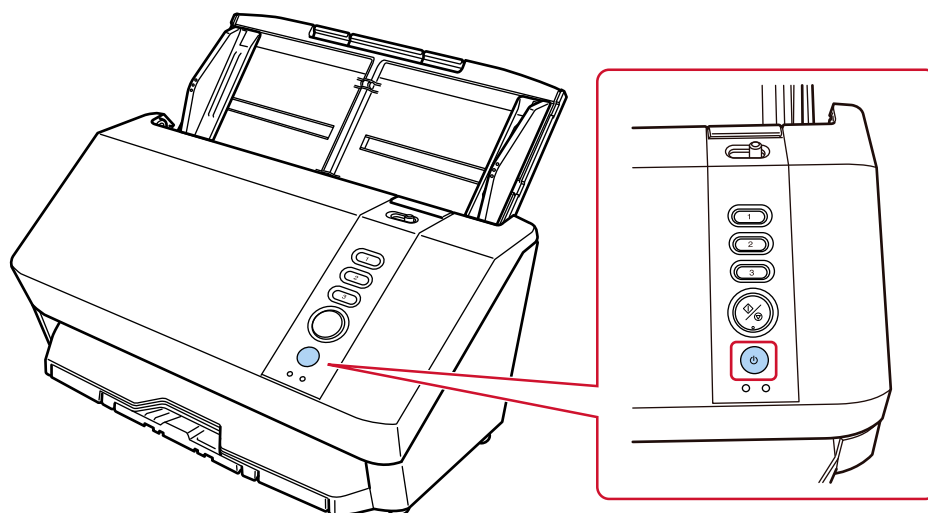
スキャナーが起動し、読み取り可能な状態になります。

起動中：Power/Check ランプ（LED）は緑色の早い点滅（0.5 秒点灯 0.5 秒消灯）

読み取り可能：Power/Check ランプ（LED）は緑色の点灯

電源の切断

- 1 スキャナーの電源ボタンを 2 秒以上押します。



電源が切断されます。

省電力モードへの移行と復帰

スキャナーの電源を投入したまま、一定時間操作されないと、省電力モードに移行します。

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナーが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。

省電力モードには、次の 2 つの設定があります。

● 省電力

スキャナーの電源を投入したままで 10 分（工場出荷設定値）以上何も操作しないと、自動的に省電力状態に切り替わります。

省電力状態に切り替わると、Power/Check ランプ（LED）は緑色の遅い点滅（2 秒点灯 2 秒消灯）となります。

省電力状態から復帰するためには、次のどれかの操作を行います。

- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする
- スキャナーの Send to ボタンまたは Scan/Stop ボタンを押す
- スキャナーの電源ボタンを押す
- スキャナーの給紙モードスイッチを操作する
- スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る
- ADF が開いているときに、ADF を閉じる
- スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続する
- 設定変更のためにソフトウェアからスキャナーへアクセスする

● 自動電源切断

スキャナーの電源を投入したままで一定時間（工場出荷設定は 20 分後）何も操作しないと、自動的にスキャナーの電源が切断されます。

自動的にスキャナーの電源が切断された場合に、再度スキャナーの電源を投入するには、電源ボタンを押します。

→ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)

重要

- 搬送路上に原稿が残されたままになっていると、省電力状態に移行しないことがあります。[原稿づまりが発生したときは \(112 ページ\)](#)を参照して、原稿を取り除いてください。
- 使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスにチェックを付けても、スキャナーの電源が切断されない場合があります。
- 画像読み取り用アプリケーションを使用中にスキャナーの電源が自動的に切断された場合は、画像読み取り用アプリケーションを終了してから、スキャナーの電源を再投入してください。

ヒント

Software Operation Panel で、次の設定ができます。

- 省電力状態に切り替わるまでの時間

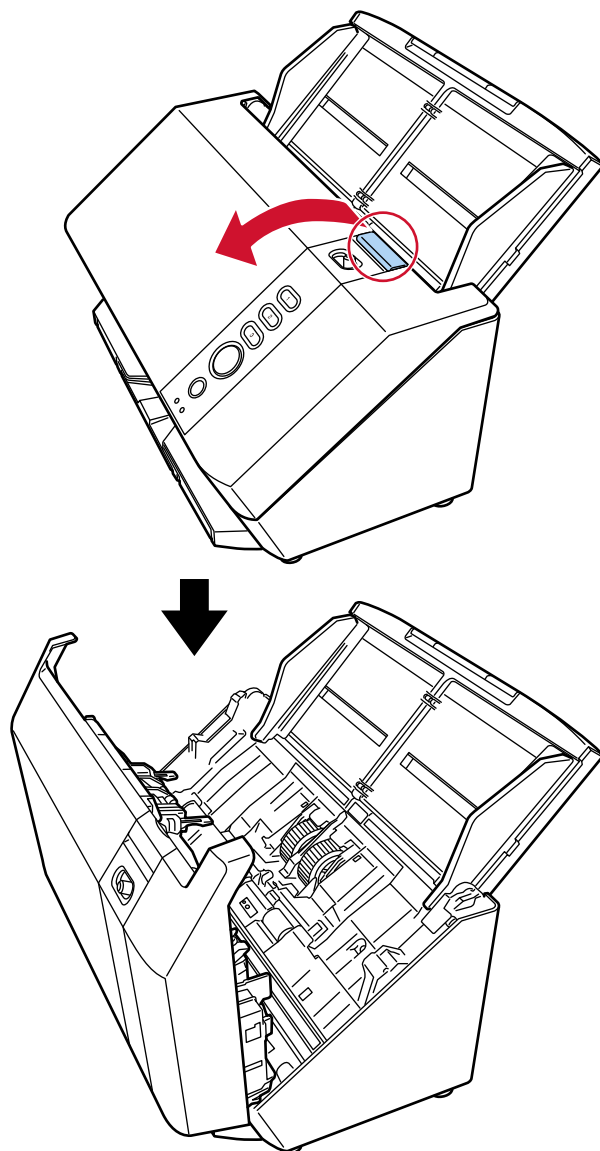
- 自動的にスキャナーの電源が切断されないようにする
 - ➔ [省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）（178 ページ）](#)

ADF の開閉

ADF の開閉について説明します。

ADF の開け方

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
- 2 ADF オープンレバーを手前に引いて、ADF を開けます。

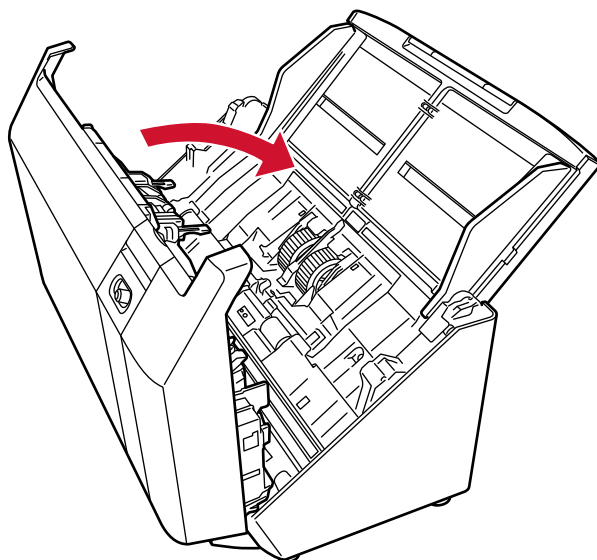


注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF の閉じ方

- 1 異物が ADF 内にはさまれていないことを確認します。
- 2 ADF を閉じます。
「カチッ」という音がするまで、ADF の中央を押し込んでください。



注意

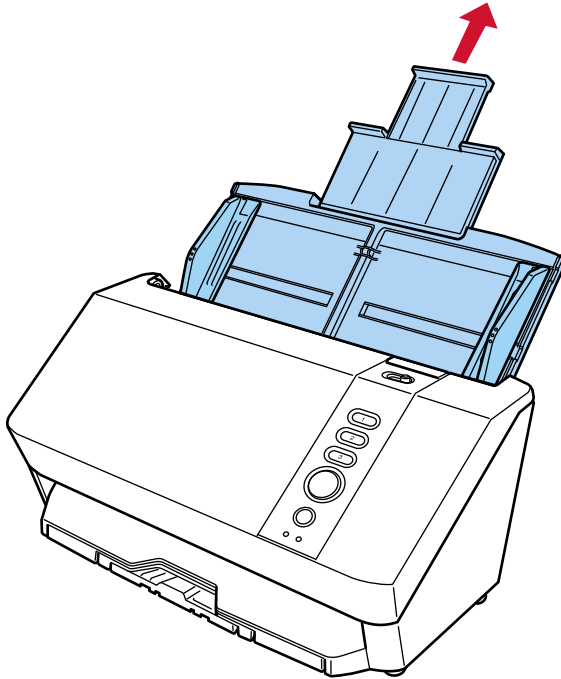
ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りを開始すると、順次 ADF に搬送されていきます。

A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を使用して原稿を支えることによって、原稿が搬送されやすくなります。

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）を押さえながら、シュートエクステンション 1、シュートエクステンション 2 をまっすぐに引き上げます。

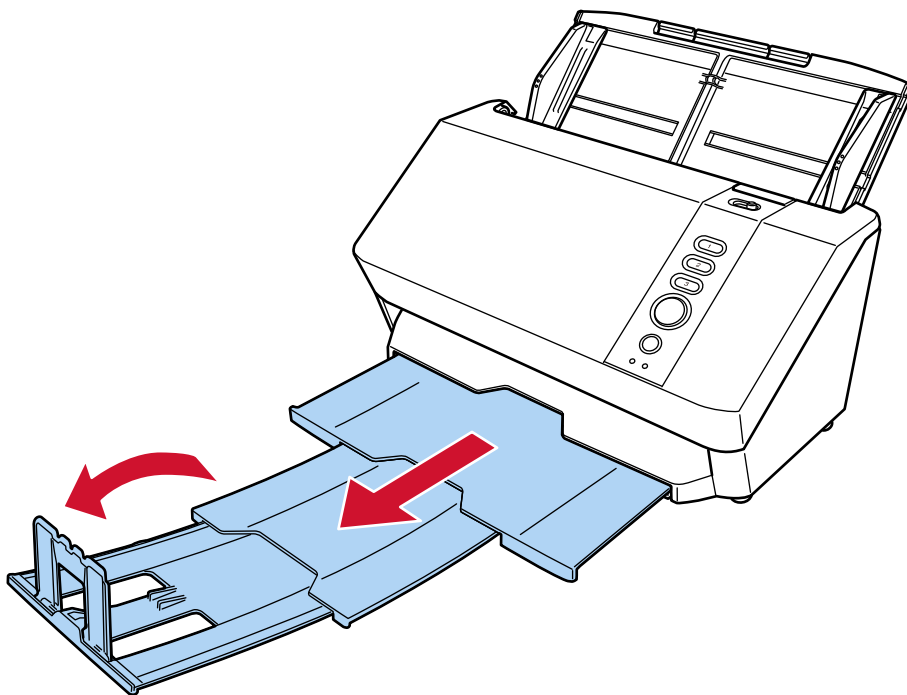


スタッカーの設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りすると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。

A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、スタッカー、スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2、スタッカーストッパーを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

- 1 スタッカー、スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2 を手前に引き出して、スタッカーストッパーを起こします。



重要

- スタッカーストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。
- 209g/m²（180kg/連）を超える厚みの原稿を読み取る場合は、スタッカーを引き出さないでください。
厚い原稿はスタッカーに引っかかり、画像が傾く場合があります。

ヒント

排出された原稿がきれいに積み重ならない場合は、原稿とスタッカーストッパーの間の隙間を小さくすることで（10mm 程度）、よりきれいにそろえられます。

基本的な読み取り方

ここでは、基本的な原稿の読み取り方について説明します。

スキャナーと接続しているコンピューター、またはスキャナーのボタンから、画像読み取り用アプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。

- コンピューターから読み取る
 - ➔ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(44 ページ\)](#)
 - スキャナーの Scan/Stop ボタンまたは Send to ボタンで読み取る
 - ➔ [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(46 ページ\)](#)
- 関連ソフトウェア：Windows のスキャナーのプロパティ画面（イベント）

画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する

コンピュータの画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。

この場合、コンピュータにスキャナードライバーと、そのスキャナードライバーに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

- スキャナードライバー
 - PaperStream IP ドライバー
- 画像読み取り用アプリケーション
 - PaperStream ClickScan
 - PaperStream Capture

→ ソフトウェアの概要 (23 ページ)

スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取り手順や操作、読み取り条件の設定項目が若干異なります。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)

2 スキャナーをコンピュータに接続します。

スキャナーとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

→ [原稿のセット方法 \(53 ページ\)](#)

4 画像読み取り用アプリケーションを起動します。

5 読み取りに使用するスキャナードライバーを指定します。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーを指定しなくてもよい場合があります。

6 読み取りに使用するスキャナーを指定します。

スキャナードライバーおよびスキャナーの接続方法によって、スキャナー名が異なります。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナーを指定しなくてもよい場合があります。

7 スキャナードライバーの設定画面で、スキャナーの読み取り条件を設定します。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合があります。

8 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

重要

読み取り中に、次のような操作をしないでください。

読み取りが中止されます。

- USB ケーブルを抜く
- Windows からサインアウトする

スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る

スキャナーのボタンを押してコンピューターの画像読み取り用アプリケーションを起動し、原稿の読み取りを開始する場合の、事前設定と読み取り操作の流れを説明します。

この場合、コンピューターにスキャナードライバーと、そのスキャナードライバーに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

- スキャナードライバー
 - PaperStream IP ドライバー
- 画像読み取り用アプリケーション
 - PaperStream Capture

➔ [ソフトウェアの概要 \(23 ページ\)](#)

ヒント

- PaperStream Capture がインストールされている場合、PaperStream Capture の起動時に、スキャナーのボタンに対して PaperStream Capture のボタン設定が割り当てられます。
- PaperStream ClickScan と PaperStream Capture がインストールされている場合、PaperStream ClickScan が常駐しているかどうかで、スキャナーの Scan/Stop ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションが異なります。
 - 常駐している場合
PaperStream ClickScan が起動します。
 - 常駐していない場合
PaperStream Capture が起動します。
- スキャナーのボタンの設定を PaperStream Capture から変更した場合は、変更した画像読み取り用アプリケーションが起動します。
PaperStream Capture でスキャナーを占有する設定をしている場合は、設定を無効にしてください。

1 スキャナーの電源を投入します。

➔ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)

2 スキャナーをコンピューターに接続します。

スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。

3 画像読み取り用アプリケーションで読み取り設定をします。

➔ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(44 ページ\)](#)

4 コンピューターで、スキャナーのボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定します。

Windows の「デバイスとプリンター」を設定する画面を表示して、スキャナーの「スキャン プロパティ」でボタンを設定します。

➔ [Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する \(48 ページ\)](#)

5 必要に応じて、起動する画像読み取り用アプリケーションでの設定をします。

起動する画像読み取り用アプリケーションによっては、画像読み取り用アプリケーションでも設定が必要な場合があります。

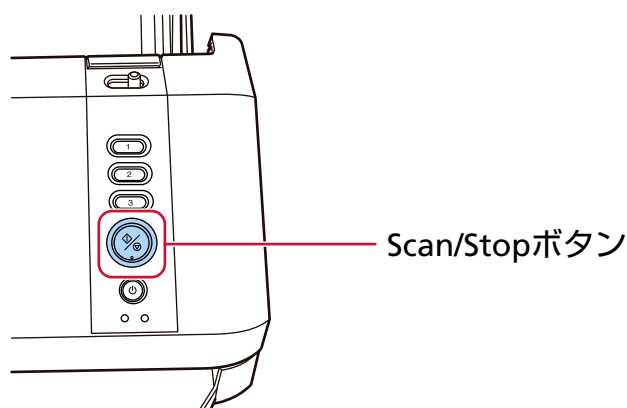
詳細は、起動する画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

6 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

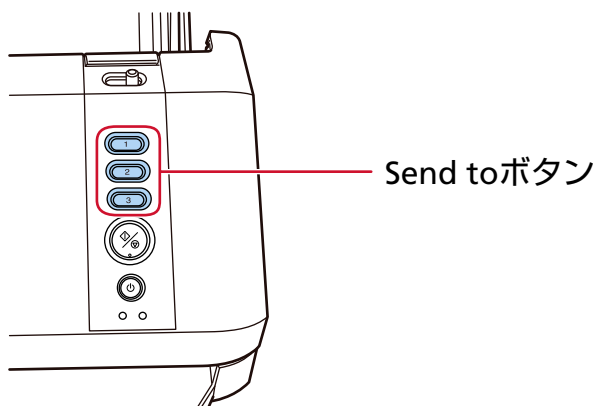
→ [原稿のセット方法 \(53 ページ\)](#)

7 スキャナーのボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

- 手順 4 で、「Scan Button」に画像読み取りアプリケーションを設定した場合
スキャナーの Scan/Stop ボタンを押します。



- 手順 4 で、「Send to 01」～「Send to 03」に画像読み取りアプリケーションを設定した場合
スキャナーの Send to ボタンを押します。



ボタンに設定されている画像読み取り用アプリケーションが起動します。

8 必要に応じて、画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

重要

読み取り中に、次のような操作をしないでください。
読み取りが中止されます。

- USB ケーブルを抜く
- Windows からサインアウトする

Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する

スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定します。

ボタンには、ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定します。

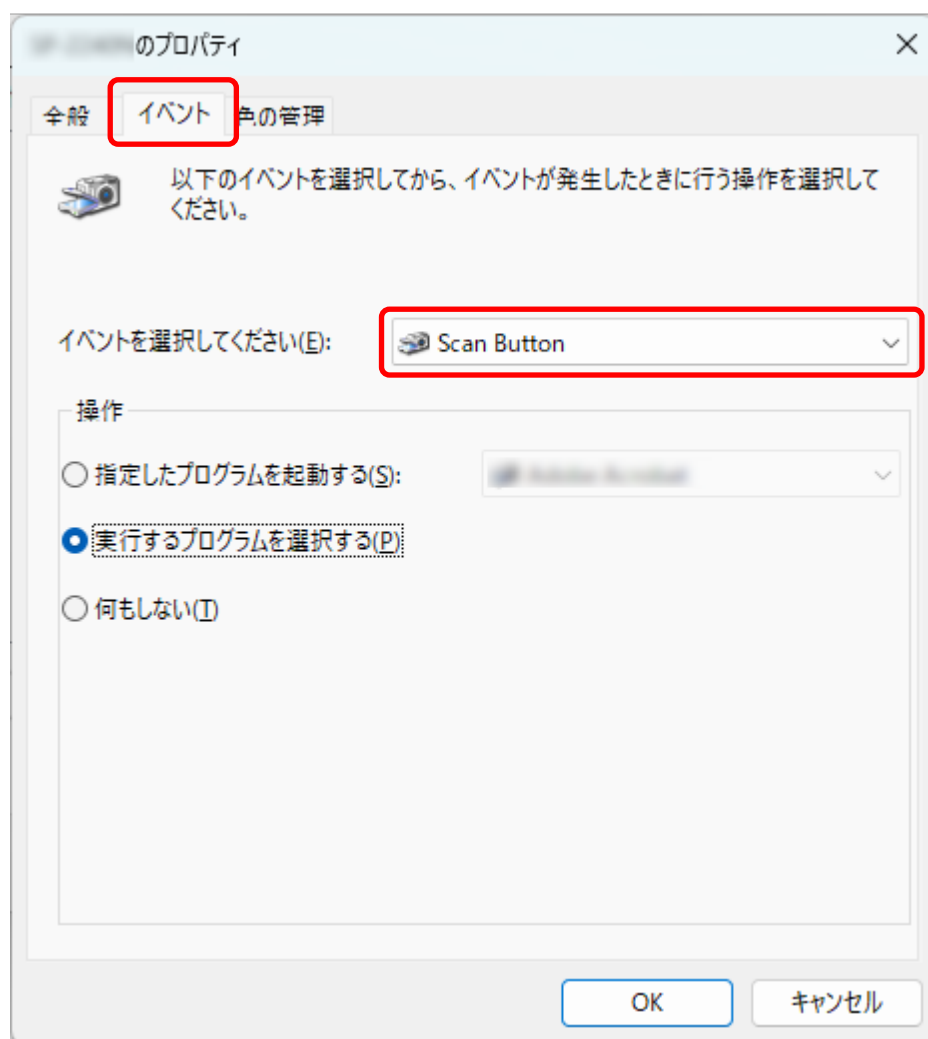
重要

PaperStream ClickScan が常駐していると、スキャナーのプロパティ画面を表示できません。また、ボタンの設定が有効になりません。

スキャナーのプロパティ画面を表示する場合、およびボタンの設定を有効にする場合は、PaperStream ClickScan を終了してください。

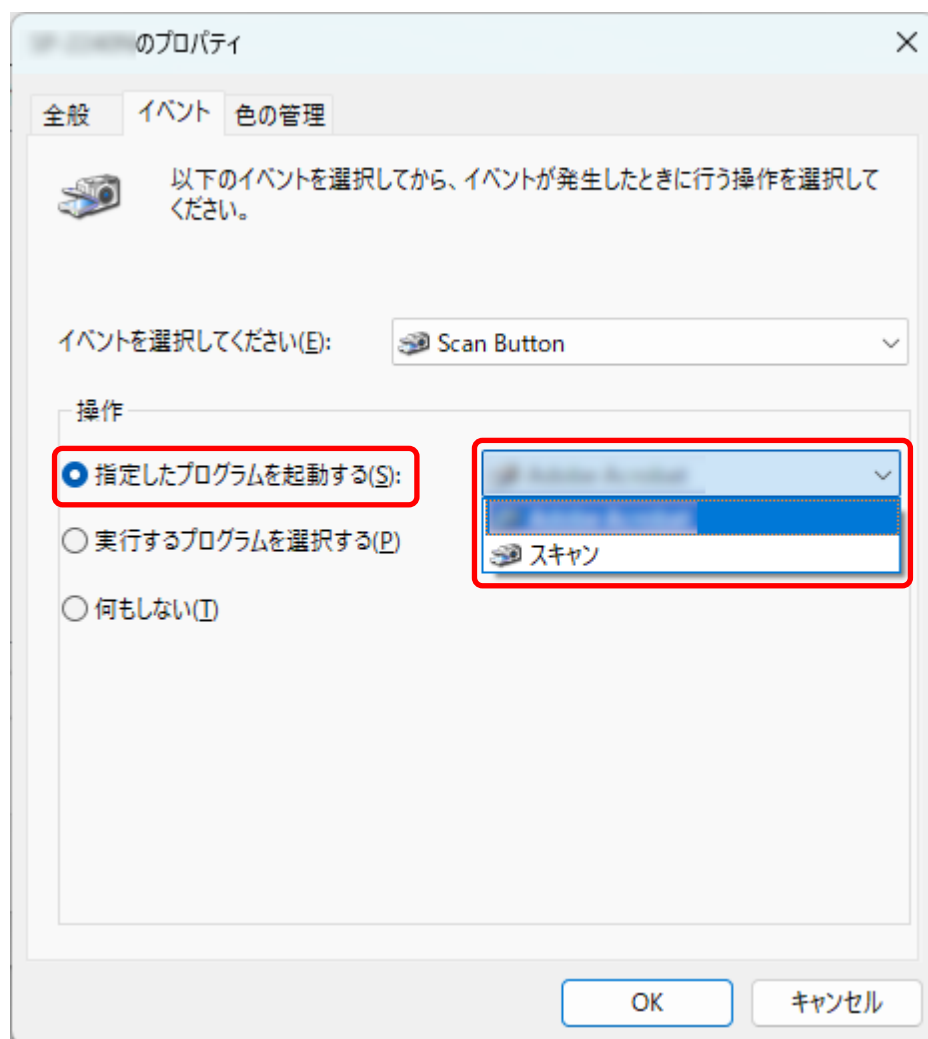
- 1 スキャナーの電源を投入します。
→ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)
- 2 スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認します。
- 3 Windows の「設定」画面を表示します。
- 4 「Bluetooth とデバイス」をクリックします。
- 5 「プリンターとスキャナー」をクリックします。
- 6 「SP-2240」をクリックします。
- 7 「スキャナーのプロパティ」をクリックします。
「スキャナーとカメラ」画面が表示されます。
- 8 スキャナーのアイコンをクリックして、[プロパティ] ボタンをクリックします。
- 9 「イベント」タブの「イベントを選択してください」で、設定するボタンを選択します。
 - 「Scan Button」
スキャナーの Scan/Stop ボタンの動作を設定します。
 - 「Send to 01」～「Send to 03」

スキャナーの Send to ボタンの動作を設定します。



10 選択したボタンを押したときに起動する、画像読み取り用アプリケーションを選択します。

「指定したプログラムを起動する」をクリックして、プログラム一覧から画像読み取り用アプリケーションを選択します。



複数のボタンを設定する場合は、手順 9～10 を繰り返します。

11 【OK】 ボタンをクリックします。

原稿のセット方法

ここでは、原稿をスキャナーにセットする方法について説明します。

原稿のセット

書類のような普通紙の原稿をセットする方法について説明します。

原稿の準備

1 原稿を確認します。

a スキャナーで読み取れる原稿のサイズと原稿の紙質を確認します。

→ [読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)

b セットする原稿の幅がすべて同じか、異なるかを確認します。

原稿の幅が同じか異なるかによって、原稿のセット方法が異なります。

原稿の幅が異なる場合は、[混載条件 \(64 ページ\)](#)および[幅の違う原稿を読み取りたいとき \(74 ページ\)](#)を参照してください。

c 原稿の枚数を確認します。

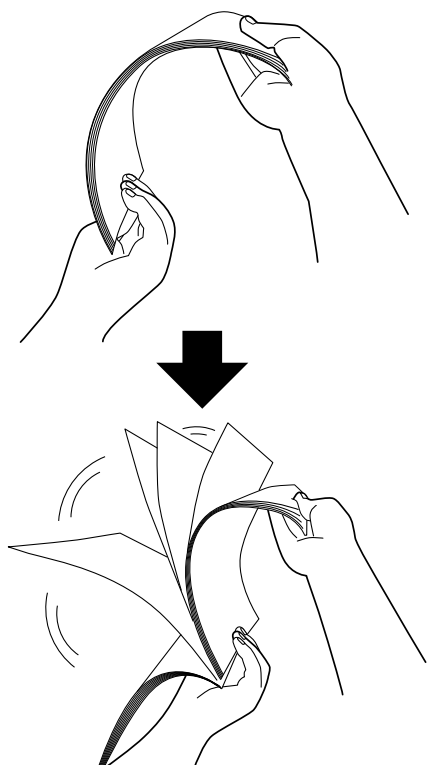
セットできる原稿枚数は 80 枚までです（厚さ 80g/m²（69kg/連）の原稿、原稿の総厚みが 8mm 以下）。

→ [セットできる原稿の枚数 \(59 ページ\)](#)

2 原稿をさばきます。

a 原稿を 8mm 以下の厚みで取り出します。

b 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3 回さばきます。



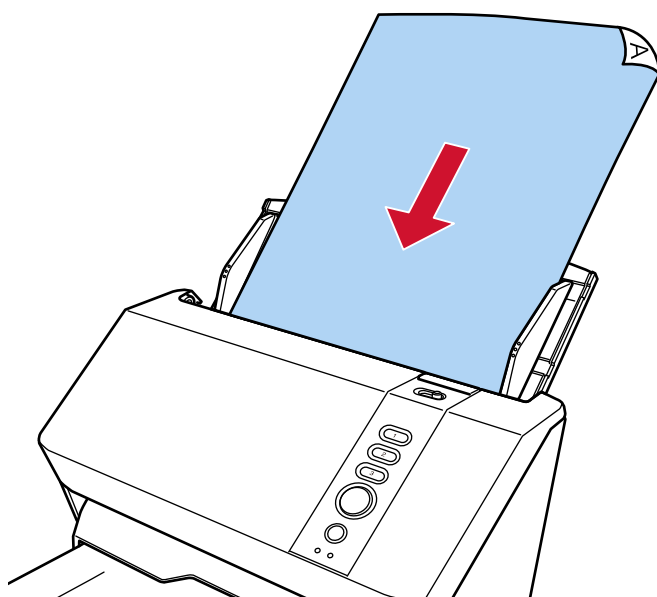
c 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

d すべての原稿に対して、手順 a～c を行います。

e 原稿の先端をそろえます。

原稿のセット方法

- 1 原稿の長さに合わせて、シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を引き上げます。
→ [ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 \(41 ページ\)](#)
- 2 原稿の長さに合わせて、スタッカーを設定します。
→ [スタッカーの設定 \(42 ページ\)](#)
- 3 原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。

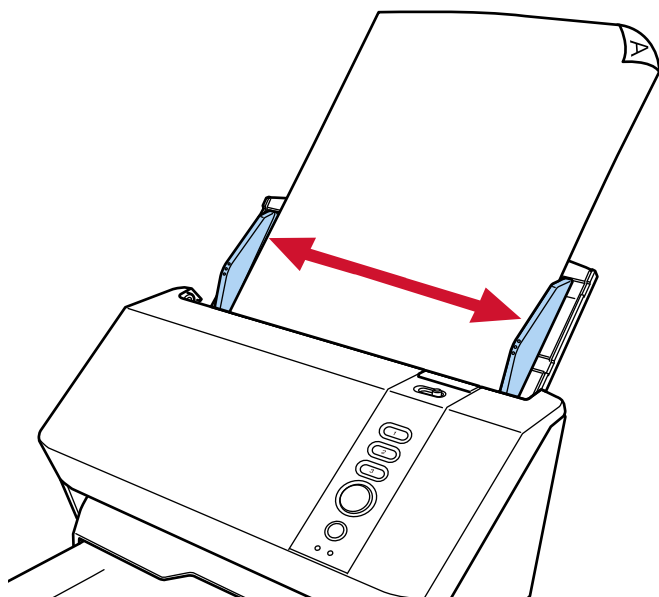


重要

- クリップ、ステープルは取り除いてください。
- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたりする場合は、原稿の分量を減らしてください。

- 4 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。
サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が傾いて搬送されることがあります。



読み取りできる原稿

原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

最大サイズ（幅×長さ）（*1）	● A4 縦（210×297mm） ● リーガル縦（8.5×14 インチ） ● 長尺帳票（*2）（215.9×863.6mm、215.9×6,096mm）
最小サイズ（幅×長さ）	● 50.8×50.8mm

*1：ADF 給紙シュート（フィーダー）のサイドガイド拡張スイッチを操作すると、最大の幅 240mm までセットできます。

➔ [幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき \(76 ページ\)](#)

*2：スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションの読み取り設定によっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。

長尺帳票を読み取る場合は、読み取り解像度を 200dpi 以下にすると、最大の長さ 6,096mm（240 インチ）まで読み取りできます。

なお、条件に応じて、次の解像度を指定する必要があります。

- 863.6mm より大きく 2,700mm 以下の場合
600dpi 以下
- 2,700mm より大きく 4,064mm 以下の場合
400dpi 以下
- 4,064mm より大きく 5,461mm 以下の場合
300dpi 以下
- 5,461mm より大きく 6,096mm 以下の場合
200dpi 以下

原稿の種類

原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙（再生紙）
- プラスチックカード

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、事前に読み取りができるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の厚さ

読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 27～413g/m² (23～355kg/連)
- A8 サイズは 128～209g/m² (110～180kg/連)
- プラスチックカードは 1.4mm 以下 (エンボス付き可 (ISO7810 ID-1 タイプ準拠))

うまく読み取れない場合がある原稿

次の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 厚さが一定していない原稿 (封筒、写真を貼り付けた原稿など)
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目のある原稿
- 四角形ではない原稿
- 非常に厚さが薄い原稿
- 写真 (印画紙)

ヒント

うまく読み取れない場合がある原稿は、キャリアシートを使用することで読み取れます。
また、しわが寄っている、カールしている原稿、折れている原稿は、まっすぐに矯正することでも読み取れます。

読み取れない原稿

次の原稿は読み取らないでください。

- クリップまたはステープルが付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- 50.8×50.8mm より小さい原稿
- 幅が 240mm (9.5 インチ) より大きい原稿
- 紙/プラスチックカード以外のもの (布、金属箔、OHP フィルムなど)
- 証書や金券など、媒体が傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類

重要

ノーカーボン紙には、ブレーキローラなどのローラーを劣化させる化学物質を含んでいるため、スキャナーが故障する可能性があります。

原稿とプラスチックカードの注意

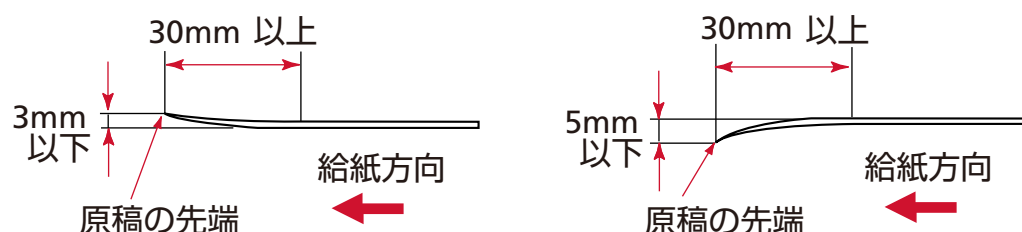
● 原稿の注意

読み取る原稿によっては、次のことに注意してください。

- ノーカーボン紙には、ブレーキローラなどのローラを劣化させる化学物質を含んでいるため、次のことに注意してください。
 - 清掃
原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレーキローラとピックアップローラを清掃してください。
 - ➔ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)
 - 部品の交換
ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。
- 中質紙の原稿を読み取った場合、ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなることがあります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取るときにブレーキローラやピックアップローラに接触すると、ブレーキローラやピックアップローラが傷つく可能性があります。
- 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面が傷つく可能性があります。
原稿を傷つけない場合は、オプションのキャリアシートを使用してください。
- 光沢のある原稿を読み取った場合、LED 光源の輝点が見えることがあります。
- 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するためにスキャナードライバーで「明るさ」を明るめに設定してください。
- 鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写されてよごれる可能性があります、原稿送り不良の原因となります。
できる限り頻繁に各ローラを清掃してください。

➔ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生したりする場合は、[トラブルと対処方法 \(123 ページ\)](#)を参照してください。
- すべての原稿は先端が平らでなければなりません。
原稿先端のカールは次の数値を満たしている必要があります。

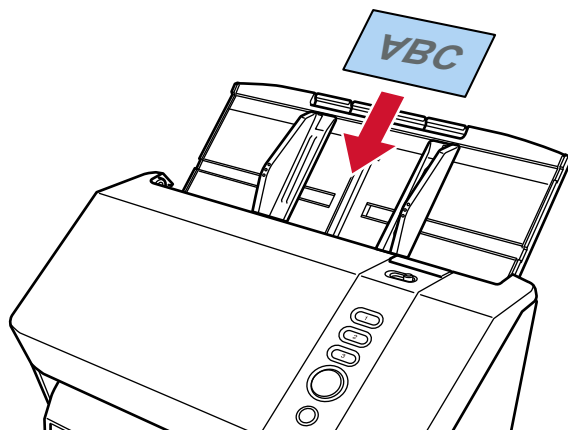


● プラスチックカードの注意

プラスチックカードを読み取る場合は、次のことに注意してください。

- 次の仕様のプラスチックカードを使用し、事前に搬送できることを確認してください。

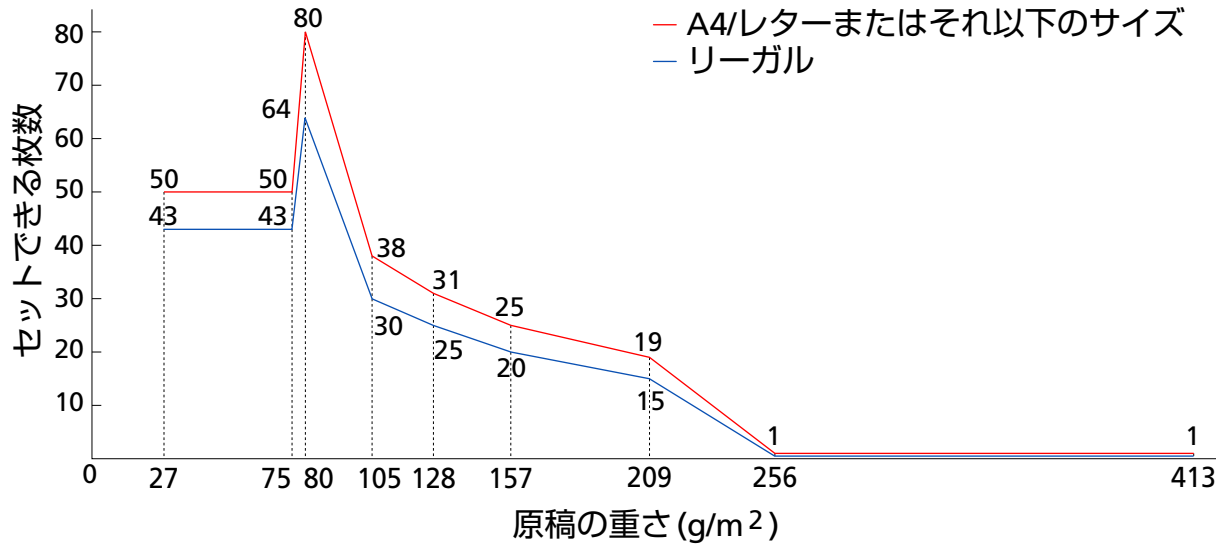
- タイプ：ISO7810 ID-1 タイプに準拠
- サイズ：85.6×53.98mm
- 厚さ：1.4mm 以下（エンボス付き可）
- 素材：ポリ塩化ビニル（PVC）またはポリ塩化酢酸ビニル（PVCA）
- プラスチックカードは ADF 給紙シュート（フィーダー）に 1 枚ずつセットしてください。



- プラスチックカードの表面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。
- エンボスがあるプラスチックカードは、エンボス面を ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）にして、横にセットすることを推奨します。
- 硬くて曲がりにくいプラスチックカードは、うまく搬送されない場合があります。
- プラスチックカードの表面が油（手の脂）などでよごれている場合は、よごれをふき取ってから読み取ってください。
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常に原稿の重なりが検出されます。このような場合は、次のどちらかの設定で読み取ってください。
 - 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
 - 手差し・単送モードで読み取る。

セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。
次のグラフを参照してください。



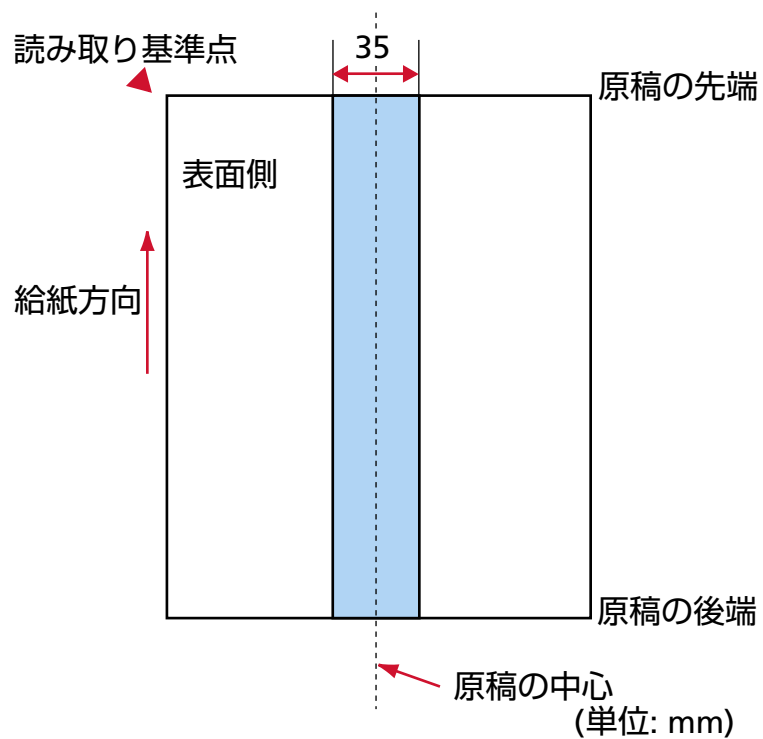
厚さの単位	g/m ² (坪量)	lb	kg/連 (連量) (*1)
変換表	27	7.2	23
	75	20	65
	80	21	69
	105	28	90
	128	34	110
	157	42	135
	209	56	180
	256	68	220
	413	110	355

*1：四六判連量

穴を開けてはいけない領域

次の図にある水色の領域に穴があると、エラーの原因となる場合があります。

この条件は、原稿がピックアップの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。



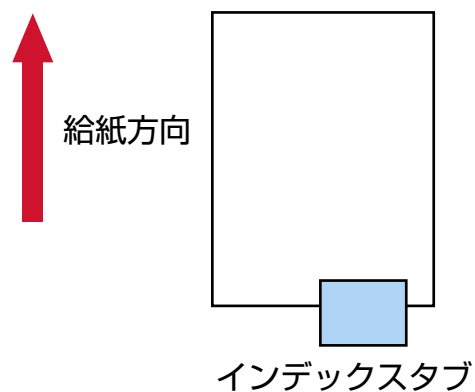
ヒント

原稿の中央 35mm の領域については、原稿セット位置を左右にずらすことによって回避できます。

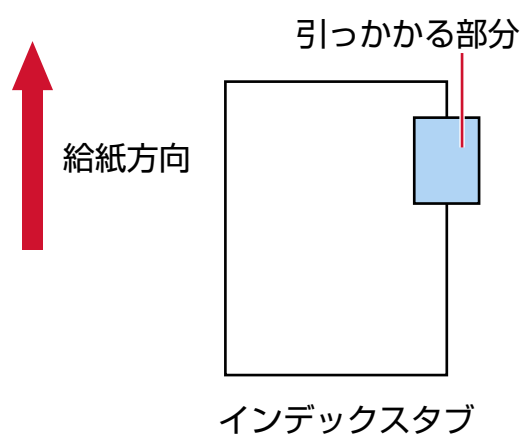
インデックスタブ付き原稿のセット方法

インデックスタブ付き原稿を読み取る場合は、搬送中に原稿が引っかからない方向にセットしてください。

良い例



悪い例



重要

原稿を悪い例のようにセットして読み取ると、搬送中に原稿が引っかかり、傾いて読み取られたり、原稿づまりが発生して原稿が破損したりするおそれがあります。

原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。

原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。

セットした原稿の重なりを正しく検出するには、次に示す条件が必要です。

この条件は、原稿がピックアップの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提です。

超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合

- 原稿の厚さ：27～413g/m²（23～355kg/連）
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(60 ページ\)](#)の図
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けしないでください。原稿の重なりが誤って検出される場合があります。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(60 ページ\)](#)の図

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿をADF給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(60 ページ\)](#)の図

超音波センサーと原稿の長さの違いの両方で、原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿をADF給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の厚さ：27～413g/m²（23～355kg/連）
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(60 ページ\)](#)の図
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けしないでください。原稿の重なりが誤って検出される場合があります。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(60 ページ\)](#)の図

重要

超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常に原稿の重なりが検出されます。

このような場合は、次のどちらかの設定で読み取ってください。

- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

ヒント

- 原稿によっては、原稿の重なるの検出精度が低下する場合があります。
搬送方向で、原稿の先端から約 30mm は、原稿の重なりを検出できません。
- 長さの異なる原稿を混載して読み取るときに、原稿の重なりを検出する場合は、原稿の長さの違いによる検出方法を設定しないでください。

混載条件

厚み/摩擦係数/サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、次の制限があります。
 なお、原稿を混載して読み取る場合は、必ず、事前に搬送性能の確認を行ってください。
 読み取り方法については、[幅の違う原稿を読み取りたいとき \(74 ページ\)](#)を参照してください。

原稿の向き

原稿のスキ目方向（紙の繊維の並んだ方向）を、搬送方向に合わせてください。

原稿の厚さ

厚さの異なる原稿を混載する場合、読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

40～209g/m²（34.5～180kg/連）

原稿の摩擦係数

原稿の用紙は、同一メーカーの同一銘柄のものを推奨します。

いろいろな用紙メーカー/銘柄が混載されると、摩擦係数の差が大きくなり、搬送性能に影響をおよぼす場合があります。

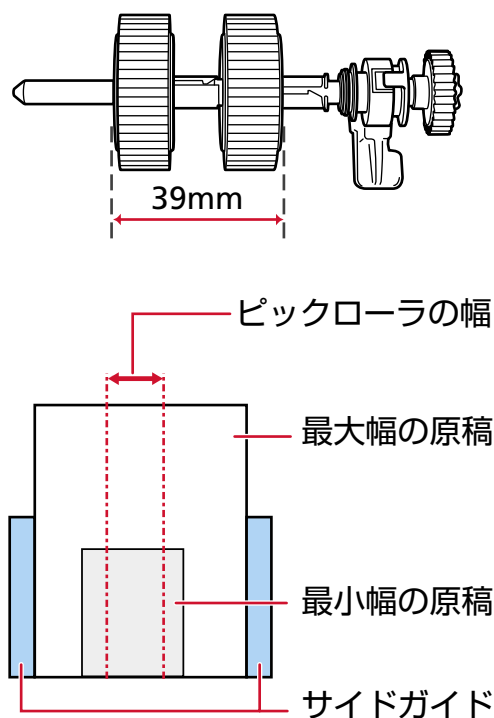
推奨摩擦係数は次のとおりです。

0.35～0.60（紙間摩擦係数参考値）

原稿のセット位置

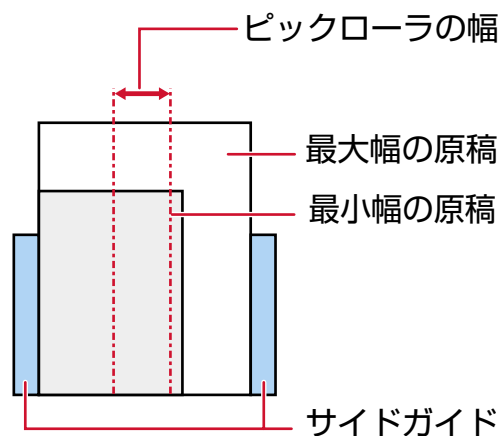
すべての原稿が、ピックアップラの幅（約 39mm）にかかるように原稿をセットしてください。

異なるサイズの前稿を組み合わせたときの目安は、[原稿のサイズ \(65 ページ\)](#)の[定型サイズの混載での組み合わせ \(66 ページ\)](#)を参照してください。



ヒント

最小幅の原稿が、下図のように、片側に寄せてセットしてもピックアップの幅にかかるサイズの場合は、原稿を片側に寄せてセットしてください。原稿が傾いて搬送されにくくなります。

**原稿のサイズ**

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、原稿が傾いて搬送されると、画像欠けや原稿づまりなどのトラブルが発生することがあります。

原稿が大きく傾いて搬送されたときには、読み取られた画像を確認することを推奨します。

重要

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、すべての原稿に対してサイドガイドが機能しないため、原稿が傾いて搬送されやすくなります。

定型サイズの混載での組み合わせ

次の範囲が混載可能な組み合わせの目安です。

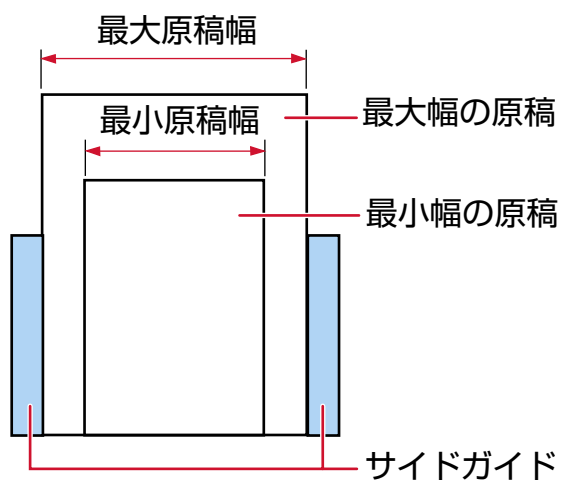
原稿サイズ 幅 (mm) (*1)			最大原稿サイズ									
			LTR縦 A3-CS	A4縦 A5横	B5縦 B6横	A5縦 A6横	B6縦 B7横	A6縦 A7横	B7縦 B8横	A7縦 A8横	B8縦	A8縦
			216	210	182	149	129	105	91	74.3	64.3	52.5
最小原稿サイズ	LTR縦 A3-CS	216										
	A4縦 A5横	210										
	B5縦 B6横	182										
	A5縦 A6横	149										
	B6縦 B7横	129										
	A6縦 A7横	105										
	B7縦 B8横	91										
	A7縦 A8横	74.3										
	B8縦	64.3										
	A8縦	52.5										

■ 混載可能範囲

LTR： レターサイズ

A3-CS： A3 キャリアシート

*1： 最大原稿幅と最小原稿幅と原稿のセット位置との関係図を次に示します。



重要

B8 縦または A8 縦は、ほかのサイズ of 原稿と組み合わせて混載できません。

混載できない原稿

次の原稿は混載して読み取れません。

- ノーカーボン紙
- ボンド紙
- 端にミシン目のある原稿
- 感熱紙
- 裏カーボン紙
- OHP 紙
- トレーシングペーパー

自動原稿サイズ検出を行うための条件

次のような原稿の場合、原稿サイズを検出できません。

- 長方形ではない原稿

また、次のような原稿の場合、原稿サイズを検出できないことがあります。

- 厚さが 52g/m^2 (45kg/連) 以下の薄い原稿
- 原稿端が光沢のある白い原稿
- 原稿端が薄暗い（グレー色）の原稿

A3 キャリアシートを使用する場合の条件

● 原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

- A3 キャリアシートサイズ (216×297mm)
- A3 (297×420mm) (*1)
- A4 (210×297mm)
- A5 (148×210mm)
- A6 (105×148mm)
- B4 (257×364mm) (*1)
- B5 (182×257mm)
- B6 (128×182mm)
- はがき (100×148mm) (*2)
- 名刺 (91×55mm、55×91mm) (*2)
- レター (8.5×11 インチ、216×279.4mm)
- ダブルレター (11×17 インチ、279.4×431.8mm) (*1)
- 写真 E 版 (83×117mm、117×83mm) (*2)
- 写真 L 版 (89×127mm、127×89mm) (*2)
- 写真 LL 版 (127×178mm、178×127mm) (*2)
- カスタムサイズ
 - 幅
25.4～216mm (1～8.5 インチ)
 - 長さ
25.4～297mm (1～11.69 インチ)

*1：原稿の幅が 216mm (8.5 インチ) を超える場合は、2 つ折りにして読み取ります。

*2：スキャナードライバーが PaperStream IP (TWAIN) for SP Series/PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series の場合に読み取りができます。

● 原稿の紙質

原稿の種類

原稿の種類は次のとおりです。

- 一般的なオフィス用紙
- A4 サイズより大きい原稿
- 傷つけない写真などの原稿
- 紙づまりの可能性のある切り抜きなどの原稿

原稿の厚さ

読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 209g/m² まで（180kg/連まで）

2 つ折りにして読み取る場合、読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 105g/m² まで（90kg/連まで）

● A3 キャリアシートを使用/保管するときの注意

A3 キャリアシートを使用するときの注意

- A3 キャリアシートは、同時に最大 3 枚までセットできます。
- A3 キャリアシートで「見開き」読み取りをするときに、高解像度で読み取ると、使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。このような場合は解像度を低くして読み取ってください。
- A3 キャリアシートの先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。
A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートの上下を逆向きにして、スキャナーにセットしないでください。
原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよび A3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。

➡ A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき (83 ページ)

- A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、A3 キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合がありますので、定期的に清掃してください。

➡ キャリアシートの清掃 (101 ページ)

清掃しても改善されない場合は、A3 キャリアシートを交換してください。

- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。
スキャナーが破損または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。
指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続搬送したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。
A3 キャリアシートには、1 枚ずつ原稿をセットして読み取ることを推奨します。
- A3 キャリアシートに冊子（パスポートなど）をセットして読み取らないでください。
原稿づまりが発生する可能性があります。
- A3 キャリアシートは高温環境下で使用しないでください。

A3 キャリアシートを保管するときの注意

- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
印刷のインクが A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

写真キャリアシートを使用する場合の条件

● 原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

- 写真キャリアシートサイズ (178×127mm)
- A6 (105×148mm)
- はがき (100×148mm) (*1)
- 名刺 (91×55mm、55×91mm) (*1)
- 写真 E 版 (83×117mm、117×83mm) (*1)
- 写真 L 版 (89×127mm、127×89mm) (*1)
- 写真 LL 版 (127×178mm、178×127mm) (*1)
- カスタムサイズ
 - 幅
25.4～178mm (1～7 インチ)
 - 長さ
25.4～127mm (1～5 インチ)

*1：スキャナードライバーが PaperStream IP (TWAIN) for SP Series/PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series の場合に読み取りができます。

● 原稿の紙質

原稿の種類

原稿の種類は次のとおりです。

- 傷つけない写真などの原稿
- 紙づまりの可能性のある切り抜きなどの原稿

原稿の厚さ

読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 209g/m² まで (180kg/連まで)

● 写真キャリアシートを使用/保管するときの注意

写真キャリアシートを使用するときの注意

- 写真キャリアシートは、同時に最大 3 枚までセットできます。
- 写真キャリアシートの先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。
写真キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- 写真キャリアシートの上下を逆向きにして、スキャナーにセットしないでください。

原稿づまりが発生して、写真キャリアシートおよび写真キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。

➡ **写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき (85 ページ)**

- 写真キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、写真キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合がありますので、定期的に清掃してください。

➡ **キャリアシートの清掃 (101 ページ)**

清掃しても改善されない場合は、写真キャリアシートを交換してください。

- 写真キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した写真キャリアシートは使用しないでください。
スキャナーが破損または故障する可能性があります。
- 写真キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。
指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続搬送したあとに、写真キャリアシートの読み取りを行ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- 画像を見開きにする設定にしても、表面の画像だけが出力されます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 写真キャリアシートに冊子（パスポートなど）をセットして読み取らないでください。
原稿づまりが発生する可能性があります。
- 写真キャリアシートは高温環境下で使用しないでください。

写真キャリアシートを保管するときの注意

- 原稿を、写真キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
印刷のインクが写真キャリアシートに転写する場合があります。
- 写真キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
写真キャリアシートが変形するおそれがあります。
- 写真キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

いろいろな原稿の読み取り方

ここでは、スキャナーの動作や読み取り条件を設定して、いろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

ここに記載のない原稿の読み取り方については、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

幅の違う原稿を読み取りたいとき

重要

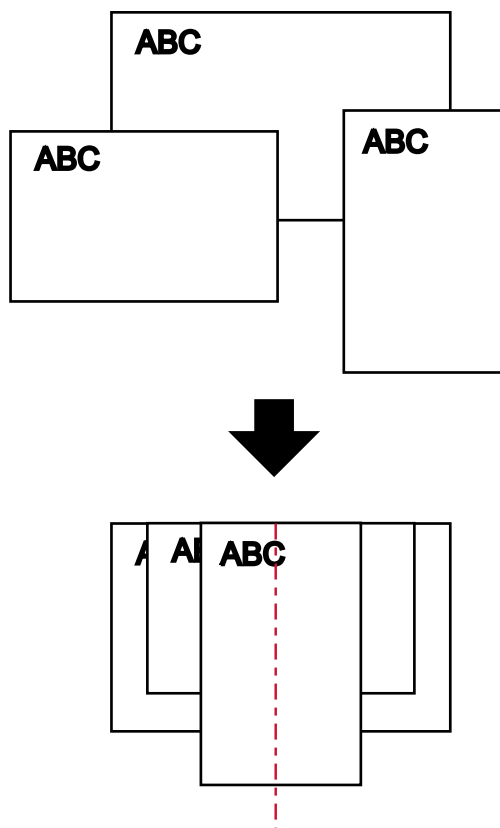
幅の違う原稿を一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。

うまく読み取れない場合は、同じ幅の原稿ごとに分けて、別々に読み取ってください。

1 原稿を混載して読み取る場合の原稿の条件を確認します。

→ [混載条件 \(64 ページ\)](#)

2 原稿の先端をそろえます。

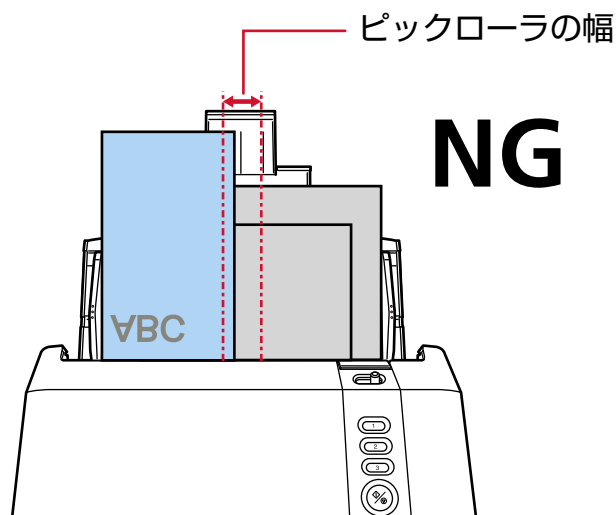
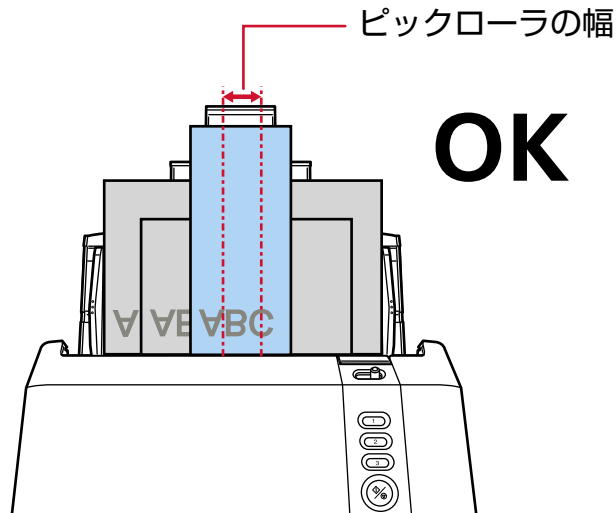


3 ADF 給紙シュート（フィーダー）の中央に原稿をセットし、最も幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。

→ [原稿のセット方法 \(53 ページ\)](#)

重要

すべての原稿がピックアップ（中央）にかかるようにセットしてください。ピックアップから外れた位置に原稿があると、原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。



- 4 スキャナードライバーで、原稿サイズを自動的に検出する読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 5 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき

ADF 給紙シュート（フィーダー）のサイドガイド拡張スイッチを操作したときだけ、幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取れます。

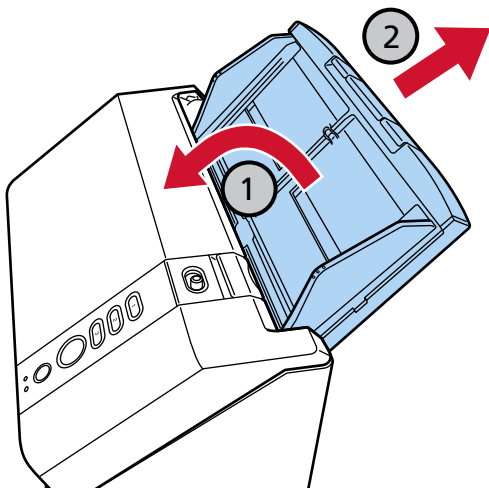
ヒント

幅が 215.9mm（8.5 インチ）を超える画像は出力できません。出力できる画像のサイズは、スキャナーで読み取れる原稿のサイズに従います。

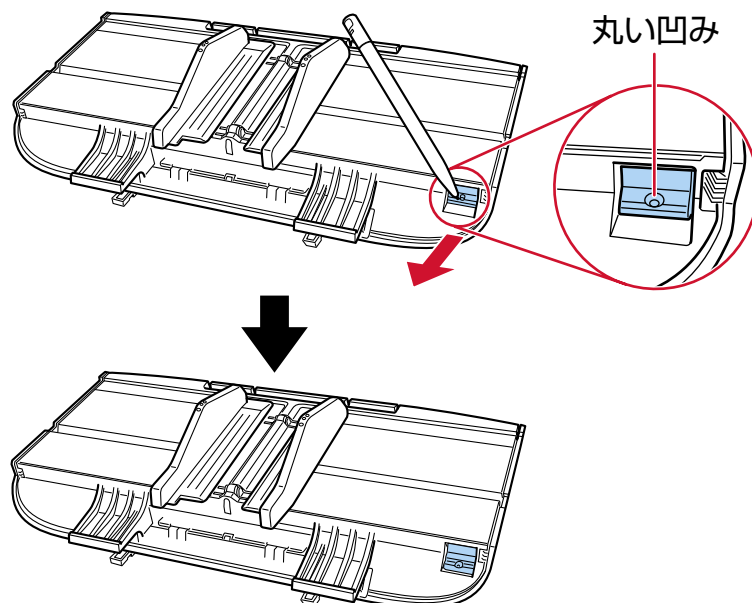
→ [原稿のサイズ \(55 ページ\)](#)

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。

ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、①の矢印方向に持ち上げながら、②の矢印方向に引き上げます。

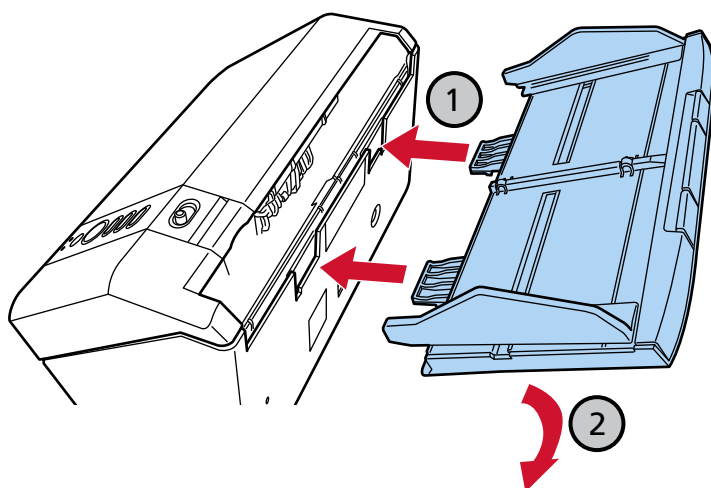


- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）のサイドガイド拡張スイッチの丸い凹みに、ボールペンなどの先を差して、サイドガイド拡張スイッチを手前に引き出します。



- 4 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けます。

スキャナー背面にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように、①の矢印方向に差し込み、②の矢印方向に引き下げてしっかり固定します。
サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



重要

ADF 給紙シュート（フィーダー）はスキャナーとの隙間がないようにしっかり差し込んでください。

- 5 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

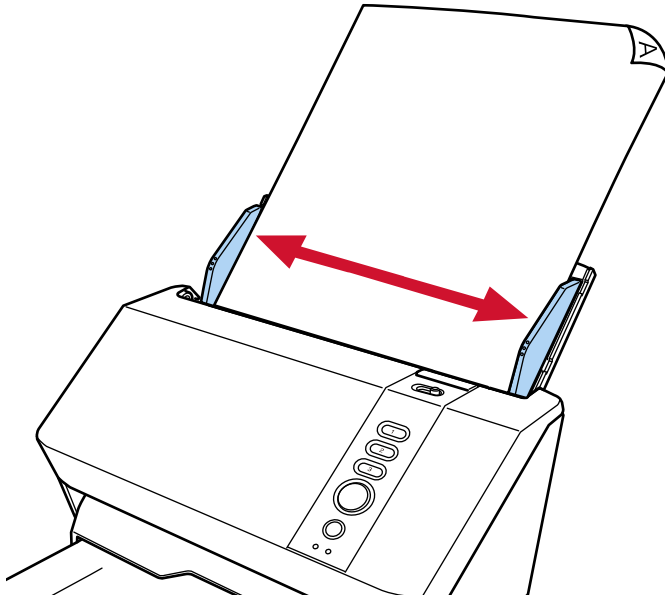
→ 原稿のセット方法 (53 ページ)

6 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドは 220mm 以上 240mm 以下の原稿の幅に合わせられます。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が傾いて搬送されることがあります。



7 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

2 つ折りの原稿を読み取りたいとき

給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えると、2 つに折り曲げた原稿（A3 サイズ、ダブルレターサイズの 2 つ折りまで）をそのまま読み取れます。

手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

重要

- 原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が傾いて搬送されることがあります。
- 手差し・単送モードは、2 つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。

そのため、原稿の重なりを検出する設定をしていますが、原稿の重なりを検出しません。

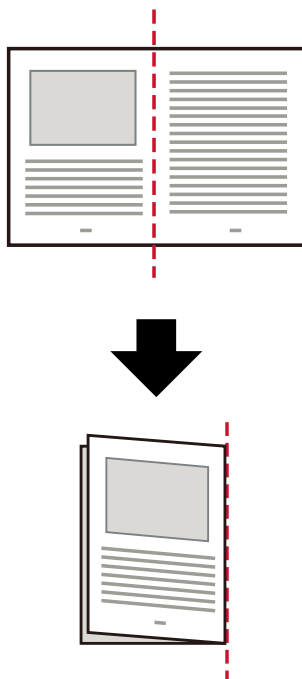
→ [原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）（176 ページ）](#)

1 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。

原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。

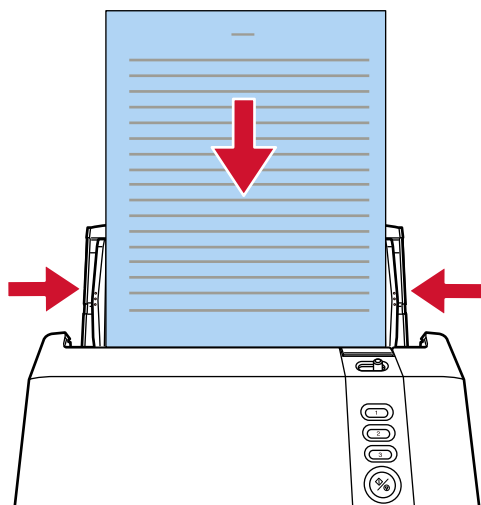
折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾いて搬送され、画像の傾きの原因となります。

例

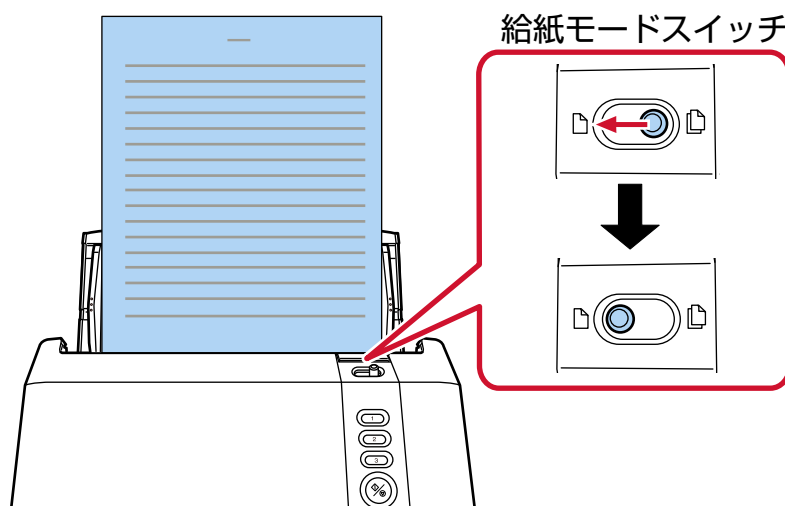


2 2 つ折りの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。

→ 原稿のセット方法 (53 ページ)



3 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードにします。



4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

ヒント

次の場合に、原稿がセットされるまで最大 10 秒間待機します。

- 原稿をセットせずに、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始した場合
 - 原稿を 1 枚搬送したあと
- 待機中に Scan/Stop ボタンを押すと、読み取りが完了します。

封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき

給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えると、封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取れます。

手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

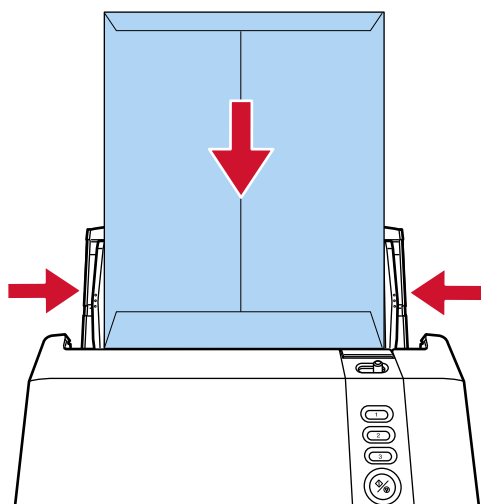
重要

- 読み取れる原稿の厚さは、[読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)を参照してください。
- 手差し・単送モードは、2 つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。
そのため、原稿の重なりを検出する設定をしても、原稿の重なりを検出しません。
→ [原稿の重なりを検出する方法の設定 \(マルチフィード\) \(176 ページ\)](#)

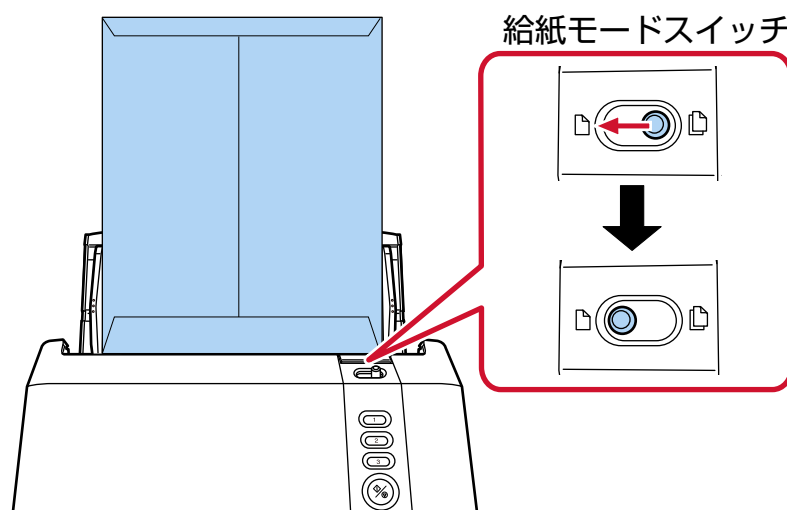
1 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。

複数枚つづりの複写紙の場合は、つづられている側を下にしてセットします。

→ [原稿のセット方法 \(53 ページ\)](#)



2 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードにします。



3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

ヒント

次の場合に、原稿がセットされるまで最大 10 秒間待機します。

- 原稿をセットせずに、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始した場合
- 原稿を 1 枚搬送したあと

待機中に Scan/Stop ボタンを押すと、読み取りが完了します。

A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき

オプションの A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 などの A4 サイズより大きい原稿を読み取れます。原稿は 2 つ折りにして、A3 キャリアシートにはさみます。

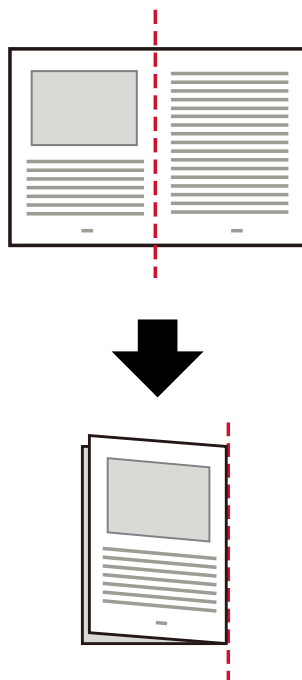
1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。

a 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。

原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。

原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が傾いて搬送されることがあります。

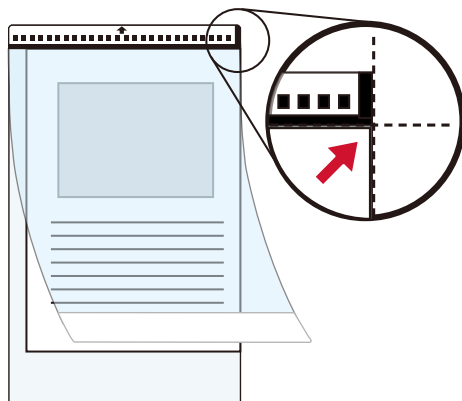
例



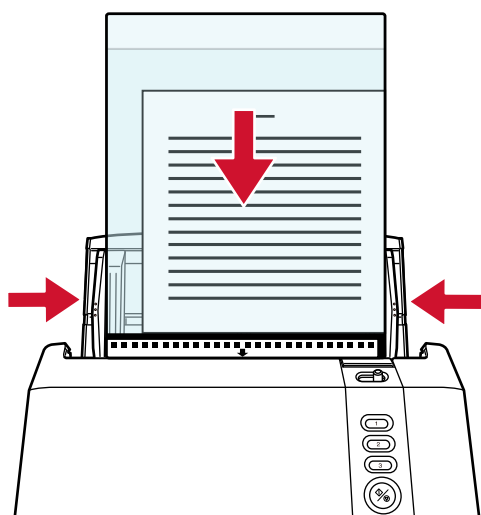
b A3 キャリアシートの表面を開けて、原稿をはさみます。

A3 キャリアシートの表面は、白黒のパターンを上にしたときに、右端に縦線のある面です。

原稿の上端と折り目を、A3 キャリアシートの右上部分の上端と右端に、隙間ができないようにしっかりと合わせます。



- 2 A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シート（フィーダー）にセットします。A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



- 3 スキャナードライバーで、A3 キャリアシート用の読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

キャリアシートを使用した場合の画像の切り出し方法/出力方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

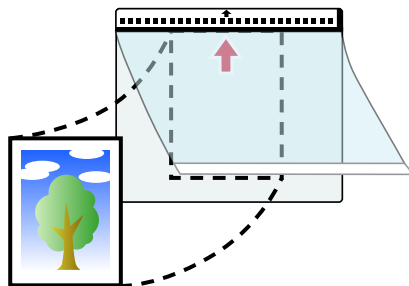
写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき

オプションの A3 キャリアシートまたは写真キャリアシートを使用すると、写真や、資料の切り抜きのような非定型サイズの原稿を傷つけずに読み取れます。

ここでは、写真キャリアシートを使用する場合を例に説明します。

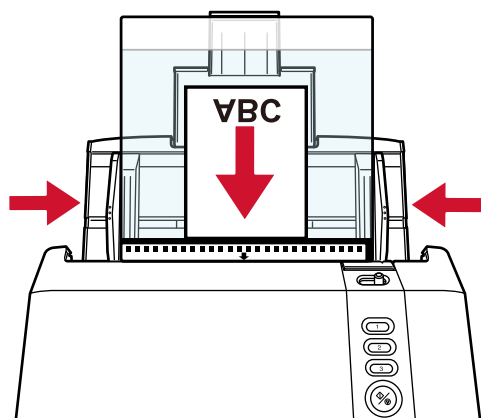
1 写真キャリアシートに原稿をセットします。

写真キャリアシートを開けて、原稿を写真キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上端を写真キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。



2 写真キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。

写真キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



3 スキャナードライバーで、写真キャリアシート用の読み取り条件を設定します。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

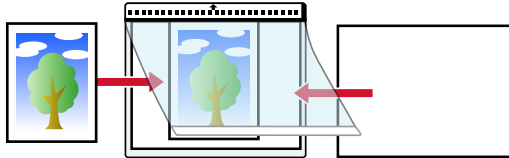
重要

キャリアシートを使用した場合の画像の切り出し方法/出力方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

次のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」に「自動」が指定されている場合、画像が原稿と同じサイズで出力されない。
- 画像に原稿の端の影が入る。
- 特殊な形に切り抜いた原稿を写真キャリアシートにはさんだ場合、画像に原稿の形をした黒線が入る。
- 画像に原稿の外側の画像が含まれる。



長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）が 6,096mm（240 インチ）までの原稿を読み取りできます。

読み取り解像度の設定や、画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取りできる原稿サイズが異なります。

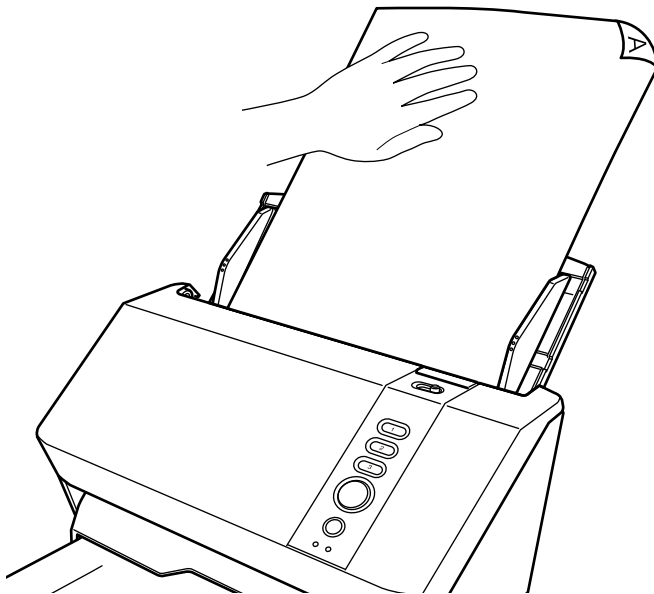
詳細は、[原稿のサイズ \(55 ページ\)](#)、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿を 1 枚セットします。

→ [原稿のセット方法 \(53 ページ\)](#)

- 2 セットした原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から落ちないように、手で支えます。

原稿を手で支えるときは、原稿の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



- 3 スキャナードライバーで、長尺帳票用の読み取り条件を設定します。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

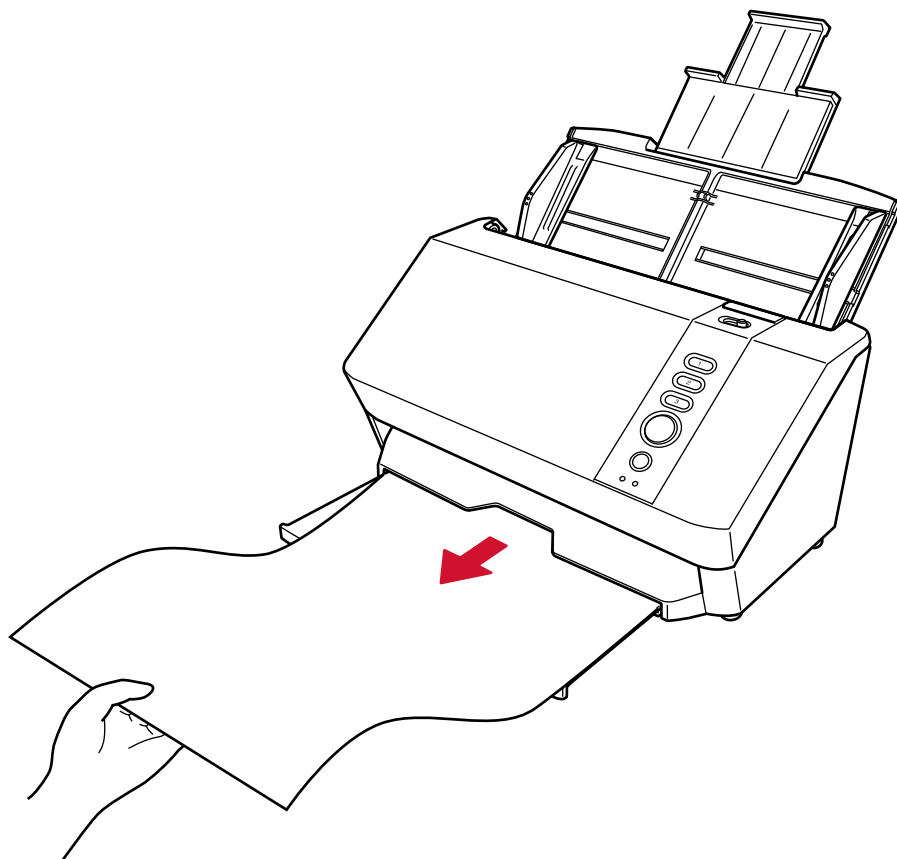
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合もあります。

- 4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

- 5 スタッカー側に十分なスペースを設け、排出した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ります。

原稿を手で受け取るときは、原稿の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



日常のお手入れ

ここでは、スキャナーの清掃方法について説明します。



注意

- エアスプレーおよびアルコールを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、紙粉やほこりがスキャナー内部に侵入し、故障や装置異常の原因となることがあります。
また、静電気によるスパーク（火花）によって引火するおそれがあります。
- スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて15 分以上待って、ADF 内部の温度が下がってから清掃してください。

清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1 本（100ml） よごれを落とすためのクリーナー液です。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	1 パック（10 枚入り） スキャナーの内部を簡易的に清掃できます。 クリーナ F1 を吹き付けて、原稿と同じようにスキャナーで読み取って使用します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1 箱（24 袋入り） クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
綿棒	市販のもの	超音波センサーなどの細かい箇所の清掃に使用します。
乾いた布		よごれをふき取るための布です。少量のクリーナ F1 をしみこませて使用します。
ScanAid（*1）	FI-224SA	-

*1：ScanAidの詳細は、[スキャナーのオプション（187 ページ）](#)を参照してください。

重要

清掃用品を正しく安全に使用していただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細は、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(200 ページ\)](#)にお問い合わせください。

清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所		清掃頻度
スキャナー内部（ADF 内部）	ブレーキローラ	3,000 枚の読み取りごとに清掃してください。
	ピックアップローラ	
	フィードローラー	
	排出ローラー	
	ガラス	
	超音波センサー	
	原稿検知センサー	

スキャナー内部（ADF 内部）は、読み取り枚数ごとに定期的な清掃が必要です。スキャナーでは、読み取った原稿の枚数が記録されているので、前回清掃してからの読み取り枚数を確認できます。

Software Operation Panel で、読み取り枚数を確認できます。

➔ [枚数カウンターの確認 \(163 ページ\)](#)

重要

原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

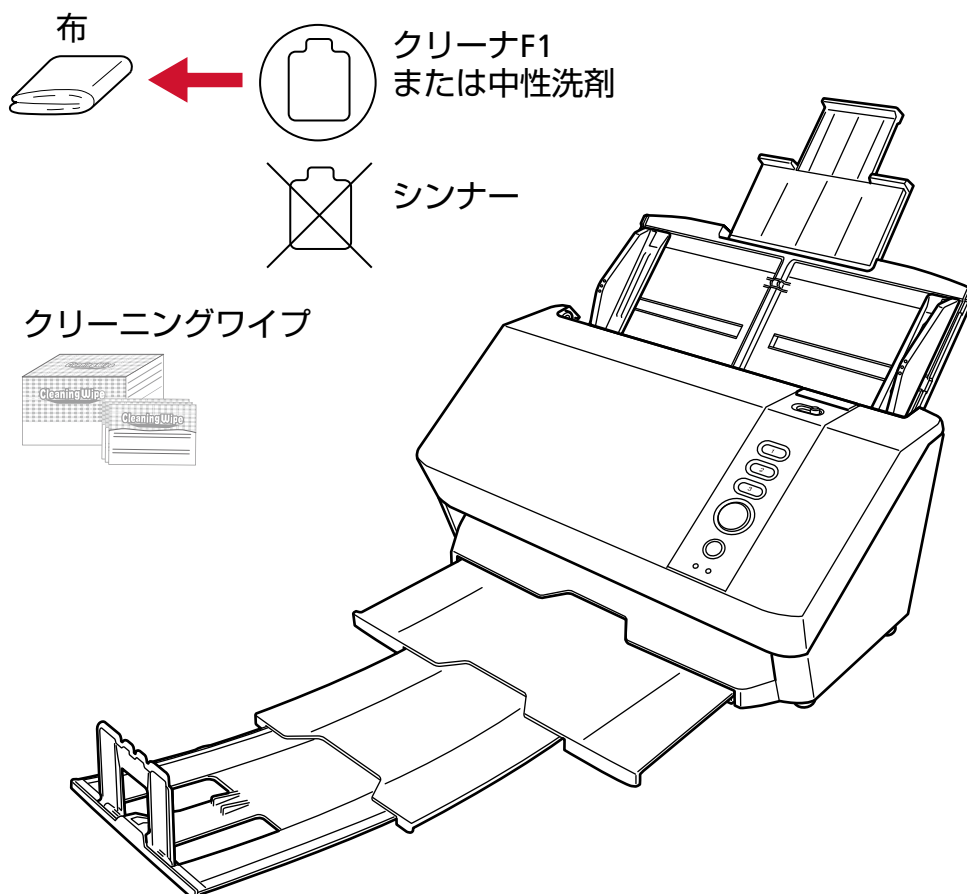
- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿
- トナーが十分定着していない原稿

スキャナー外部の清掃

スキャナー本体（ADF 給紙シュート（フィーダー）、スタッカーなど）は、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

重要

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 清掃中に、スキャナー内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 または中性洗剤を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。



スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパー）

ADF 内部は、クリーナ F1 を吹き付けたクリーニングペーパーで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 3,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は、読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量をクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)

2 クリーナ F1 をクリーニングペーパーに吹き付けます。

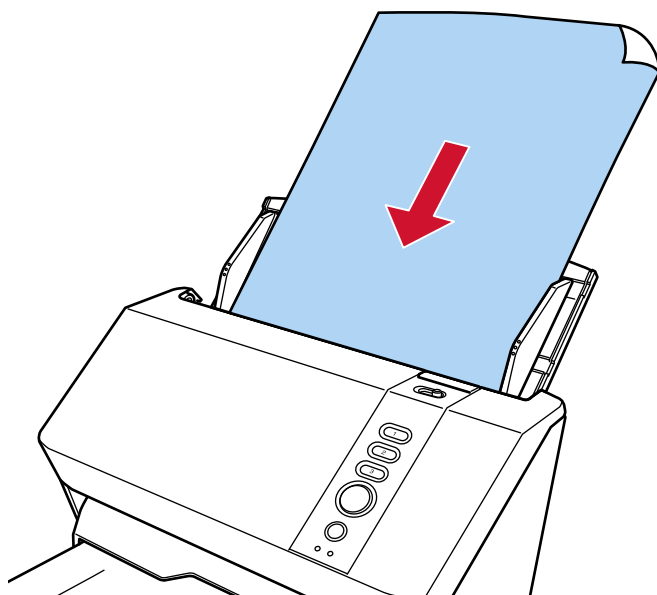
3 クリーニングペーパーの長さに合わせて、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を引き上げます。

→ [ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 \(41 ページ\)](#)

4 クリーニングペーパーの長さに合わせて、スタッカーを設定します。

→ [スタッカーの設定 \(42 ページ\)](#)

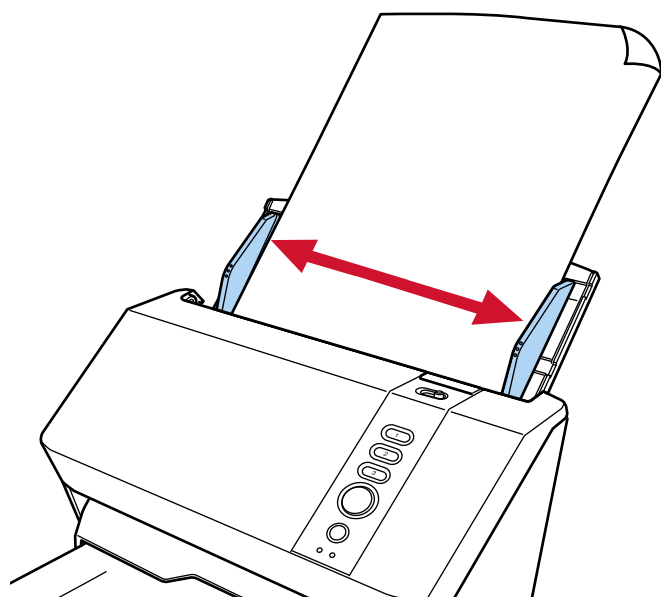
5 ADF 給紙シュート（フィーダー）にクリーニングペーパーをセットします。



6 クリーニングペーパーの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間ができないようにします。

サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間があると、クリーニングペーパーが傾いて搬送されることがあります。



7 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始して、クリーニングペーパーを読み取ります。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのヘルプを参照してください。
クリーニングペーパーが搬送され、スタッカーに排出されます。

8 Software Operation Panel で、清掃のカウンターをクリアします。

➔ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布）

ADF 内部は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 3,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は、読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。



注意

スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。

ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから清掃してください。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

- 1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。

→ [電源の切断 \(36 ページ\)](#)

- 2 ADF を開けます。

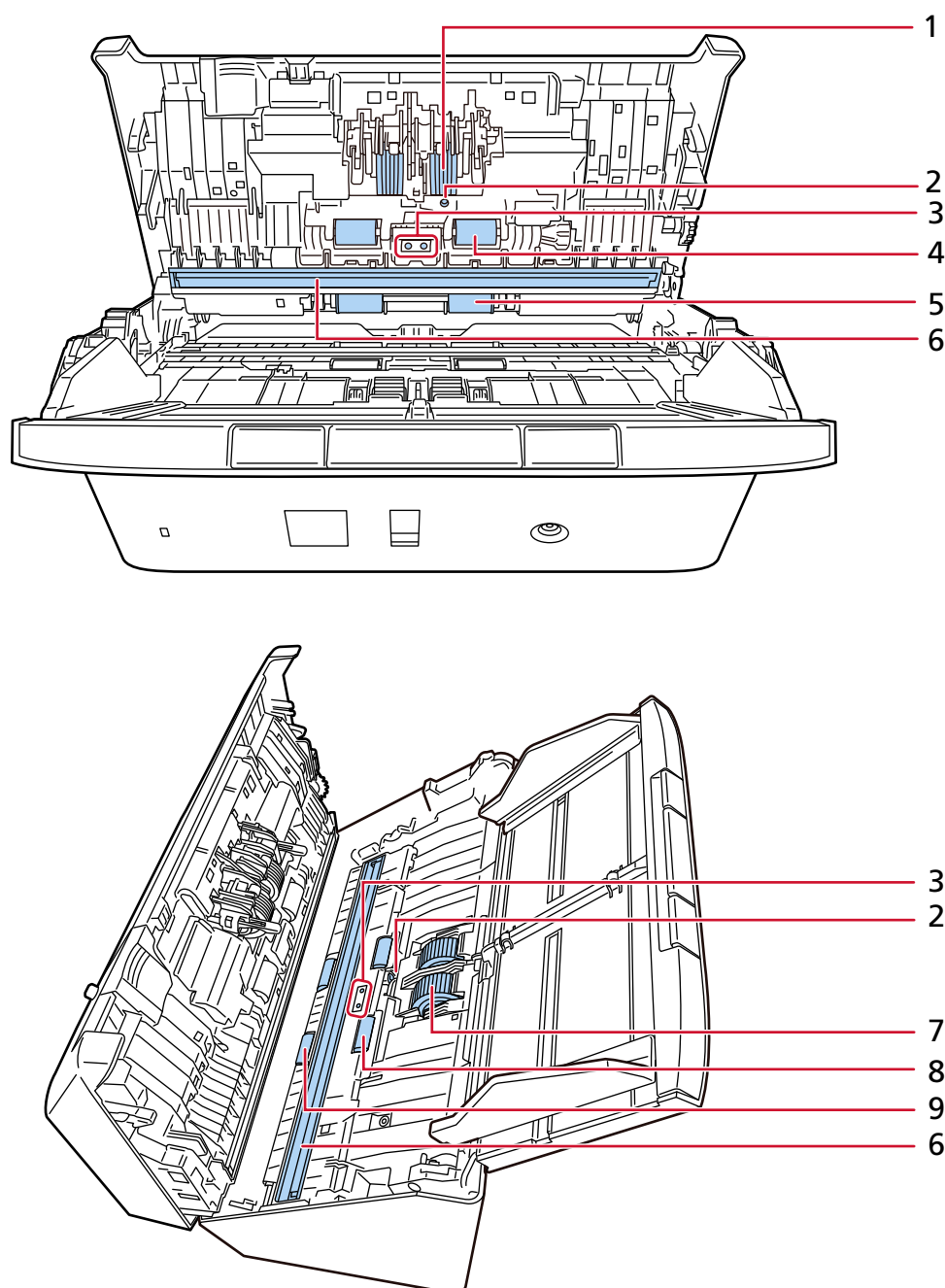
→ [ADF の開け方 \(39 ページ\)](#)



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の箇所を清掃します。



No.	清掃箇所
1	ブレーキローラ (2 か所)
2	超音波センサー (2 か所)
3	原稿検知センサー (2 か所)
4	手で回転させながら清掃するフィードローラ (2 か所)
5	手で回転させながら清掃する排出ローラ (2 か所)

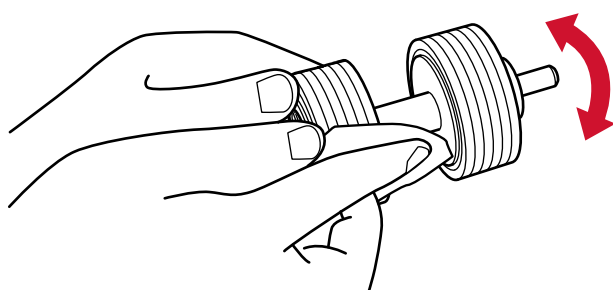
No.	清掃箇所
6	ガラス（2 か所）
7	ピックアップ（2 か所）
8	電源を投入して回転させながら清掃するフィードローラー（2 か所）
9	電源を投入して回転させながら清掃する排出ローラー（2 か所）

1 ブレーキローラー（2 か所）

ブレーキローラーはスキャナーから取り外して清掃します。

ブレーキローラーの取り外し方法は、[ブレーキローラーの交換 \(104 ページ\)](#)を参照してください。

ローラーの表面をいためないように、ローラー表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。



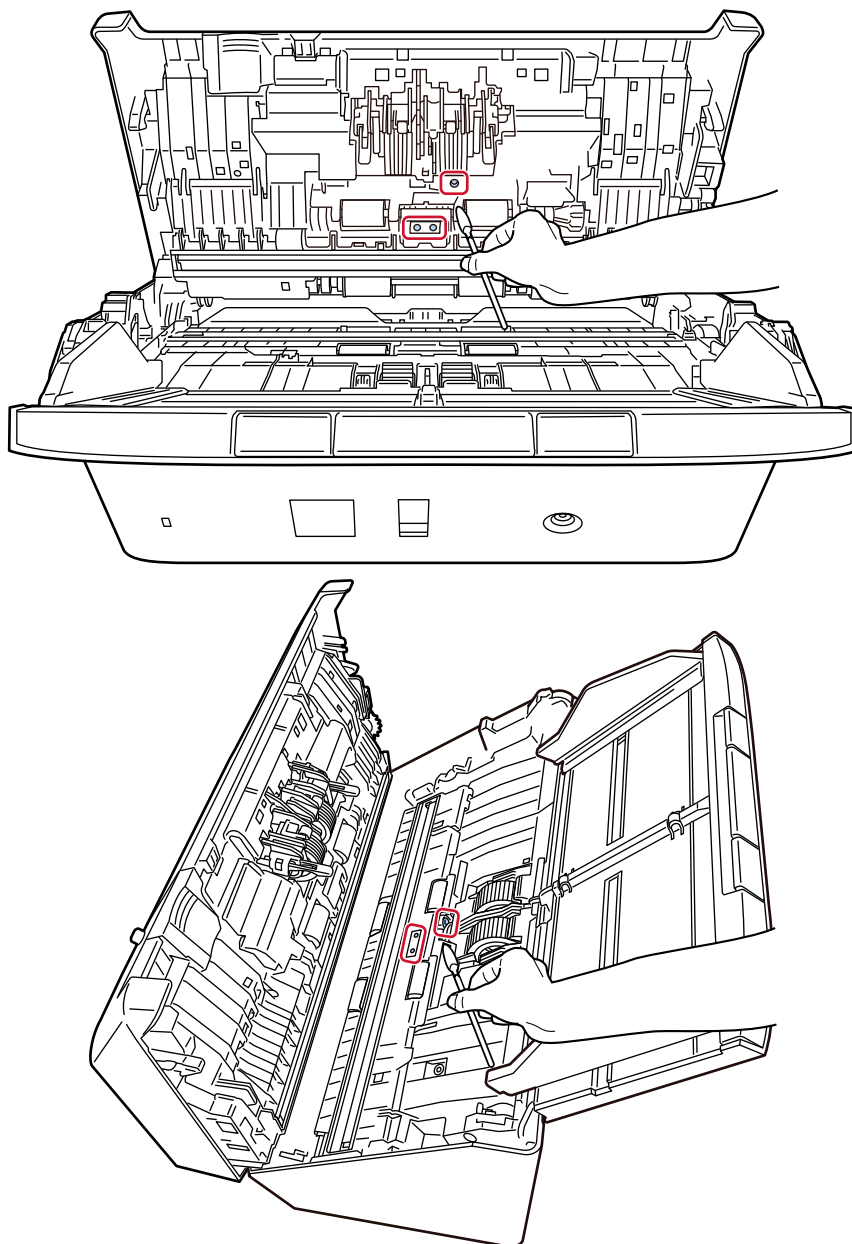
2 超音波センサー（2 か所）

3 原稿検知センサー（2 か所）

超音波センサー/原稿検知センサーの表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

ヒント

ふき取りにくい場合は、綿棒を使用して清掃してください。



4 手で回転させながら清掃するフィードローラー (2 か所)

5 手で回転させながら清掃する排出ローラー (2 か所)

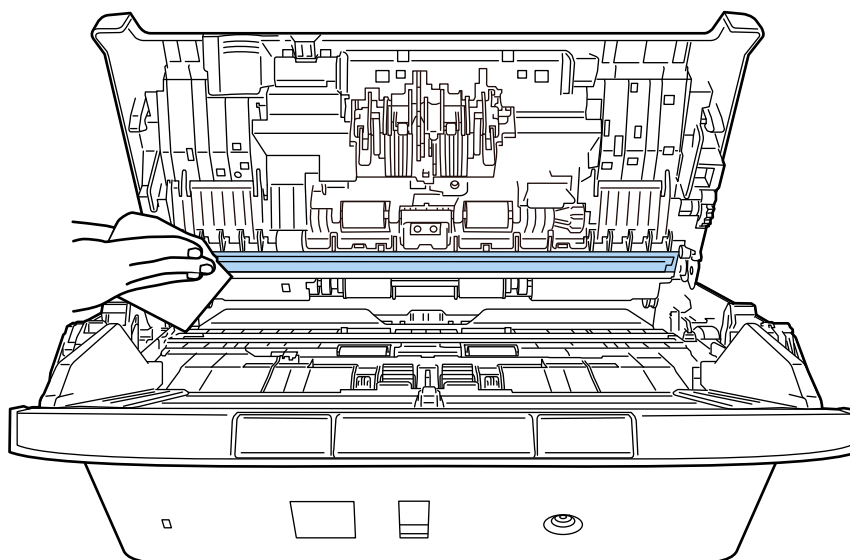
ローラーの表面をいためないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

6 ガラス (2 か所)

ガラス面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

重要

- ガラス面がよごれていると、画像に縦線（縦筋）が出ることがあります。
- ガラス面上部の突起物に手が触れないように、スキャナーの向きを変えてガラス面を正面にし、その状態でガラス面をふいてください。



7 ピックローラ（2 か所）

手で回転させながら、ローラの表面をいためないように、ローラ表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

8 電源を投入して回転させながら清掃するフィードローラ（2 か所）

9 電源を投入して回転させながら清掃する排出ローラ（2 か所）

フィードローラ/排出ローラは、電源を投入して回転させながら清掃します。

- a 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

➡ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)

- b ADF を開けます。

➡ [ADF の開け方 \(39 ページ\)](#)



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- c Scan/Stop ボタンを 3 秒以上押して、クリーニングモードにします。

クリーニングモードになると、ランプ（LED）が緑色に点滅（1 秒点灯 1 秒消灯）します。

- d フィードローラー/排出ローラー表面に目立つよごれがある場合、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで拭き取ります。
- e Scan/Stop ボタンを押します。
フィードローラー/排出ローラーが、同時に一定量回転します。
目安として、Scan/Stop ボタンを 7 回押すと、フィードローラー/排出ローラーが 1 回転します。
- f 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプを、回転しているフィードローラー/排出ローラー表面に押し当てて左右にこすり、ローラー全域のよごれやほこりをふき取ります。
特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。



注意

回転中のローラーに直接手が触れないように、注意してください。

4 ADF を閉じます。

→ [ADF の閉じ方 \(40 ページ\)](#)



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

5 Software Operation Panel で、清掃のカウンターをクリアします。

→ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

キャリアシートの清掃

キャリアシートは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。

キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。

そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合がありますので、定期的に清掃してください。

重要

- キャリアシートに折り目が付かないよう注意してください。
- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 強くこすらないでください。キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃したあとは、十分乾かしてからキャリアシートを閉じてください。
- キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。
ただし、この目安は、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって変わります。
キャリアシートの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(200 ページ\)](#)にお問い合わせください。

消耗品の交換

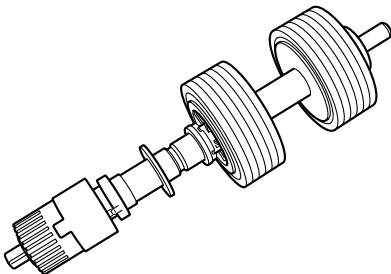
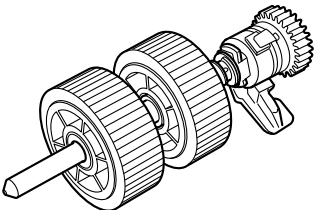
ここでは、スキャナーの消耗品の交換について説明します。



注意

スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
消耗品を交換する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから交換してください。

消耗品と交換周期

品名	型名	交換周期（目安）
ブレーキローラ 	FI-C224BR	200,000 枚ごとに交換
ピックローラ 	FI-C224PR	200,000 枚ごとに交換
ScanAid（*1）	FI-224SA	-

*1：ScanAid の詳細は、[スキャナーのオプション（187 ページ）](#)を参照してください。

消耗品は定期的に交換が必要です。寿命前に消耗品を準備することを推奨します。また、スキャナーには、消耗品（ブレーキローラおよびピックローラ）ごとに、読み取った原稿の枚数が記録されているので、消耗品の交換時期を確認できます。

Software Operation Panel で、読み取った原稿の枚数を確認できます。

➔ 枚数カウンターの確認（163 ページ）

交換周期は、A4 原稿 80g/m²（69kg/連）の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度・環境、および清掃の頻度によって異なります。

重要

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品の購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(200 ページ\)](#)にお問い合わせください。

ブレーキローラの交換

- 1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。

→ [電源の切断 \(36 ページ\)](#)

- 2 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

- 3 ADF を開けます。

→ [ADF の開け方 \(39 ページ\)](#)

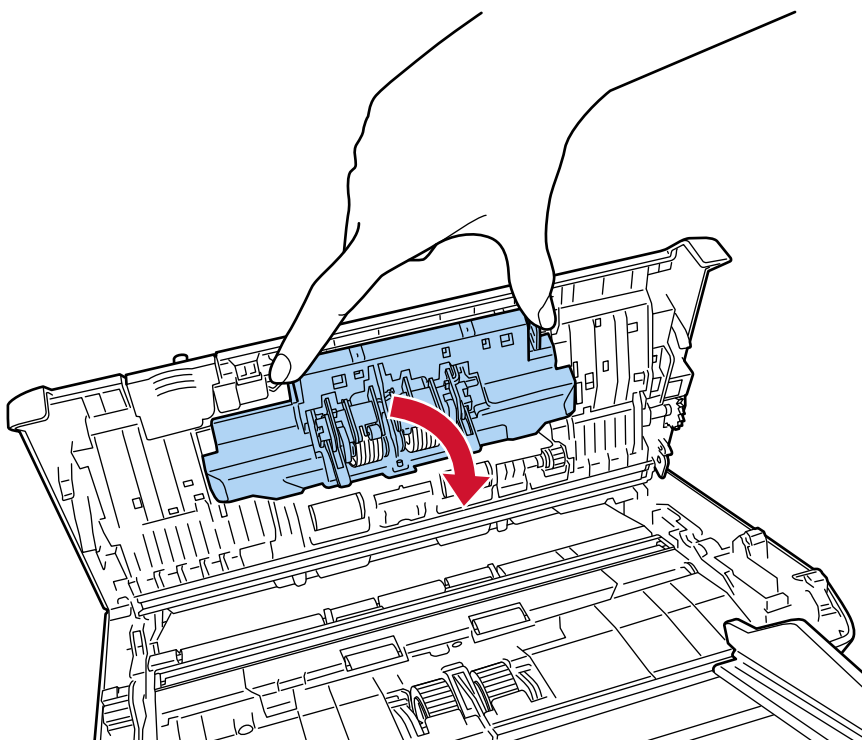


注意

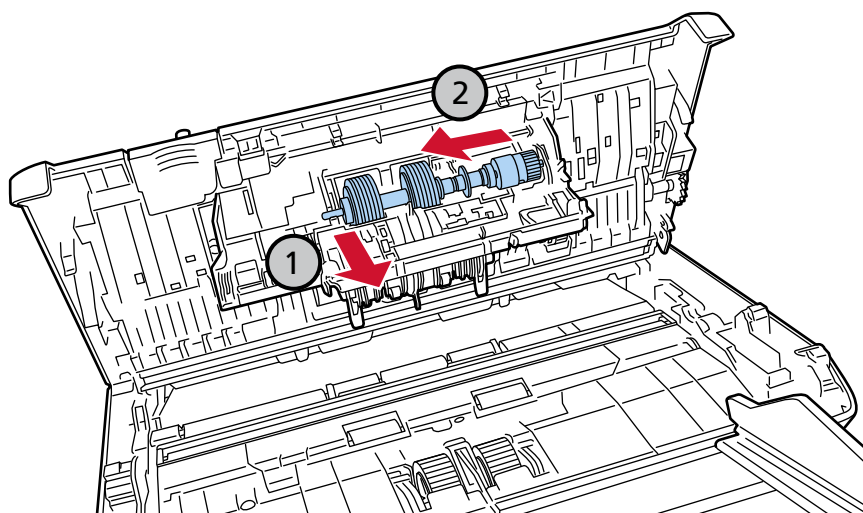
ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- 4 ブレーキローラを取り外します。

- a ブレーキローラのカバーの左右側面をつまんで、矢印の方向に開けます。

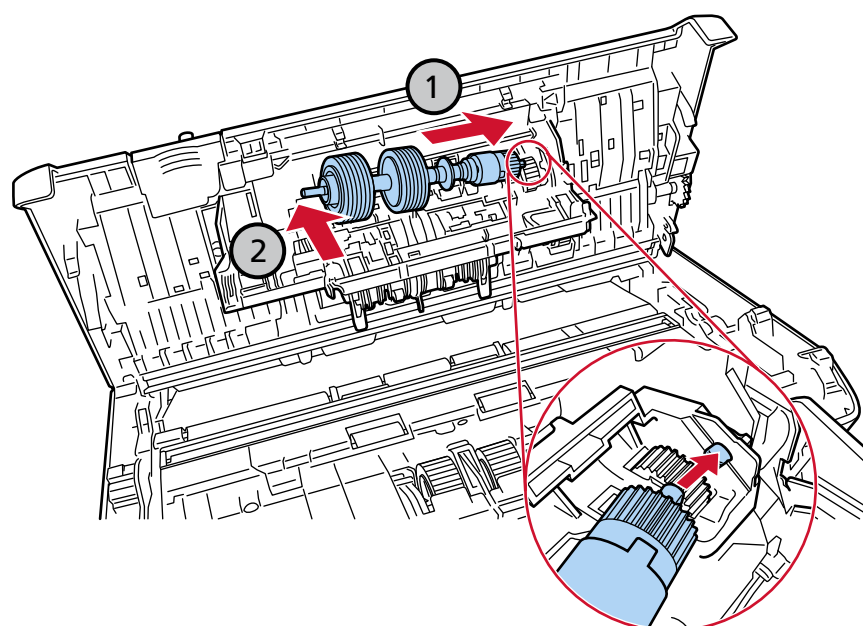


- b ブレーキローラを手前に軽く引き出してローラー側の軸を外し (①), 反対側の軸を穴から抜き取ります (②)。



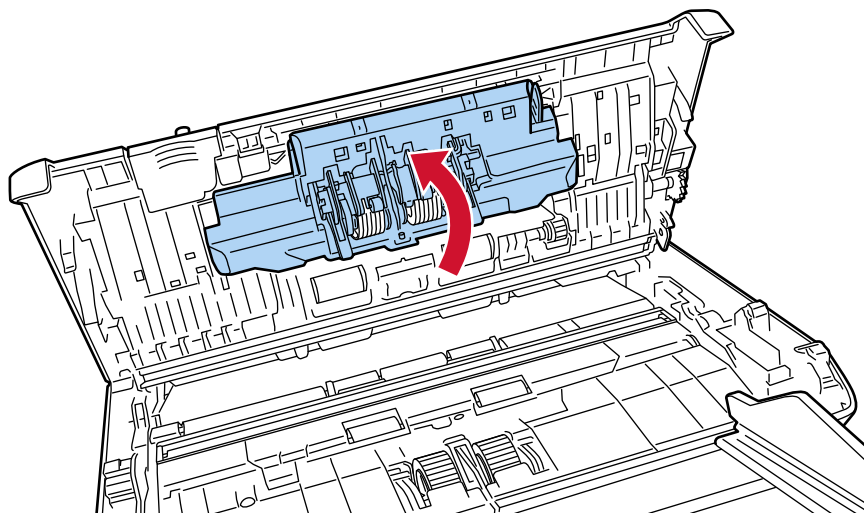
5 新しいブレーキローラを取り付けます。

- a ブレーキローラの先端を、穴の形状に合わせて差し込んでから (①), ローラー側の軸を取り付けます (②)。



ブレーキローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

b プレーキローラのカバーを閉じます。



6 ADF を閉じます。

→ [ADF の閉じ方 \(40 ページ\)](#)



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

7 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)

8 Software Operation Panel で、プレーキローラのカウンターをクリアします。

→ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

ピックアップラの交換

- 1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。

→ 電源の切断 (36 ページ)

- 2 ADF 給紙シュート (フィーダー) の上にある原稿を取り除きます。

- 3 ADF を開けます。

→ ADF の開け方 (39 ページ)

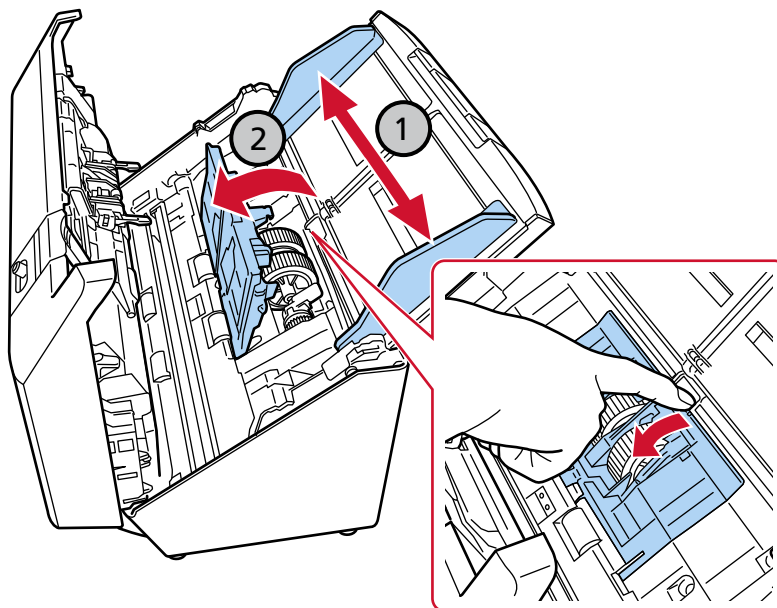


注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

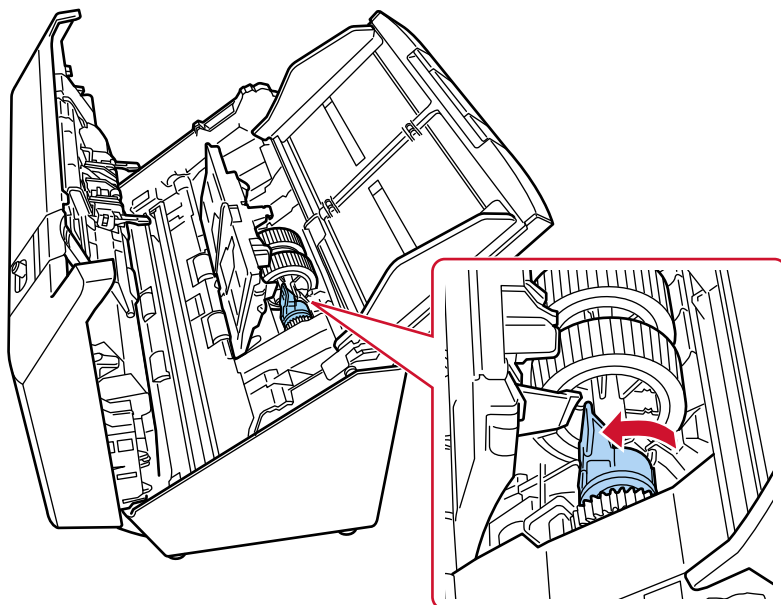
- 4 ピックローラを取り外します。

- a サイドガイドを左右いっぱいに開いてから (1)、シートガイドの上にある凹みに指を入れて、シートガイドを手前に開きます (2)。

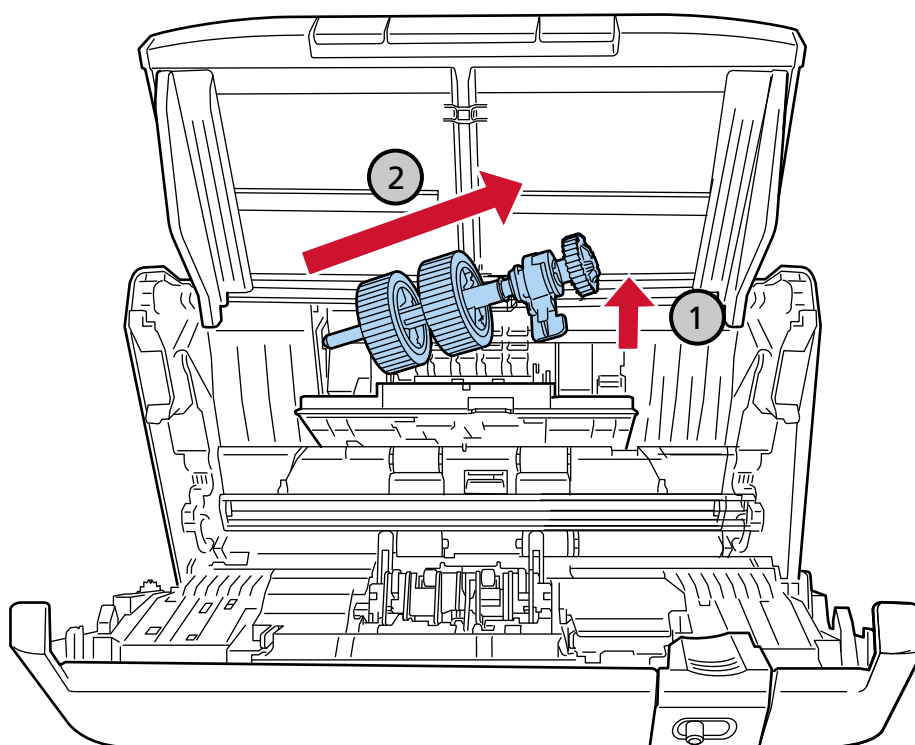


- b ピックローラのレバーを起こします。

ピックローラのレバーのそばにあるギヤにはグリース（油）が付いています。触らないように注意してください。

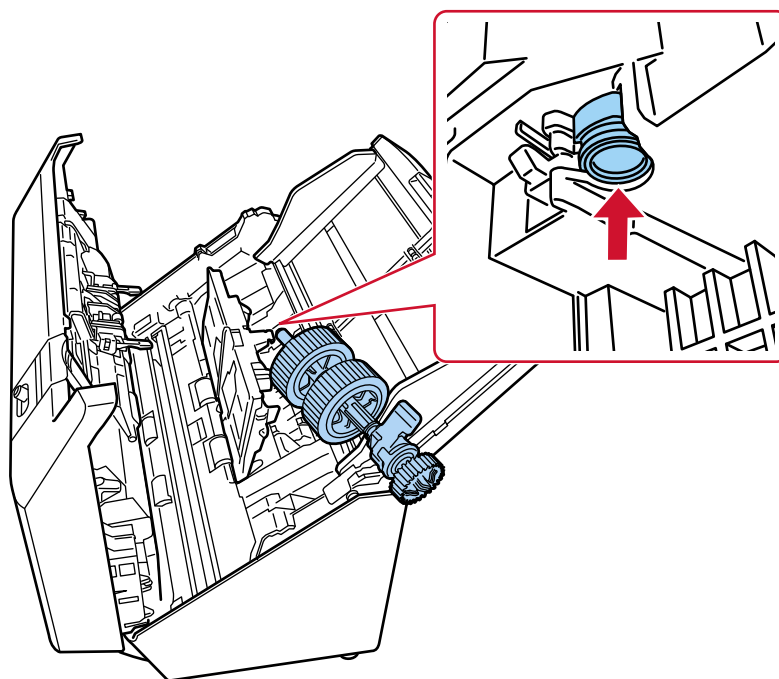


- c ピックローラのレバーを軽く引き上げ (1)、ピックローラの軸の先端を穴から抜き取ります (2)。

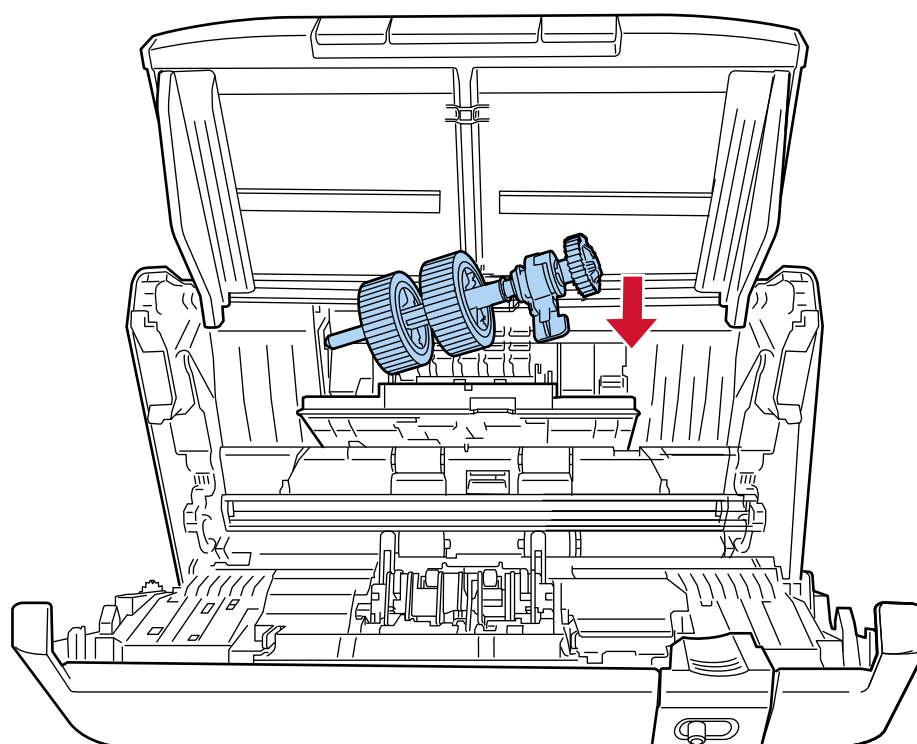


5 新しいピックローラを取り付けます。

- a ピックローラのレバーを持ち、先端を穴にはめます。

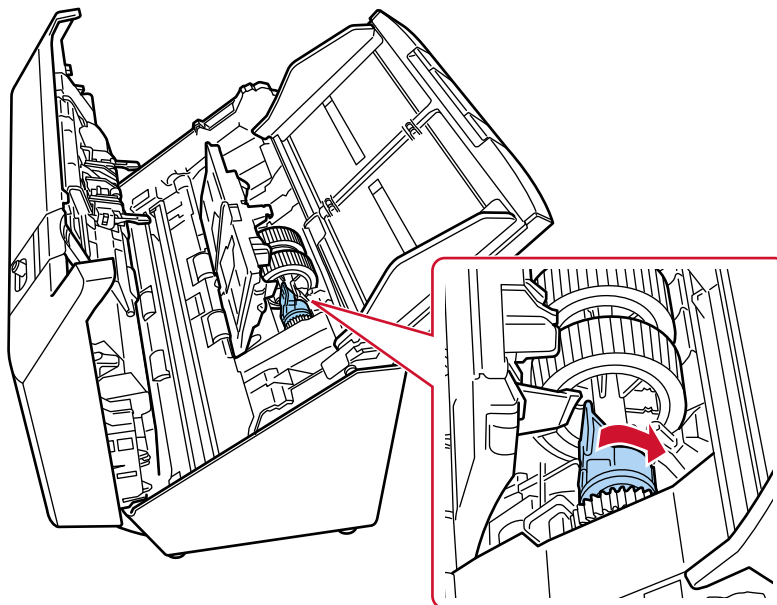


- b 浮いているピックローラのレバー側を下げて全体をはめ込みます。

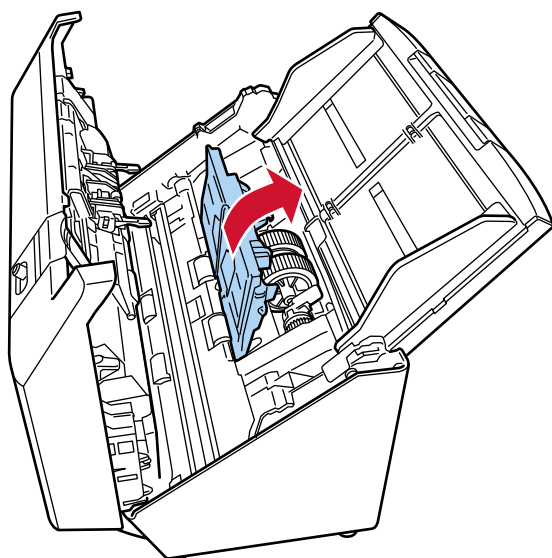


ピックローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

c ピックローラのレバーを倒して固定します。



d シートガイドを閉じます。



6 ADF を閉じます。

→ [ADF の閉じ方 \(40 ページ\)](#)



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

7 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)

8 Software Operation Panel で、ピックアップのカウンターをクリアします。

→ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

困ったときには

ここでは、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、お問い合わせの前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

重要

記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細は、スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

原稿づまりが発生したときは

次の手順に従い ADF 内部に残った原稿を取り除いてください。



注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF を開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、髪などのスキャナー内部に巻き込まれる可能性のあるものに注意してください。
- ADF 内部が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

2 ADF を開けます。

→ [ADF の開け方 \(39 ページ\)](#)



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。

重要

- ステープルやクリップなどの金属物は原稿づまりの原因となるため、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの金属物が付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがあるため注意してください。

4 ADF を閉じます。

→ [ADF の閉じ方 \(40 ページ\)](#)



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。
- 読み取りを終了したりキャンセルしたときに、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF 内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1～4 に従って取り除いてください。
- 読み取りを継続するときは、再開ページを確認のうえ、原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に再度セットしてください。

エラーについて

● エラーの表示

スキャナーにエラーが発生すると、スキャナーの Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

● 一時的なエラー

橙色に点灯または点滅します。

● 装置異常

橙色に点滅します。

一時的なエラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、サービスエンジニアによる復旧作業が必要となる場合があります。

ヒント

スキャナーのエラーが発生した場合、次の方法でエラーの内容や対処方法を確認できます。

Error Recovery Guide で確認できます。

Windows にサインインしたときに、Error Recovery Guide が起動され、タスクバーの通知領域に Error Recovery Guide のアイコンが表示されます。

アイコンが表示されない場合は、Error Recovery Guide を起動してください。

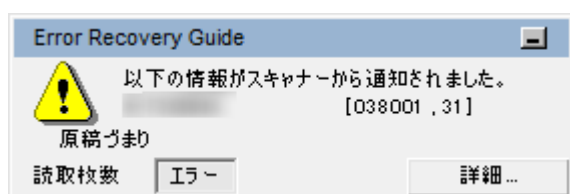
● Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合

「スタート」メニュー→「SP Series」→「Error Recovery Guide」をクリックします。

● Windows 11/Windows Server 2025 の場合

「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「SP Series」→「Error Recovery Guide」をクリックします。

画面に表示されるエラーの名称やコード番号を書きとめて、[詳細] ボタンから対処方法を確認してください。



● エラー一覧

Power/Check ランプ (LED)	エラーの種類	エラーの内容	参照先
点灯（橙）	一時的なエラー（*1）	原稿づまり	原稿づまり/ピックアップエラー (116 ページ)
		ピックアップエラー	
		マルチフィード (重なり検出)	マルチフィード (116 ページ)
		マルチフィード (長さ検出)	

Power/Check ランプ (LED)	エラーの種類	エラーの内容	参照先
		給紙モードスイッチ切り替え検出	給紙モードスイッチ切り替え検出 (116 ページ)
		センサーよごれ	センサーよごれ (117 ページ)
		ADF オープン	ADF オープン (117 ページ)
点滅 (橙) 2 回	装置異常 (*2)	光量異常 (ADF 表面)	光量異常 (ADF) (117 ページ)
点滅 (橙) 3 回	装置異常 (*2)	光量異常 (ADF 裏面)	
点滅 (橙) 5 回	装置異常 (*2)	センサー異常	センサー異常 (118 ページ)
点滅 (橙) 6 回	装置異常 (*2)	メモリー異常(表)	メモリー異常/LSI 異常 (118 ページ)
		メモリー異常(裏)	
		LSI 異常(表)	
		LSI 異常(裏)	
		画像メモリー RW エラー(表)	画像メモリー RW エラー (118 ページ)
		画像メモリー RW エラー(裏)	
		RAM 異常	RAM 異常 (119 ページ)
点滅 (橙) 7 回	装置異常 (*2)	ランプ系異常	ランプ系異常 (119 ページ)
点滅 (橙) 8 回	装置異常 (*2)	スキャナー内部異常	スキャナー内部異常 (119 ページ)
点滅 (橙) 9 回	装置異常 (*2)	スキャナー内部通信異常	スキャナー内部通信異常 (120 ページ)
点滅 (橙) 10 回	装置異常 (*2)	モーター異常	モーター異常 (120 ページ)
点滅 (橙) 11 回	装置異常 (*2)	EEPROM 異常	EEPROM 異常 (120 ページ)
点灯 (緑)	—	原稿の搬送を中止しました	原稿の搬送を中止しました (120 ページ)
—	一時的なエラー	ほかで使用中	ほかで使用中 (121 ページ)
—	一時的なエラー	読み取り領域指定異常	読み取り領域指定異常 (121 ページ)
—	一時的なエラー	原稿がありません。原稿をセットしてください。	原稿がありません。原稿をセットしてください。 (122 ページ)

*1：エラーが発生しているときに、次のどちらかの操作を行うと、Power/Check ランプ (LED) が緑色の早い点滅 (0.5 秒点灯 0.5 秒消灯) になり、原稿が読み取れる状態に戻ります。

- スキャナーの Scan/Stop ボタンを押す
スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿を取り除いてください。
- スキャナー内部に残っている原稿を取り除く

*2: エラーが発生しているときに、スキャナーの Scan/Stop ボタンを押すと、Power/Check ランプ (LED) が緑色の点灯になります。エラーの対処を行ってください。

原稿づまり/ピックエラー

原稿づまり/ピックエラーが発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	原稿づまり
	ピックエラー

次の対処をしてください。

- スキャナー内部につまった場合、[原稿づまりが発生したときは \(112 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除きます。
- 原稿が読み取りに適しているかを、[読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)を参照して確認してください。
- 原稿づまりが頻繁に発生する場合は、[原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる \(137 ページ\)](#)を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([199 ページ](#))に連絡してください。

マルチフィード

原稿が重なって搬送されると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	マルチフィード (重なり検出)
点灯 (橙)	マルチフィード (長さ検出)

スキャナー内部に原稿が残っている場合は、[原稿づまりが発生したときは \(112 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除きます。

頻繁に原稿が重なって搬送される場合は、[頻繁に原稿が重なって搬送される \(132 ページ\)](#)を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([199 ページ](#))に連絡してください。

給紙モードスイッチ切り替え検出

読み取り中に給紙モードスイッチを切り替えると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	給紙モードスイッチ切り替え検出

給紙モードスイッチの位置を確認してください。

ADF 内部に原稿が残っている場合は、[原稿づまりが発生したときは \(112 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除いてください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

センサーよこれ

センサーがよこれている場合や、スキャナー内部に原稿がはさまった状態で電源を投入して読み取った場合は、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	センサーよこれ

センサーがよこれている場合は、次の対処をしてください。

- [スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布\) \(95 ページ\)](#)を参照して原稿検知センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

スキャナー内部に原稿がはさまった状態で電源を投入して読み取った場合は、ADF を開けて原稿を取り除いてから、ADF を閉じてください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

ADF オープン

読み取り中に ADF を開けると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	ADF オープン

原稿を取り除いて、ADF を閉じてください。

ADF が確実に閉じていることを確認してください。

ADF の開閉については、[ADF の開閉 \(39 ページ\)](#)を参照してください。

光量異常 (ADF)

ADF で光量異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 2 回	光量異常 (ADF 表面)

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 3 回	光量異常 (ADF 裏面)

次の対処をしてください。

- スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (布) (95 ページ) を参照して、ガラスを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、お問い合わせの前に (145 ページ) の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ) に連絡してください。

センサー異常

センサーに異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 5 回	センサー異常

次の対処をしてください。

- スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (布) (95 ページ) を参照して超音波センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、お問い合わせの前に (145 ページ) の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ) に連絡してください。

メモリー異常/LSI 異常

メモリー/LSI に異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 6 回	メモリー異常(表)
	メモリー異常(裏)
	LSI 異常(表)
	LSI 異常(裏)

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、お問い合わせの前に (145 ページ) の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ) に連絡してください。

画像メモリー RW エラー

画像メモリーからデータを読み出したり、画像メモリーにデータを書き込んだりするときにエラーが発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）6 回	画像メモリー RW エラー(表)
	画像メモリー RW エラー(裏)

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

RAM 異常

RAM 異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）6 回	RAM 異常

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

ランプ系異常

ランプ回路異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）7 回	ランプ系異常(表)
	ランプ系異常(裏)

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

スキャナー内部異常

スキャナー内部異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）8 回	スキャナー内部異常

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

スキャナー内部通信異常

スキャナー内部で通信異常が発生すると、Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

Power/Check ランプ（LED）	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）9 回	—

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ（LED）の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に（145 ページ）](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（199 ページ）](#)に連絡してください。

モーター異常

モーター異常が発生すると、Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

Power/Check ランプ（LED）	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）10 回	モーター異常

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ（LED）の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に（145 ページ）](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（199 ページ）](#)に連絡してください。

EEPROM 異常

EEPROM 異常が発生すると、Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

Power/Check ランプ（LED）	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）11 回	EEPROM 異常

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ（LED）の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に（145 ページ）](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（199 ページ）](#)に連絡してください。

原稿の搬送を中止しました

原稿の搬送を中止すると、Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

Power/Check ランプ（LED）	Error Recovery Guide 表示
点灯（緑）	—

読み取り中にスキャナーの Scan/Stop ボタンを押すと、原稿の搬送を中止します。

スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿を取り除いてください。

ほかで使用中

スキャナーがすでに使用されています。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
—	ほかで使用中

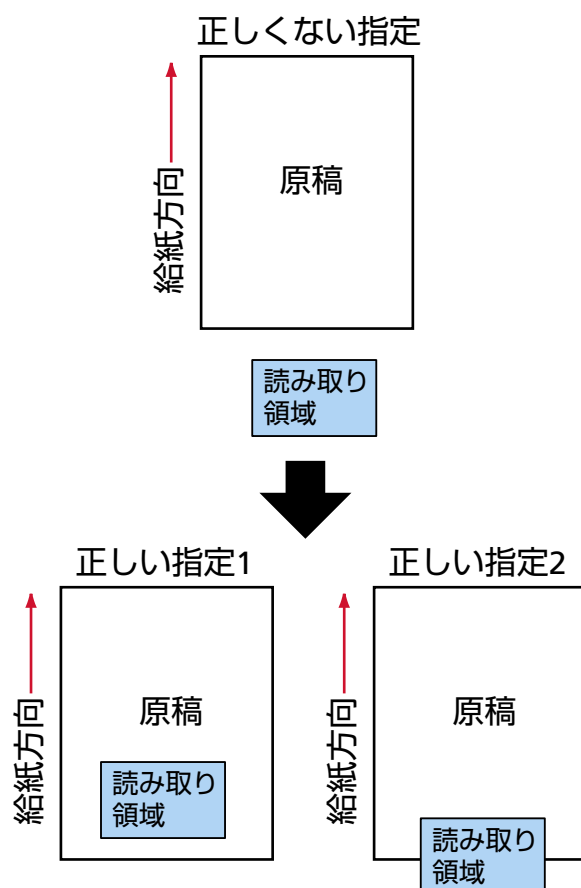
- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないかを確認してください。
- スキャナーの接続方法が正しいかを確認してください。
- スキャナーがコンピューターの常駐アプリケーションで使用されていないかを確認してください。
例えば、次のアプリケーションがスキャナーを占有している場合があります。
 - PaperStream Capture
 - PaperStream ClickScan

読み取り領域指定異常

ADF で読み取りを開始したときに、指定された領域を読み取る前に、原稿の後端が検出されると原稿づまりが発生します。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
—	読み取り領域指定異常

例：



読み取った原稿が指定された原稿サイズよりも短かったため、読み取り領域が原稿の外部になってしまった可能性があります。

この場合、次のどちらかの対処をして、再度読み取りを開始してください。

- 指定した原稿サイズの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする。
- 読み取り領域が原稿の範囲内になるように、読み取り条件を設定し直す。

重要

読み取り領域の指定方法は、スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションによって異なります。詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

原稿がありません。原稿をセットしてください。

原稿がセットされていません。

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットしてください。

トラブルと対処方法

スキャナーの使用中に発生するトラブル事例とその対処方法について説明します。

修理を依頼される前に、トラブル事例とその対処方法を確認し対処をしてください。

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

● スキャナーの電源

- [電源が投入されない \(124 ページ\)](#)

● スキャナーの接続

- [スキャナーとコンピューターを USB で接続できない \(125 ページ\)](#)

● 読み取り操作

- [読み取りが開始されない \(126 ページ\)](#)
- [原稿の読み取りに時間がかかる \(127 ページ\)](#)
- [頻繁に原稿が重なって搬送される \(132 ページ\)](#)
- [原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる \(135 ページ\)](#)
- [原稿づまり/ピックアップミスが頻繁に起こる \(137 ページ\)](#)

● 読み取り結果

- [絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する \(128 ページ\)](#)
- [文字や線の読み取り結果が良くない \(129 ページ\)](#)
- [画像がゆがむまたは鮮明ではない \(130 ページ\)](#)
- [画像に縦線（縦筋）が出る \(131 ページ\)](#)
- [画像が間延びする \(139 ページ\)](#)
- [画像の先端または後端に影がある \(140 ページ\)](#)
- [原稿に黒い跡が残る \(141 ページ\)](#)

● キャリアシート

- [キャリアシートがうまく送られない/つまる \(142 ページ\)](#)
- [キャリアシートで読み取ると画像が欠ける \(144 ページ\)](#)

● パスワード

- [工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる \(144 ページ\)](#)

電源が投入されない

ここをお調べください

- [電源ケーブルが正しく接続されていますか？ \(124 ページ\)](#)
- [スキャナーの電源ボタンを押しましたか？ \(124 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した
 販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター [\(199 ページ\)](#)に
 連絡してください。

- **電源ケーブルが正しく接続されていますか？**

対処方法

電源ケーブルを正しく接続してください。

→ [スキャナーのセットアップを始める \(23 ページ\)](#)

- **スキャナーの電源ボタンを押しましたか？**

対処方法

スキャナーの電源ボタンを押してください。

→ [電源の投入 \(35 ページ\)](#)

スキャナーとコンピューターを USB で接続できない

ここをお調べください

- [USB ケーブルは正しく接続されていますか？ \(125 ページ\)](#)
- [USB ケーブルのコネクターが壊れていますか？ \(125 ページ\)](#)
- [スキャナードライバーは最新になっていますか？ \(125 ページ\)](#)
- [スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？ \(125 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に [\(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター [\(199 ページ\)](#)に連絡してください。

- **USB ケーブルは正しく接続されていますか？**

対処方法

添付の USB ケーブルを使用してください。

スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

➔ [スキャナーのセットアップを始める \(23 ページ\)](#)

- **USB ケーブルのコネクターが壊れていますか？**

対処方法

新しい USB ケーブルを使用して、正しく接続してください。

- **スキャナードライバーは最新になっていますか？**

対処方法

最新のスキャナードライバーにアップデートしてください。

- **スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？**

対処方法

スキャナーの USB の設定に「自動」を設定している場合、一部のコンピューターでスキャナーが接続できないことがあります。

Software Operation Panel で、「USB」を「USB 2.0」に変更してください。

読み取りが開始されない

ここをお調べください

- [スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定しましたか？ \(126 ページ\)](#)
- [ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？ \(126 ページ\)](#)
- [ADF は完全に閉じていますか？ \(126 ページ\)](#)
- [スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？ \(126 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に [\(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター [\(199 ページ\)](#)に連絡してください。

- **スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定しましたか？**

対処方法

スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定してください。

→ [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(46 ページ\)](#)

- **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？**

対処方法

原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットし直してください。

- **ADF は完全に閉じていますか？**

対処方法

ADF をしっかり閉じてください。

ADF に原稿がはさまっている場合は、原稿を取り除き、ADF を閉じてください。

- **スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？**

対処方法

USB ケーブルを正しく接続してください。

原稿の読み取りに時間がかかる

ここをお調べください

- [USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？ \(127 ページ\)](#)
- [コンピューター起動直後やサインイン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？ \(127 ページ\)](#)
- [各ローラーはきれいですか？ \(127 ページ\)](#)
- [コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？ \(127 ページ\)](#)
- [手差し・単送モードで原稿を読み取っていますか？ \(127 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に [\(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター [\(199 ページ\)](#)に連絡してください。

- **USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？**

対処方法

USB ケーブルを USB3.2 Gen 1x1 (USB3.0) / USB2.0 の USB ポートに接続してください。

- **コンピューター起動直後やサインイン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？**

対処方法

コンピューターの起動直後やサインイン直後は、しばらく待ってから原稿の読み取りを開始してください。

- **各ローラーはきれいですか？**

対処方法

各ローラーを清掃してください。

➔ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- **コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？**

対処方法

[スキャナー基本仕様 \(183 ページ\)](#)に記載している測定環境の CPU やメモリー容量の条件を満たしていない場合は、条件を満たしているコンピューターでのご利用をお試しください。

- **手差し・単送モードで原稿を読み取っていますか？**

手差し・単送モードで原稿を読み取ると、読み取り速度が遅くなります。

➔ [2 つ折りの原稿を読み取りたいとき \(79 ページ\)](#)

➔ [封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき \(81 ページ\)](#)

絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する

ここをお調べください

- [読み取り設定で、二値白黒を設定して読み取っていますか？ \(128 ページ\)](#)
- [読み取り設定で、読み取り解像度を低く設定して読み取っていますか？ \(128 ページ\)](#)
- [ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ \(128 ページ\)](#)

また、コンピューターに接続して読み取る場合は、スキャナードライバーのヘルプの「画像の出力」を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

- **読み取り設定で、二値白黒を設定して読み取っていますか？**

対処方法

絵や写真を二値白黒で読み取ると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。
次の読み取り設定で、カラーまたはグレースケールを設定してください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

- **読み取り設定で、読み取り解像度を低く設定して読み取っていますか？**

対処方法

網点印刷された原稿を読み取った場合、画像に周期的なノイズ（モアレ）が発生することがあります。
次の読み取り設定で、解像度の設定を高くしてください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

文字や線の読み取り結果が良くない

ここをお調べください

- [ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ \(129 ページ\)](#)
- [解像度は適切ですか？ \(129 ページ\)](#)
- [読み取り設定で、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？ \(129 ページ\)](#)
- [原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ \(129 ページ\)](#)

また、コンピューターに接続して読み取る場合は、スキャナードライバーのヘルプの「画像の出力」を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に \(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)に連絡してください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- **解像度は適切ですか？**

対処方法

次の読み取り設定で、読み取り解像度の設定を高くしてください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

- **読み取り設定で、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？**

対処方法

次の読み取り設定で、二値白黒を設定してください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

グレースケールまたはカラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。

- **原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？**

対処方法

原稿に付着している異物を取り除いてください。

原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスに異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

画像がゆがむまたは鮮明ではない

ここをお調べください

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (130 ページ)
- ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？ (130 ページ)
- 不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？ (130 ページ)
- スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？ (130 ページ)
- 原稿にしわ/カールはありますか？ (130 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (145 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ)に連絡してください。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？

対処方法

ADF の上部を押さえつけたり、上に重いものを置いたりしないでください。

- 不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？

対処方法

安定した場所、振動がない場所で読み取ってください。

- スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？

対処方法

スキャナーを水平で平らな面に置いてください。

または、ゴム足を取り付けてください。

- 原稿にしわ/カールはありますか？

対処方法

原稿のしわ/カールをのばしてください。

画像に縦線（縦筋）が出る

ここをお調べください

- [ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ \(131 ページ\)](#)
- [解像度を低く設定すると、縦線は消えますか？ \(131 ページ\)](#)
- [原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ \(131 ページ\)](#)
- [読み取り設定で、縦筋軽減の設定を有効にして読み取っていますか？ \(131 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に [\(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター [\(199 ページ\)](#)に連絡してください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- **解像度を低く設定すると、縦線は消えますか？**

対処方法

解像度を低く設定して、原稿を読み取ってください。

- **原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？**

対処方法

原稿に付着している異物を取り除いてください。

原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスに異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

- **読み取り設定で、縦筋軽減の設定を有効にして読み取っていますか？**

対処方法

次の読み取り設定で、縦筋軽減の設定を有効にしてください。

- スキャナードライバー

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ただし、縦筋軽減の設定を有効にした場合、縦筋の太さや場所によっては縦筋が軽減できず、文字や罫線に色にじみが発生する可能性があります。

頻繁に原稿が重なって搬送される

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (132 ページ)
 - キャリアシートを使用していますか？ (132 ページ)
 - 原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？ (133 ページ)
 - プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？ (133 ページ)
 - 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (133 ページ)
 - 原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？ (133 ページ)
 - 原稿の束の高さは 8mm 未満ですか？ (133 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (133 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (133 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (134 ページ)
 - 標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？ (134 ページ)
- 症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (145 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ)に連絡してください。

● 原稿の状態は条件を満たしていますか？

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)

● キャリアシートを使用していますか？

対処方法

次の読み取り設定で、キャリアシートの設定を有効にしてください。

● スキャナードライバー

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

キャリアシートを使用した読み取りについては、次を参照してください。

- [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(83 ページ\)](#)
- [写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき \(85 ページ\)](#)

原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、キャリアシートが傾いて搬送されると、原稿の重なりとして検出されます。

キャリアシートをセットするときは、サイドガイドをキャリアシートの幅にしっかり合わせてください。

- 原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？

対処方法

原稿によっては、原稿の重なりが誤って検出される場合があります。

→ [原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件 \(62 ページ\)](#)

- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？

対処方法

次のどちらかの設定で読み取ってください。

- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？

対処方法

原稿をセットする前に、原稿をさばいてください。

→ [原稿の準備 \(51 ページ\)](#)

- 原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？

対処方法

3、4 回さばいて、原稿にたまっている静電気の電荷を取り除いてください。

→ [原稿の準備 \(51 ページ\)](#)

- 原稿の束の高さは 8mm 未満ですか？

対処方法

原稿は 8mm の高さまでセットできます。原稿の束の高さが 8mm 未満になるように、原稿の分量を減らしてください。

- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

→ [ブレーキローラの交換 \(104 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(107 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(104 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(107 ページ\)](#)

- **標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？**

対処方法

標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用しているときは、Software Operation Panel で、「高地モード」を有効にしてください。

ヒント

標高 2,000m 未満の平地で、「高地モード」を有効に設定してスキャナーを使用すると、原稿の重なりが検出されないことがあります。

標高 2,000m 未満の平地でスキャナーを使用するときは、「高地モード」を無効にしてください。

原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (135 ページ)
- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (135 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラは正しく取り付けられていますか？ (135 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラはきれいですか？ (135 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？ (135 ページ)
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？ (136 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (145 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ)に連絡してください。

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)

- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？

対処方法

原稿をセットする前に、原稿をさばいてください。

→ [原稿の準備 \(51 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックアップローラは正しく取り付けられていますか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックアップローラを正しく取り付けてください。

→ [ブレーキローラの交換 \(104 ページ\)](#)

→ [ピックアップローラの交換 \(107 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックアップローラはきれいですか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックアップローラを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックアップローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(104 ページ\)](#)

→ [ピックアップローラの交換 \(107 ページ\)](#)

- **プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？**

対処方法

次のどちらかの設定で読み取ってください。

- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (137 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (137 ページ)
- ADF 内部に原稿が残っていますか？ (137 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (137 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (137 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (138 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (145 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ)に連絡してください。

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)

- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？

対処方法

ADF を清掃してください。

または、ADF から異物を取り除いてください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- ADF 内部に原稿が残っていますか？

対処方法

ADF から原稿を取り除いてください。

→ [原稿づまりが発生したときは \(112 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

→ [ブレーキローラの交換 \(104 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(107 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

● **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(104 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(107 ページ\)](#)

画像が間延びする

ここをお調べください

- [各ローラーはきれいですか？ \(139 ページ\)](#)
- [原稿の状態は条件を満たしていますか？ \(139 ページ\)](#)
- [ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？ \(139 ページ\)](#)
- [読み取り倍率を調整しましたか？ \(139 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に [\(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター [\(199 ページ\)](#)に連絡してください。

● 各ローラーはきれいですか？

対処方法

各ローラーを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

● 原稿の状態は条件を満たしていますか？

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)

● ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックアップローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(104 ページ\)](#)

→ [ピックアップローラの交換 \(107 ページ\)](#)

● 読み取り倍率を調整しましたか？

対処方法

Software Operation Panel で、搬送方向の読み取り倍率を調整してください。

→ [読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整） \(169 ページ\)](#)

画像の先端または後端に影がある

ここをお調べください

- オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？（140 ページ）
- 縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？（140 ページ）

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に（145 ページ）の各項目を確認して、本製品を購入した販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（199 ページ）に連絡してください。

- オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？

対処方法

Software Operation Panel で、副走査方向のオフセットを調整してください。

→ [読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整）（169 ページ）](#)

- 縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？

対処方法

次のどれかの方法で、原稿端にできる影を塗りつぶしてください。

- Software Operation Panel
 - [画像の端にできる影や筋の消去（縁消し\(ADF\)）（171 ページ）](#)
- スキャナードライバー
 - 詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
 - Software Operation Panel の設定で縁消しされた画像に対して、縁消し処理が行われます。

原稿に黒い跡が残る

ここをお調べください

- 鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？ (141 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (141 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (145 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ)に連絡してください。

- 鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？

対処方法

鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、こまめに各ローラーを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

キャリアシートがうまく送られない/つまる

ここをお調べください

- キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？ (142 ページ)
- キャリアシートはきれいですか？ (142 ページ)
- ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？ (142 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (143 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (143 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (143 ページ)
- 厚みのある原稿をキャリアシートにはさんでいますか？ (143 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (145 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ)に連絡してください。

- **キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？**

対処方法

PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続搬送したあとに、キャリアシートを読み取ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。

- **キャリアシートはきれいですか？**

対処方法

次のどちらかを行って、対処してください。

- キャリアシートを清掃してください。
 - ➔ [キャリアシートの清掃 \(101 ページ\)](#)
- 新しいキャリアシートに交換してください。
キャリアシートの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(200 ページ\)](#)にお問い合わせください。

- **ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？**

対処方法

ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始してください。

- ➔ [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(83 ページ\)](#)
- ➔ [写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき \(85 ページ\)](#)

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(165 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックアップローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(104 ページ\)](#)

→ [ピックアップローラの交換 \(107 ページ\)](#)

- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？

対処方法

ADF を清掃してください。

または、ADF から異物を取り除いてください。

→ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)

- 厚みのある原稿をキャリアシートにはさんでいますか？

対処方法

厚みのある原稿をキャリアシートにはさんで読み取れません。

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [A3 キャリアシートを使用する場合の条件 \(69 ページ\)](#)

→ [写真キャリアシートを使用する場合の条件 \(72 ページ\)](#)

キャリアシートで読み取ると画像が欠ける

ここをお調べください

- [キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？（144 ページ）](#)
- [原稿の折り目が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？（144 ページ）](#)

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に（145 ページ）](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（199 ページ）](#)に連絡してください。

- **キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？**

対処方法

キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を 1 枚ずつはさんで読み取ってください。

- **原稿の折り目が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？**

対処方法

2 つ折りにした原稿の折り曲げ部分が A3 キャリアシートからはみ出ていると、原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。

A3 キャリアシートに原稿をはさむときは、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてはさんでください。

工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる

ここをお調べください

- [入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？（144 ページ）](#)

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に（145 ページ）](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（199 ページ）](#)に連絡してください。

- **入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？**

対処方法

工場出荷設定の管理者パスワードは、「password」です。

お問い合わせの前に

当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ)）に連絡する前に、行うことや確認する項目について説明します。

お問い合わせの前に行うこと

スキャナーの使用中になんらかのエラーやトラブルが発生したときは、お問い合わせの前に、次の対処をしてください。

- 電源不足がないか確認してください。延長ケーブルは使用しないでください。
- 添付の AC ケーブルおよび AC アダプターを使用してください。
- [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)を参照して、スキャナー内部を清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に確認すること \(145 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (199 ページ) に連絡してください。

お問い合わせの前に確認すること

● 概要

調べる項目	調査結果
機種名	例：SP-2240 → 装置ラベルの確認 (147 ページ)
シリアル番号	例：XXXX000001 → 装置ラベルの確認 (147 ページ)
製造年月	例：20XX-01（20XX 年 01 月） → 装置ラベルの確認 (147 ページ)
購入年月日	
症状	
発生頻度	例：常時/間欠
保証書の有無	
使用しているオプション品名	例：A3 キャリアシート → スキャナーのオプション (187 ページ)

- エラーの状況

コンピューター接続時の問題

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェイスの種類	例：USB インターフェイス
インターフェイスコントローラーの種類	

搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	

画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナードライバーの種類と版数	
インターフェイスコントローラーの種類	
オペレーティングシステム（Windows）の種類	
アプリケーションの種類	例：PaperStream ClickScan
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、二値白黒

そのほか

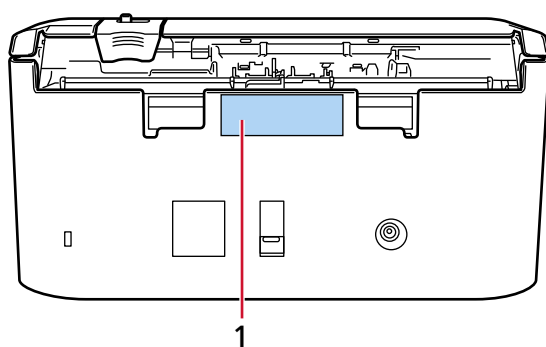
可能であれば、原稿の状態がわかる写真と出力結果を、E-Mail で送付してください。

装置ラベルの確認

ラベルの確認方法について説明します。
ラベルは、スキャナーの背面に貼付されています。

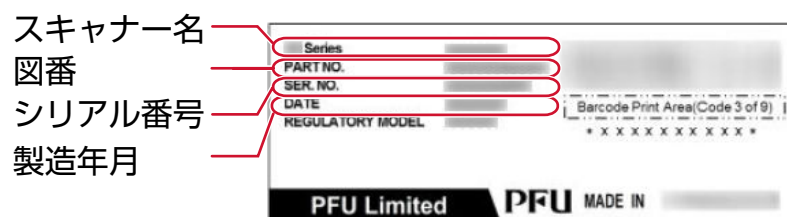
● 装置背面

ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、確認してください。



1 のラベル 例

スキャナーの情報を示しています。



スキャナー設定 (Software Operation Panel)

ここでは、Software Operation Panel を使ったスキャナーの設定方法について説明します。
Software Operation Panel を利用すると、スキャナーの動作や消耗品の管理などの設定ができます。

Software Operation Panel の起動

重要

- 読み取り中に、Software Operation Panel を起動しないでください。
- PaperStream ClickScan で読み取りする場合は、Software Operation Panel を終了してください。
- スキャナードライバの画面を表示しているときに、Software Operation Panel の設定を変更した場合、変更した設定がすぐに反映されない場合があります。その場合は、スキャナードライバの画面を開き直してください。
- PaperStream ClickScan を起動している場合、Software Operation Panel を起動すると、PaperStream ClickScan が無効になります。

1 コンピューターにスキャナーが接続されていることを確認します。

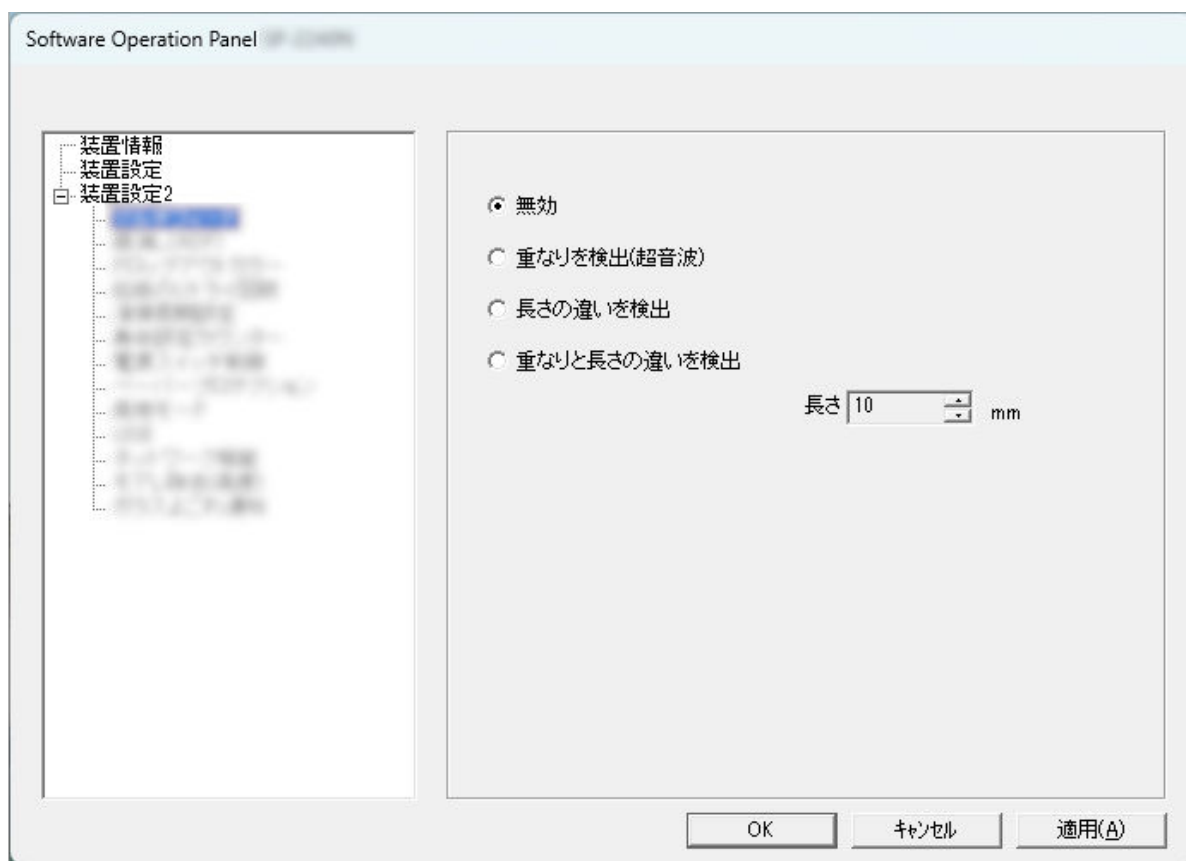
スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。

2 Software Operation Panel を起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー→「SP Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「SP Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

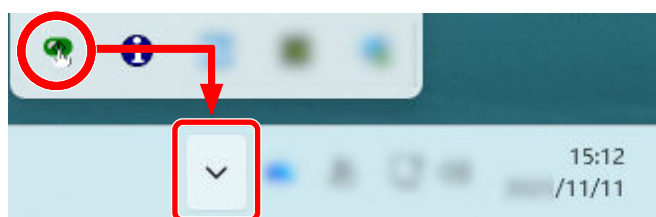
スキャナーの選択画面が表示された場合は、Software Operation Panel を起動したいスキャナーを選択して、[選択] ボタンをクリックします。

Software Operation Panel の画面が表示されます。



タスクバーの通知領域にある  をクリックして表示されるメニューに、Software Operation Panel のアイコンが表示されます。

通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させるには、アイコンを通知領域にドラッグ&ドロップしてください。



Software Operation Panel の閲覧モード設定

Software Operation Panel にパスワードを設定すると、スキャナーの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。

パスワードを設定していない状態では、スキャナーの設定が可能なモードとして起動します。

パスワードを設定して操作を制限すると、不用意な設定変更を防止できます。

「閲覧モード」の設定

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

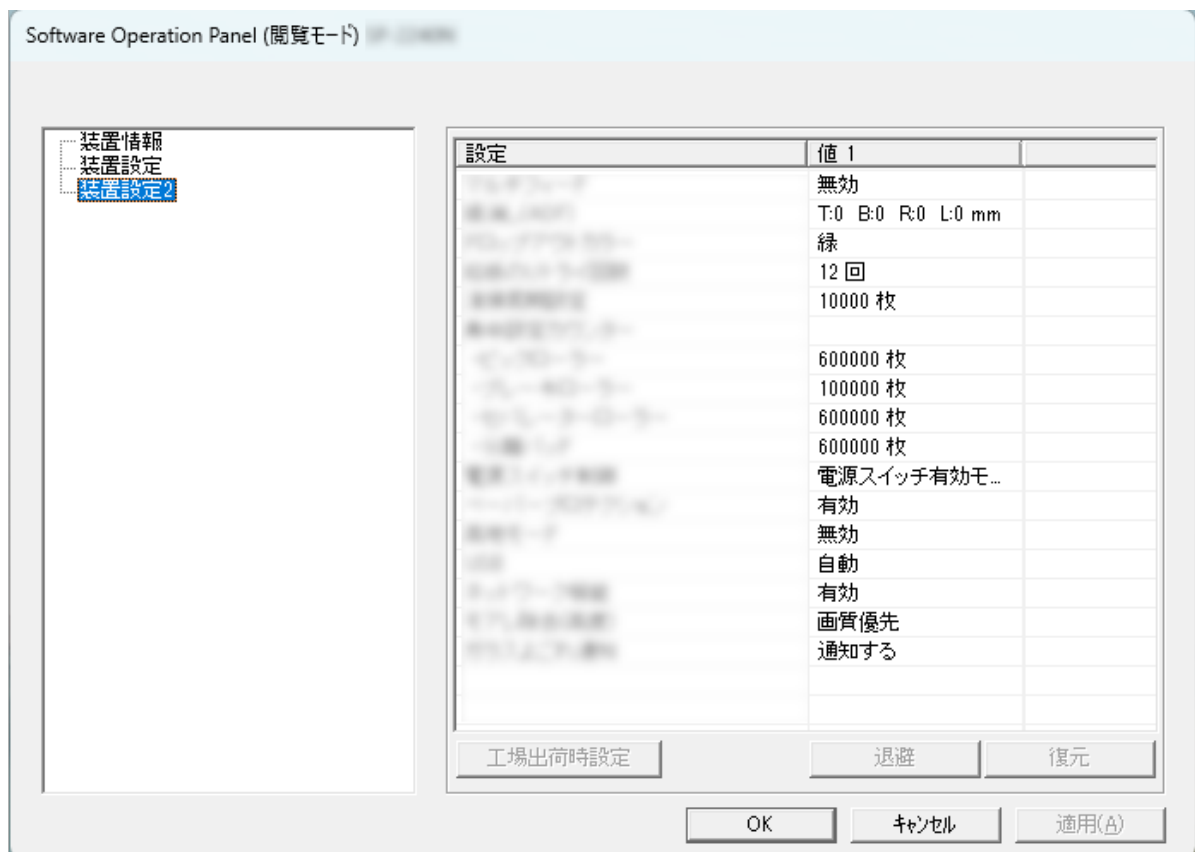
1 パスワードを設定します。

→ [パスワードの設定 \(155 ページ\)](#)

2 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。



Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



ヒント

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の横にチェックマークが表示されます。



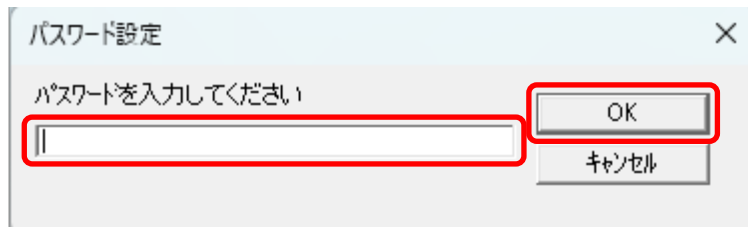
「閲覧モード」の設定解除

Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

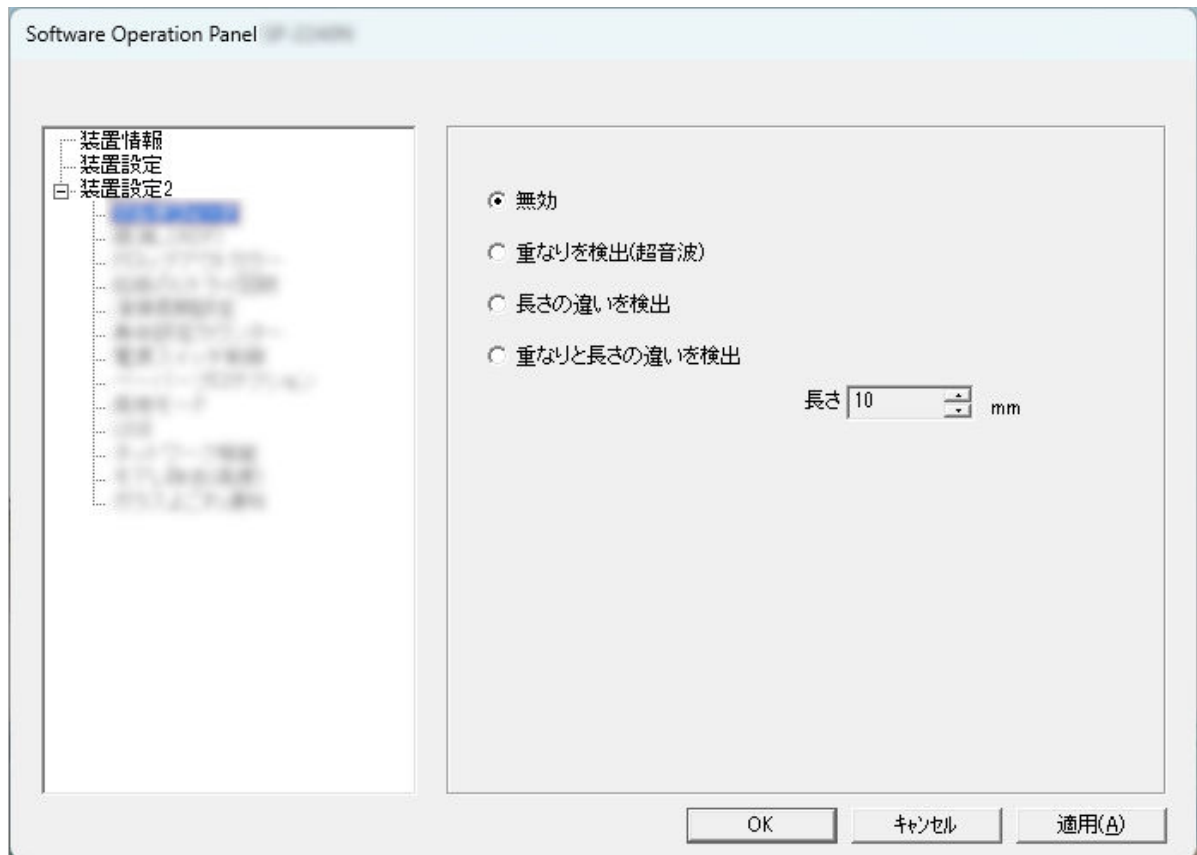
- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。



- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナー設定可能なモードで起動されます。



ヒント

Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の横のチェックマークが非表示となります。



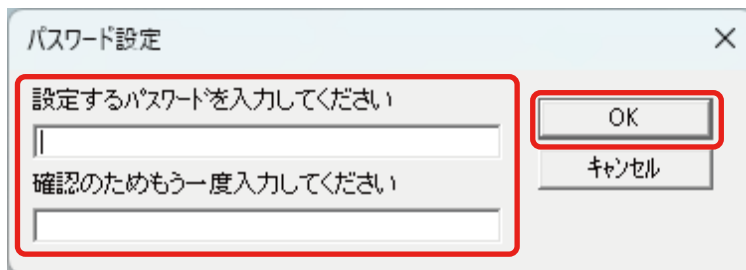
パスワードの設定

Software Operation Panel にパスワードを設定します。

- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



- 2 パスワードを 2 回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
- 半角英数字 (a～z、A～Z、0～9)

メッセージ画面が表示されます。

- 3 [OK] ボタンをクリックします。

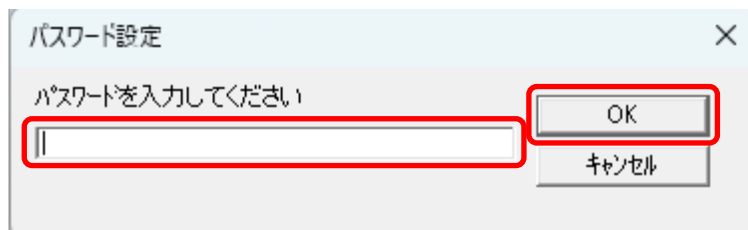
パスワードが設定されます。

パスワードの変更

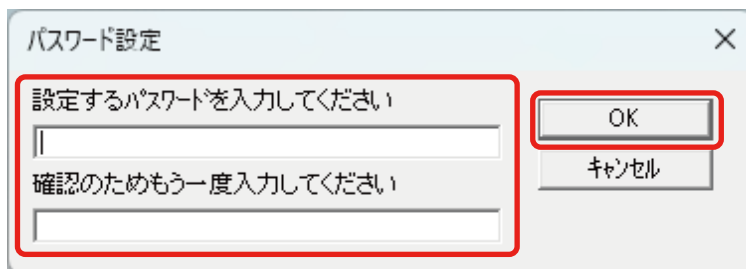
- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 3 変更後のパスワードを 2 回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
 - 半角英数字 (a～z、A～Z、0～9)
- メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。

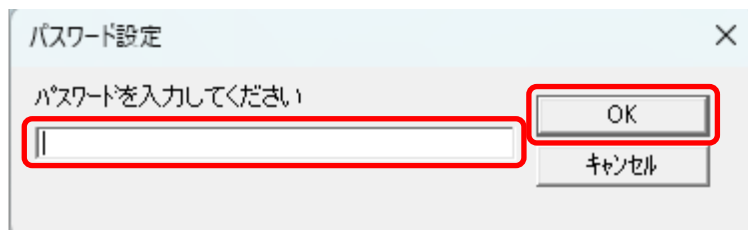
パスワードが変更されます。

パスワードの設定解除

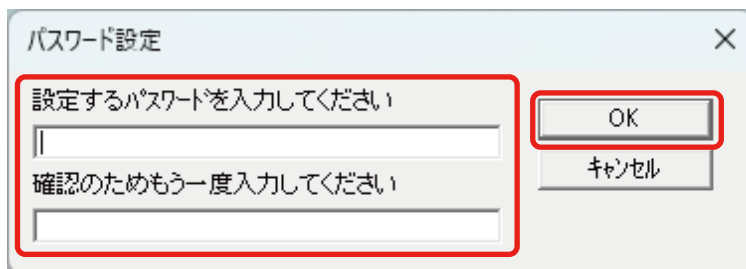
- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、[OK] ボタンをクリックします。



メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
パスワードの設定が解除されます。

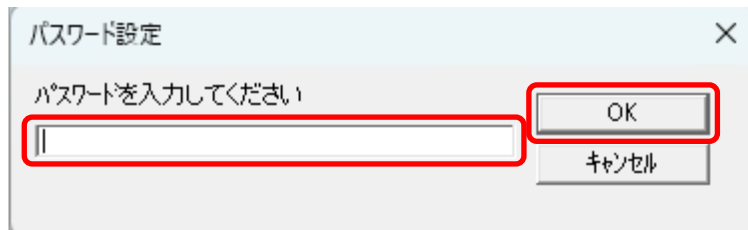
パスワードを紛失したときの対応

パスワードを紛失した場合は、パスワードを再設定します。

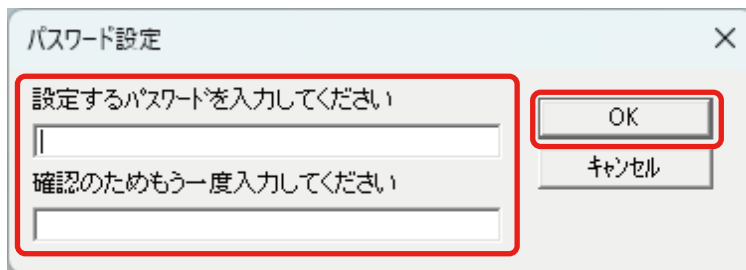
- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



- 2 工場出荷設定のパスワード「fi-scanner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 3 変更後のパスワードを 2 回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
- 半角英数字 (a～z、A～Z、0～9)

メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードが再設定されます。

設定項目

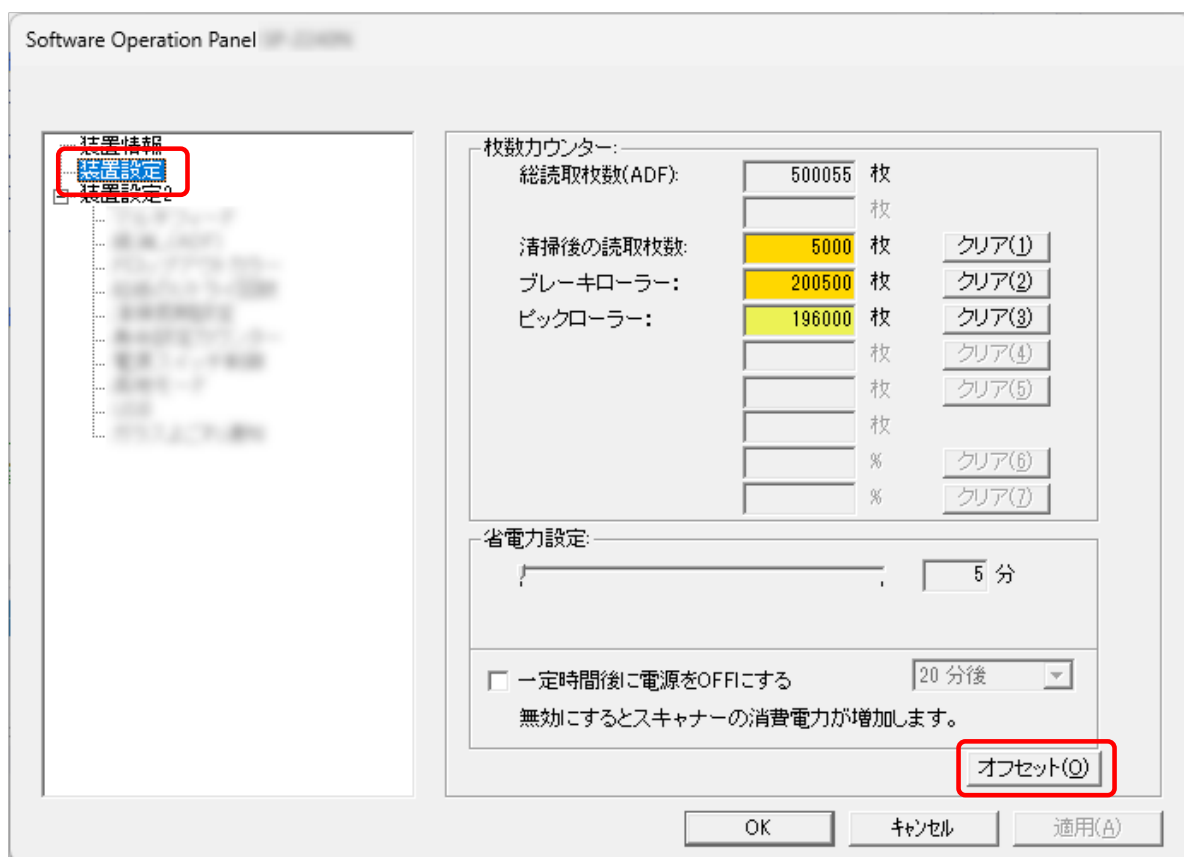
Software Operation Panel では、スキャナーに対して原稿を読み取るときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。

設定は、次のリストで行います。

- 装置設定
読み取り枚数や消耗品の管理の設定ができます。また、スキャナーの電源管理、原稿の読み取り開始位置の設定もできます。
- 装置設定 2
原稿を読み取るときの動作に関する設定ができます。

装置設定

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定」をクリックして、[オフセット] ボタンをクリックします。



「オフセット」画面が表示されます。

オフセット

オフセット設定

対象(U): ADF(表面) 主走査(M): 0 x0.5mm

副走査(S): 0 x0.5mm

倍率調整

対象(N): ADF

-3.1% 3.1% (-3.1% -- 3.1%)

0.0 %

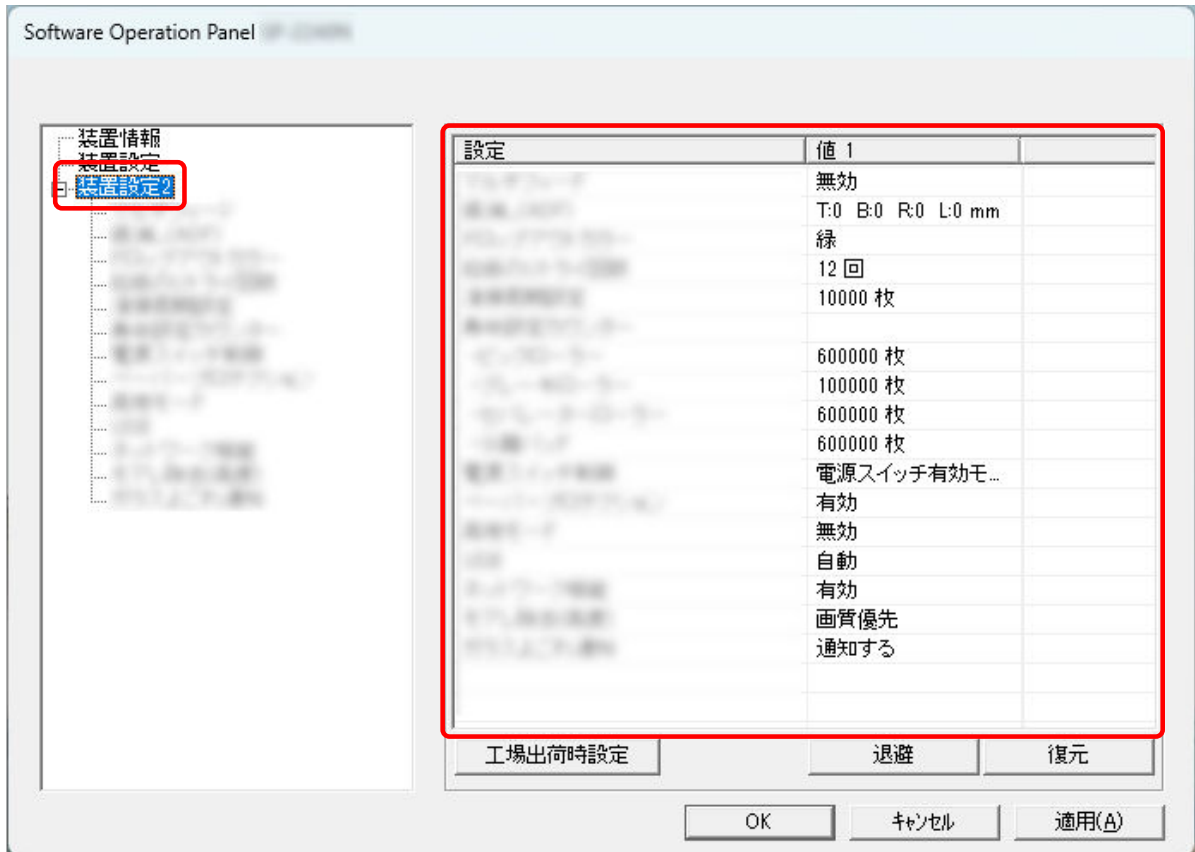
OK キャンセル

これらの画面で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
枚数カウンター (確認/クリア)	消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。 消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。
省電力設定	省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。
オフセット設定	原稿の読み取り開始位置を設定します。
倍率調整	搬送方向の読み取り倍率を設定します。

装置設定 2

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定 2」をクリックします。
「装置設定 2」で設定されている内容が一覧表示されます。



ヒント

- Software Operation Panel の設定内容を工場出荷の設定に戻せます。
工場出荷の設定に戻すには、[工場出荷時設定] ボタンをクリックしてください。メッセージ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。
変更した設定内容がクリアされるので、注意してください。
- Software Operation Panel の「装置設定 2」の設定内容をバックアップとして、退避できます。
「装置設定 2」の設定内容を退避するには、[退避] ボタンをクリックして表示される画面で、ファイル名を指定し、[保存] ボタンをクリックしてファイルに退避してください。
- Software Operation Panel の「装置設定 2」の設定内容を退避したファイルを使用して、同種のスキャナーに同じ設定内容を復元できます。
復元するには、[復元] ボタンをクリックして表示される画面で、退避したファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックして復元してください。メッセージ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。
なお、異なる機種のスキャナーには復元できません。

設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
マルチフィード	原稿を読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
縁消し(ADF)	画像の端に発生する黒い筋（原稿の影）を塗りつぶすための設定をします。
ドロップアウトカラー	二値白黒およびグレースケールの画像を出力する場合、赤・緑・青（光の三原色）のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
給紙のリトライ回数	原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。
清掃周期設定	スキャナー内部の清掃周期を設定します。
寿命設定カウンター	消耗品の交換周期を設定します。
電源スイッチ制御	スキャナーの電源の投入/切断に関する設定をします。
高地モード	標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。
USB	コンピュータで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。
ガラスよごれ通知	ガラスのよごれを通知する設定をします。

枚数カウンターに関する設定

枚数カウンターの確認

消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。

消耗品の交換時期、清掃が必要な時期が近づくと、カウンターの背景色が変わります。

各カウンターの背景色が変わるタイミングを次に示します。

- ブレーキローラ/ピックローラのカウンター

消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の[消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター）](#)（168 ページ）で設定した値の 95%以上になった場合にカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

- 清掃のカウンター

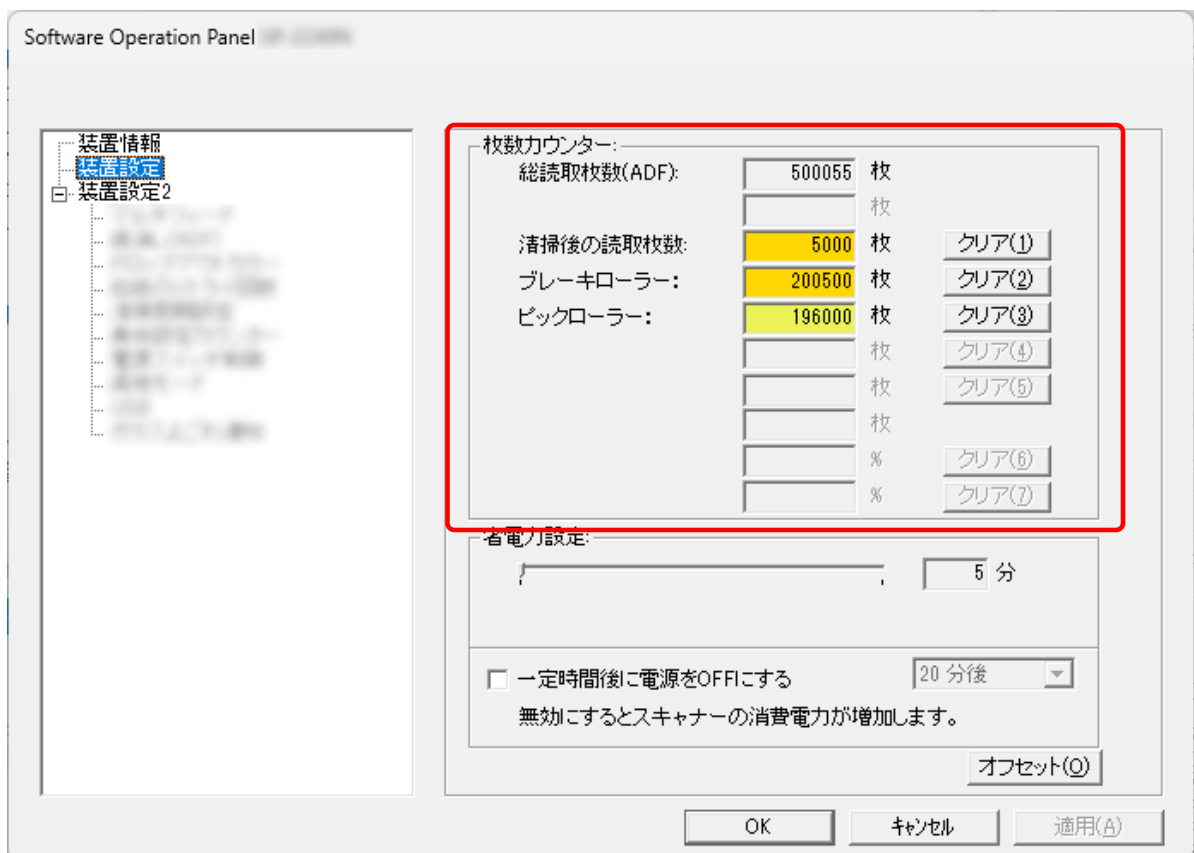
清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の[スキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）](#)（167 ページ）で設定した値以上になった場合にカウンターの背景色が黄色に変わります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動](#)（148 ページ）

- 2 画面のリストから「装置設定」をクリックします。

- 3 枚数カウンターを確認します。



総読取枚数(ADF)

ADF でこれまでに読み取った原稿の枚数（1 枚単位で表示）

清掃後の読取枚数

清掃してからこれまでに読み取った原稿の枚数（1 枚単位で表示）

ブレイキローラー

ブレイキローラーを交換してから読み取った原稿の概算枚数（500 枚単位で表示）

ピックアップローラー

ピックアップローラーを交換してから読み取った原稿の概算枚数（500 枚単位で表示）

各枚数カウンターの工場出荷設定は「0」です。

重要

電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合は、「総読取枚数」のカウンターが反映されないことがあります。

枚数カウンターのクリア

消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。

- 1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)

- 2 画面のリストから「装置設定」をクリックします。

- 3 消耗品を交換した場合は交換した消耗品の【クリア】ボタン、清掃した場合は「清掃後の読取枚数」の【クリア】ボタンをクリックします。

カウンター値が 0 になります。

- 4 【OK】ボタンをクリックします。

メッセージ画面が表示されます。

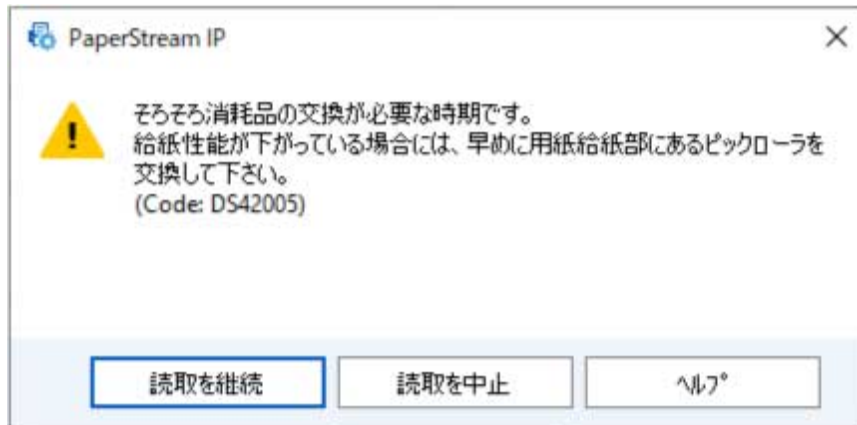
- 5 【OK】ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

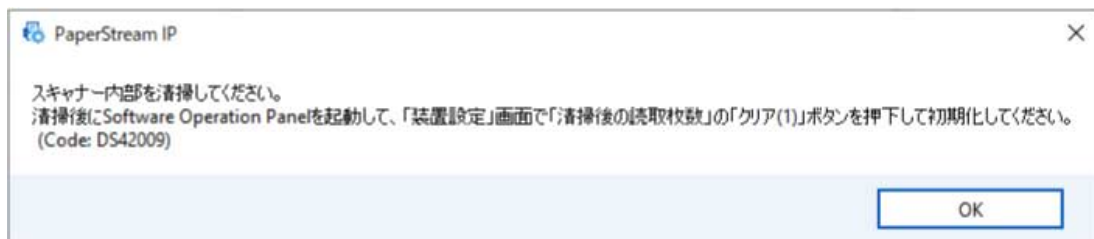
消耗品交換/清掃指示メッセージ

スキャナーを使用していると、次のようなメッセージがコンピューターに表示されることがあります。

例：消耗品交換メッセージ



例：清掃指示メッセージ



表示されるメッセージに従って、次の対処をしてください。

- 消耗品交換メッセージが表示された場合
表示内容を確認し消耗品を交換してください。
[読取を継続] ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。
できるだけ早くメッセージに表示された消耗品を交換してください。
読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止] ボタンをクリックします。
消耗品の交換方法は、次を参照してください。
 - ブレーキローラの交換 (104 ページ)
 - ピックローラの交換 (107 ページ)
- 清掃指示メッセージが表示された場合
表示内容を確認し清掃してください。
清掃方法は、[日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)を参照してください。
 - ➔ [日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)
 - ➔ [消耗品の交換 \(102 ページ\)](#)

スキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）

スキャナー内部の清掃周期を設定します。

清掃後の読み取り枚数が、ここで設定する枚数以上になった場合に「装置設定」の「清掃後の読取枚数」のカウンターの背景色が黄色に変わります。

また、[消耗品交換/清掃指示メッセージ \(166 ページ\)](#)の清掃指示メッセージを表示するようにできます。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「清掃周期設定」をクリックします。

3 清掃周期のカウント値を設定します。

1,000 枚から 255,000 枚まで、1,000 枚単位で設定できます。

工場出荷設定：3

4 清掃指示メッセージを表示するかどうかを設定します。

工場出荷設定は「清掃指示メッセージを表示する」チェックボックスのチェックが外れています。

消耗品の交換周期の設定 (寿命設定カウンター)

消耗品の交換周期を設定します。

消耗品交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の 95% 以上になった場合に「装置設定」の「ブレーキローラー」または「ピックアップローラー」のカウンターの背景色が薄い黄色、100% 以上になった場合に黄色に変わります。

また、[消耗品交換/清掃指示メッセージ \(166 ページ\)](#)の消耗品交換メッセージを表示するようにできます。

- 1 **Software Operation Panel を起動します。**
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 **画面のリストから「装置設定 2」→「寿命設定カウンター」をクリックします。**
- 3 **各ローラーの寿命設定カウンター値を設定します。**
10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。
工場出荷設定：20

読み取りに関する設定

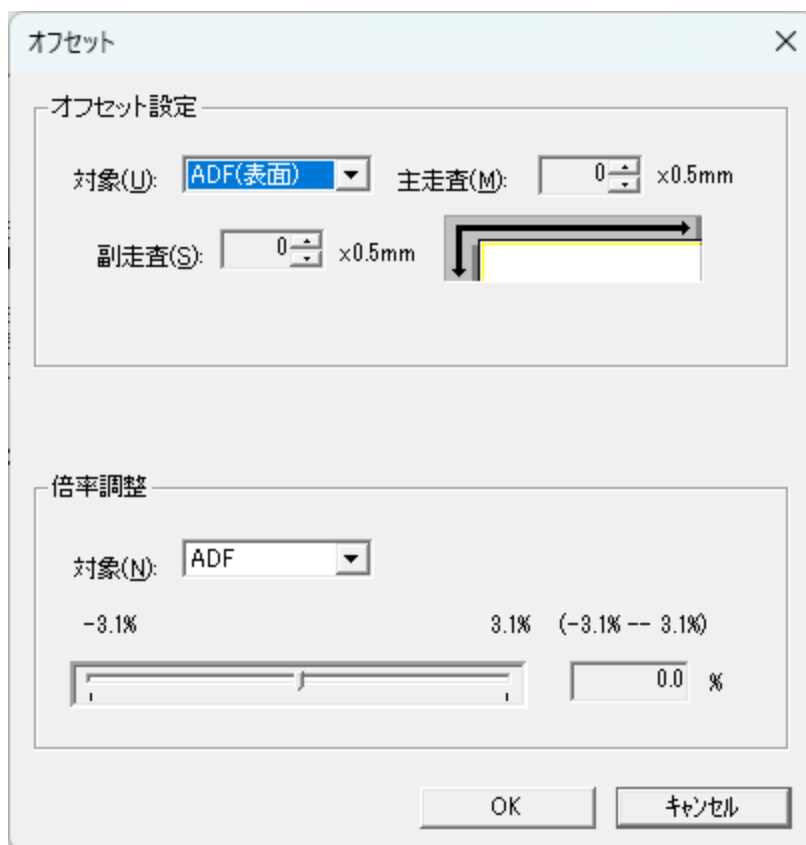
読み取り開始位置の調整 (オフセット設定/倍率調整)

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、オフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

重要

工場出荷のときに調整されているので、通常は設定する必要はありません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。
- 3 必要に応じてオフセット/副走査方向の倍率を調整します。



オフセット設定

対象

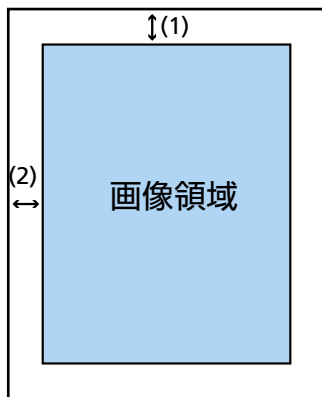
オフセット調整を行う対象を、「ADF(表面)」、「ADF(裏面)」から選択します。

主走査

主走査（幅）方向のオフセットを指定します。
 -2～+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
 工場出荷設定：0

副走査

副走査（長さ）方向の上端のオフセットを指定します。
 -2～+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
 工場出荷設定：0



(1)：主走査=-2～2mm
 (2)：副走査=-2～2mm
 (0.5mm 刻み)

倍率調整

対象

倍率調整を行う対象は「ADF」固定です。

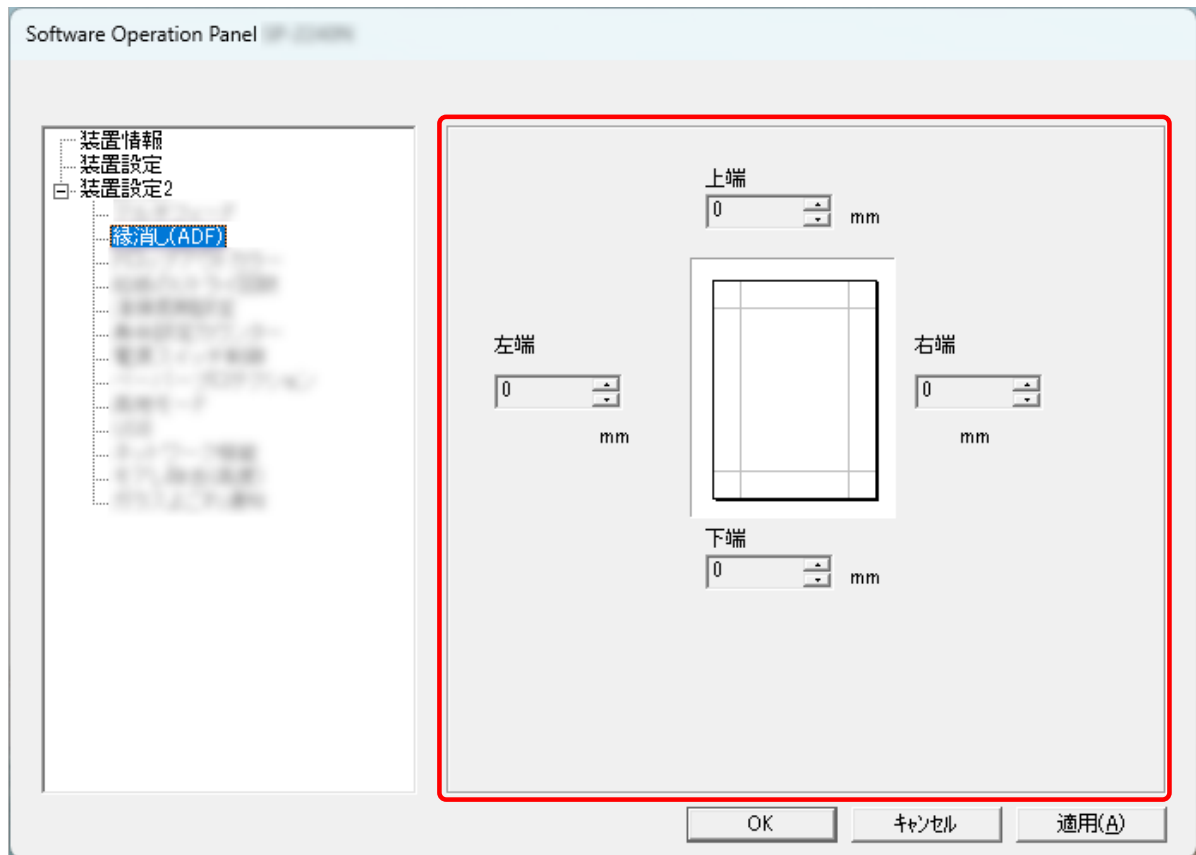
倍率調整

副走査（長さ）方向の倍率を指定します。
 -3.1～+3.1%の範囲で 0.1%刻みの指定ができます。
 工場出荷設定：0.0

画像の端にできる影や筋の消去（縁消し(ADF)）

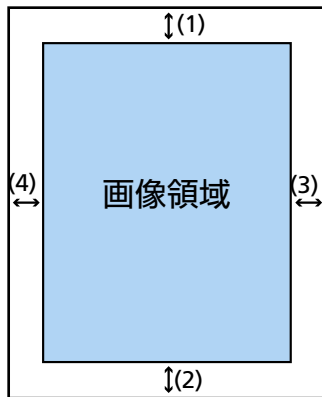
画像の端に発生する黒い筋（原稿の影）を塗りつぶすための設定をします。
読み取る原稿の状態によっては、画像の端に原稿の影が入って、黒い筋が発生する場合があります。
このような場合に、原稿の端を塗りつぶして、黒い筋を消去します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定 2」→「縁消し(ADF)」をクリックします。
- 3 上端/下端/右端/左端の塗りつぶす幅を設定します。



工場出荷設定：0

設定した範囲を、白色で塗りつぶします。



- (1) : 上端=0～15mm
 - (2) : 下端=-7～7mm
 - (3) : 右端=0～15mm
 - (4) : 左端=0～15mm
- (1mm 刻み)

重要

原稿の端に文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の文字が消えてしまうことがあるので注意してください。

ヒント

- 「縁消し(ADF)」の下端の設定に応じて、縁消し機能は次のように動作します。
 - 1 ～ 7mm
画像の下端から内側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶします。
 - -1 ～ -7mm
画像の下端から外側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶさずに出力します（スキャナードライバーで「後端検出」を指定しているときは、指定した範囲分多く画像を出力します）。
- 次の読み取り設定でも設定できます。Software Operation Panel の設定で縁消しされた画像に対して、縁消し処理が行われます。
 - スキャナードライバー
白色または黒色で塗りつぶせます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）

二値白黒およびグレースケールの画像を出力する場合、赤・緑・青（光の三原色）のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の場合、ドロップアウトカラーを緑に設定すると、原稿の黒い文字部分だけを読み取ります。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。

3 取り除きたい色を選択します。

赤、緑、青

選択した色を取り除きます。

工場出荷設定：緑

なし

どの色も取り除きません。

重要

取り除く部分が濃い色の場合は、取り除けないことがあります。

ヒント

次の読み取り設定で、赤、緑、青以外の色も設定できます。Software Operation Panel の設定よりも優先されます。

- スキャナードライバー

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

給紙のリトライ回数の設定（給紙のリトライ回数）

原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。
- 3 給紙のリトライ回数を選択します。
1～12 回の範囲で選択できます。
工場出荷設定：4 回

高地で読み取る機能の設定 (高地モード)

標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。

高地では気圧が低いため、超音波センサーによる原稿の重なりを検出する精度が低下する場合があります。

高地モードを「有効」に設定すると、原稿の重なりを検出する精度が向上します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)

- 2 画面のリストから「装置設定 2」→「高地モード」をクリックします。

- 3 「有効」を選択します。

工場出荷設定：無効

原稿の重なり（マルチフィード）検出に関する設定

原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。

原稿を読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。

原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。

原稿の重なりを検出すると、エラーメッセージを表示して、読み取りを中断します。ただし、搬送方向で、原稿の先端から約30mmの範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

重要

スキャナーの搬送モードが「手差し - 単送」の場合は、原稿の重なりを検出しません。

手差し・単送モードは、2つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。このため、原稿の重なりを検出する設定にしても、原稿の重なりは検出されません。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード」をクリックします。

3 検出方法を選択します。

無効

原稿の重なりを検出しません。

重なりを検出(超音波)

超音波センサーで原稿の重なりを検出します。

工場出荷設定です。

長さの違いを検出

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出します。

同じ長さの原稿を読み取る場合に設定してください。

重要

長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

重なりと長さの違いを検出

「重なりを検出(超音波)」と「長さの違いを検出」によって、原稿の重なりを検出します。

重要

長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

長さ

「長さの違いを検出」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。

重なりと判断する原稿の長さの差を設定します。

原稿の長さの差が設定した長さよりも長い場合に、長さの違いによる重なりを検出します。

選択された長さ以下は、誤差とみなされて、原稿の重なりを検出しません。

工場出荷設定：10

重要

- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出(超音波)」を選択してください。
- 原稿の上に付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある場合は、「重なりを検出(超音波)」を選択すると、紙片が貼ってある部分を重なりと検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を選択してください。

ヒント

スキャナードライバーでも設定できます。

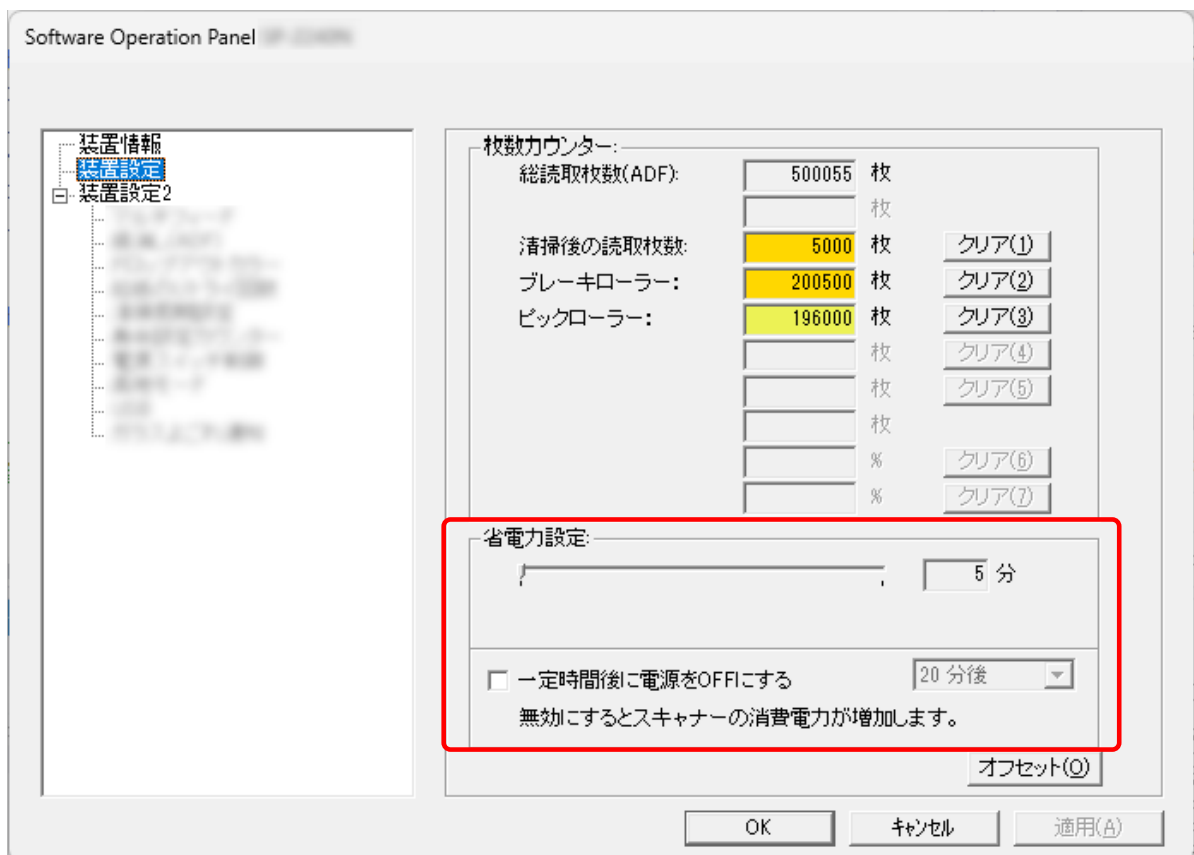
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

待機時間に関する設定

省電力モードの待機時間の設定 (省電力設定)

省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定」をクリックします。
- 3 省電力モードの待機時間を設定します。



省電力設定

省電力状態に移行するまでの時間を、スライダーを使って、5～115 分の範囲で設定（5 分刻みで設定）します。

工場出荷設定：10

「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックス

自動でスキャナーの電源を切断する場合にチェックを付けます。

チェックを付けると、スキャナーの電源を投入したままで一定時間何も操作しなかったときに、自動でスキャナーの電源が切断されます。

工場出荷設定はチェックが付いています。

自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間は、ドロップダウンリストから選択します。
工場出荷設定：20 分後

ヒント

「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外すと、スキャナーの電力消費量が増加します。

スキャナーとコンピューターの接続に関する設定

USB 動作の設定 (USB)

コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。
設定を変更するとスキャナーが再起動します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「USB」をクリックします。
- 3 USB の動作を設定します。

自動

接続環境に従って動作します。工場出荷設定です。

USB 2.0

USB 2.0 で動作します。

電源投入/切断およびスキャナーの消費電力に関する設定

電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）

スキャナーの電源の投入/切断に関する設定をします。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定 2」→「電源スイッチ制御」をクリックします。
- 3 スキャナーの電源の投入/切断を、ほかの操作に連動させるかどうかを設定します。

USB-電源連動

スキャナーの電源ボタンのほかに、次の操作と連動して、スキャナーの電源を投入または切断できるようにするかどうかを設定します。

- コンピューターの電源を投入または切断する
- USB ケーブルを抜き差しする

重要

コンピューターや USB ハブの種類によって、コンピューターの電源を切断しても USB バスに電源を供給し続けるものがあります。

そのような環境では、「USB-電源連動」が正しく機能しない場合があります。

スキャナーの保守に関する設定

ガラスのよごれを通知する設定（ガラスよごれ通知）

ガラスのよごれを通知する設定をします。

ガラスがよごれていると、画像に縦筋が発生することがあります。

ガラスのよごれを通知する設定にすると、画像に縦筋が発生する可能性がある場合に、次のタイミングでメッセージが通知されます。

- ADF を開閉したとき
- 読み取りを終了したとき
- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットしたとき
- 省電力モードから復帰したとき

スキャナーを接続しているコンピューターの Error Recovery Guide にメッセージが通知されます。縦筋の発生を防ぐために、メッセージを確認して、ガラスを清掃してください。

清掃方法は、[日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)を参照してください。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(148 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「ガラスよごれ通知」をクリックします。

3 ガラスのよごれを通知するかどうかを選択します。

「通知する」を選択すると、ガラスのよごれを通知します。

工場出荷設定：通知する

ヒント

ガラスのよごれを通知する機能は、必ずしもすべてのよごれを通知するものではありません。画像に縦線（縦筋）が発生する場合は、[画像に縦線（縦筋）が出る \(131 ページ\)](#)を参照して対処してください。

スキャナー基本仕様

項目		仕様
スキャナータイプ		ADF（自動給紙機構） 手差し（単送）可能
イメージセンサー		モノクロ CIS×2（表面×1、裏面×1）
光源		RGB LED 3 色光源切り替え（表面、裏面）
読み取り可能原稿サイズ（幅×長さ）	最小サイズ	50.8×50.8mm
	最大サイズ（*1）	210×297mm
原稿の厚さ		27～413g/m ² （23～355kg/連） A8 サイズは 128～209g/m ² （110～180kg/連） プラスチックカードは 1.4mm 以下（エンボス付き可（ISO7810 ID-1 タイプ準拠））（*2）
読み取り速度（A4、縦、300dpi）（*3）	バイナリー（二値白黒）	片面 40 枚/分、両面 80 面/分
	グレースケール	
	カラー	
原稿搭載容量（*4）		80 枚 厚さ 80g/m ² （69kg/連）の原稿 原稿の総厚みが 8mm 以下
光学解像度		600dpi
出力解像度	バイナリー（二値白黒）	50～600dpi（1dpi ごとに設定可能） 1200dpi はスキャナードライバーで設定可能
	グレースケール	
	カラー	
多値レベル		カラー：24bit グレースケール：8bit バイナリー（二値白黒）：1bit
読み取り階調		65,536 階調（16bit）
インターフェイス		USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1（*5） タイプ C

*1：最大サイズの詳細は、[原稿のサイズ \(55 ページ\)](#)を参照してください。

*2：プラスチックカードの詳細は、[プラスチックカードの注意 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

*3：読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

読み取り速度の測定環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	Windows 11
CPU	Intel® Core™ i3-13100 最大 4.5GHz
メモリー容量	8GB
ストレージ	SSD

*4：最大枚数は原稿の厚さによって変わります。

➔ [読み取りできる原稿 \(55 ページ\)](#)

*5：添付の USB ケーブルを使用してください。

USB ハブに接続する場合、必ずコンピューターの USB ポートに接続されている USB ハブに接続してください。

USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0 に対応している必要があります。

また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。

設置諸元

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）（*1）		292×163×150mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）（*2）		392×829×426mm
質量		3.3kg
入力電源	電圧範囲	AC100～240V ±10%
	相	単相
	周波数範囲	50/60Hz ±3Hz
消費電力	動作時	15W 以下
	省電力時	1.4W 以下
	電源切断時	0.2W 以下
操作環境	温度	動作時：5～35℃ 非使用時：-20～60℃
	湿度	動作時：15～80% 非使用時：8～95%
発熱量	動作時	15.48kcal/h 以下
	省電力時	1.20kcal/h 以下
	電源切断時	0.17kcal/h 以下
出荷時質量（*3）		4.7kg
サポート期間		5 年

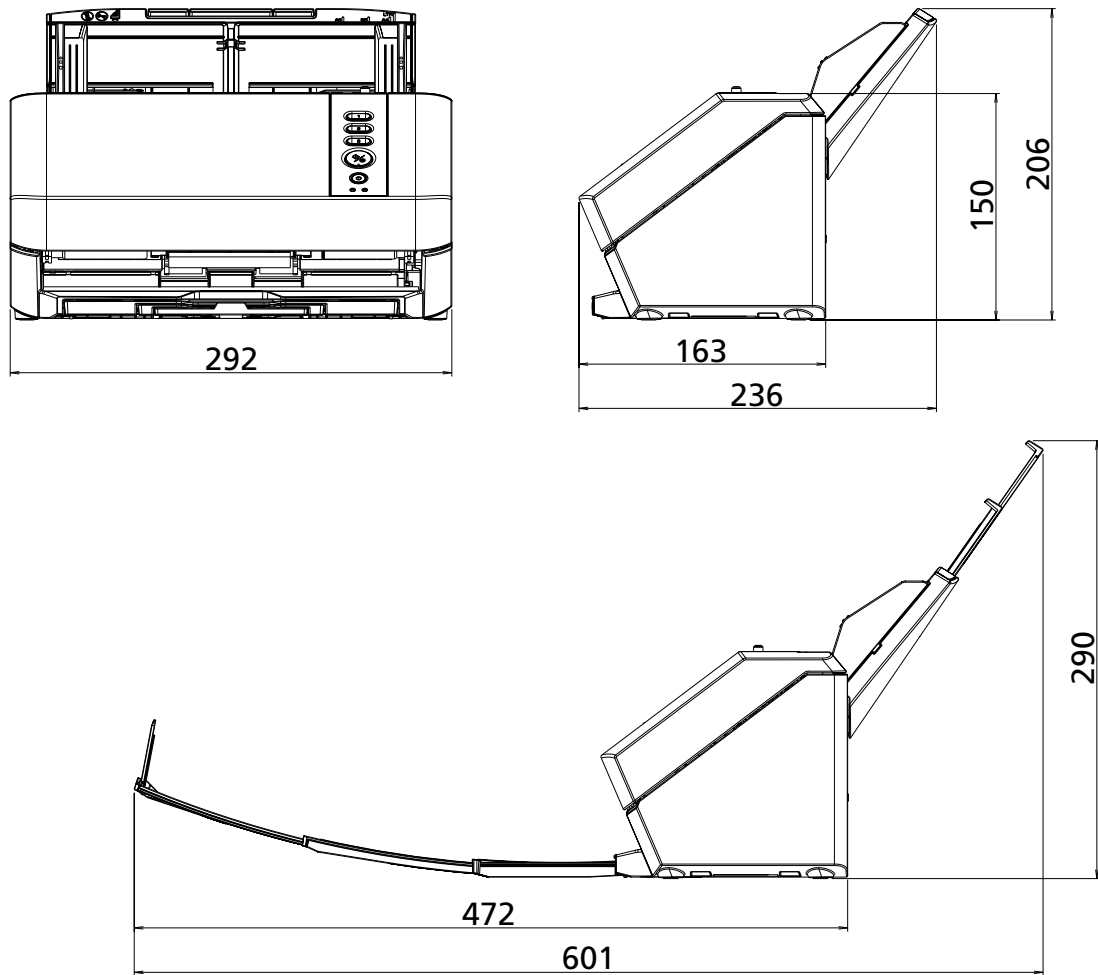
*1：奥行き、高さは、ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーを除きます。

*2：設置スペースの値は、A4 原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。

*3：梱包品を含めた質量です。

外形寸法

外形寸法は次のとおりです。



(単位：mm)

スキャナーのオプション

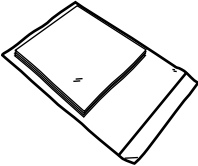
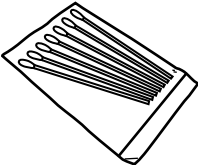
品名	型名	説明
AC アダプター	FI-224ACJ	スキャナーに電源を供給する電源装置です。
AC ケーブル	FI-224ACC	スキャナーに電源を供給するケーブルです。
USB ケーブル	FI-224USC	スキャナーとコンピューターを接続するケーブルです。
シューター	FI-224CHT	読み取る原稿をセットするための台です。 本書では、「ADF 給紙シュート（フィーダー）」と呼んでいます。
スタッカー	FI-224STC	排出された原稿が積み重ねられる台です。
スタッカーストッパー	FI-224STP	スタッカーに排出される原稿が、原稿の長さ方向にバラバラにならないようにするとき使用する部品です。
A3 キャリアシート 	FI-X15ES	A3 キャリアシートは、原稿を保護する原稿搬送用シートです。 A3 や B4 などの A4 サイズより大きい原稿や、切り抜きなどの原稿を、傷つけずに読み取りできます。 A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
写真キャリアシート 	FI-X15CP	写真キャリアシートは、原稿を保護する原稿搬送用シートです。 写真や切り抜きなどの原稿を、傷つけずに読み取りできます。 写真キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
ScanAid	FI-224SA	ScanAid は、スキャナーに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。 ScanAid を購入すると、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。 ScanAid の梱包品については、 ScanAid の梱包品 (188 ページ) を参照してください。

スキャナーのオプションの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(200 ページ\)](#)にお問い合わせください。

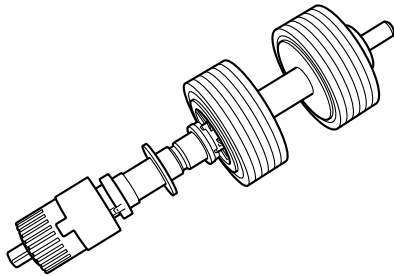
スキャナーのオプションの詳細は、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(199 ページ\)](#)にお問い合わせください。

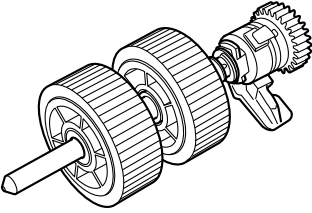
● ScanAid の梱包品

● 清掃用品

品名	備考
クリーナ F1 (1 本) 	容量：50ml
クリーニングペーパー (1 パック) 	10 枚入り/1 パック
クリーニングクロス (1 パック) 	20 枚入り/1 パック
綿棒 (2 パック) 	50 本入り/1 パック

● 消耗品

品名	備考
ブレーキローラ (1 個) 	200,000 枚ごとに交換

品名	備考
ピックローラ（1 個） 	200,000 枚ごとに交換

スキャナーのオプションの交換

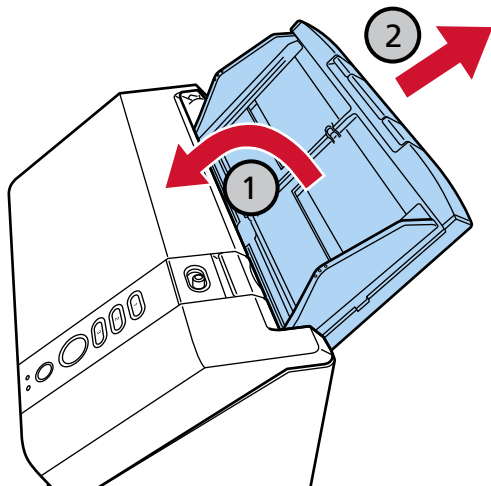
次のスキャナーのオプションを交換する手順について説明します。

- ADF 給紙シュート（フィーダー）
- スタッカー
- スタッカーストッパー

ADF 給紙シュート（フィーダー）の交換

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。

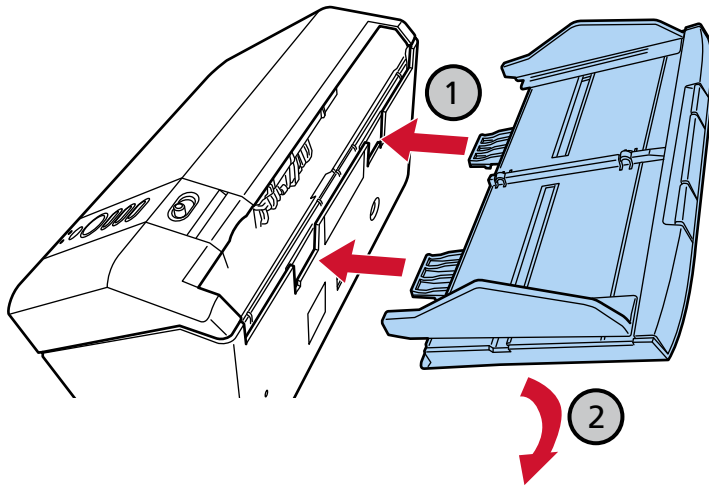
ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、①の矢印方向に持ち上げながら、②の矢印方向に引き上げます。



- 3 新しい ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けます。

スキャナー背面にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように、①の矢印方向に差し込み、②の矢印方向に引き下げてしっかり固定します。

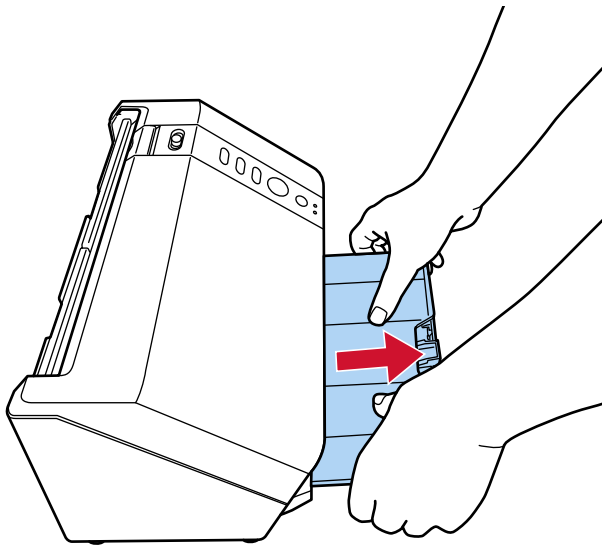
サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。

**重要**

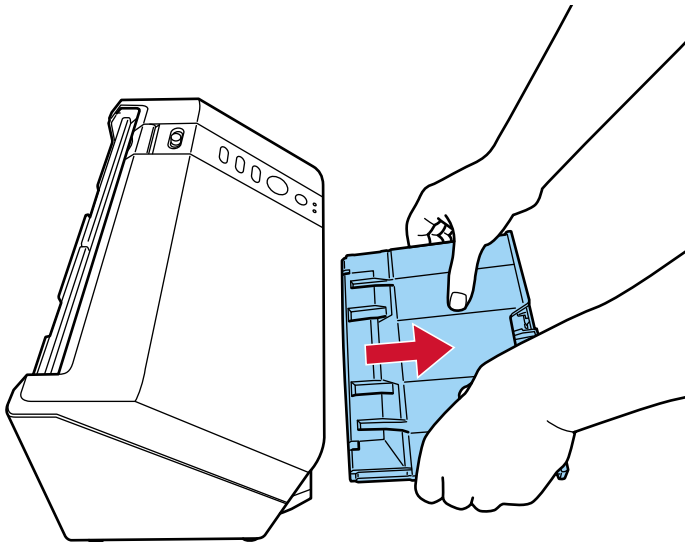
ADF 給紙シュート（フィーダー）はスキャナーとの隙間がないようにしっかり差し込んでください。

スタッカーの交換

- 1 スタッカーを手前に引き出します。



- 2 スタッカーをスキャナーから取り外します。
スタッカーの中央部分を下向きに軽く湾曲させながら、スタッカーを取り外してください。



- 3 新しいスタッカーをスキャナーに取り付けます。
取り外しと逆の手順で取り付けてください。

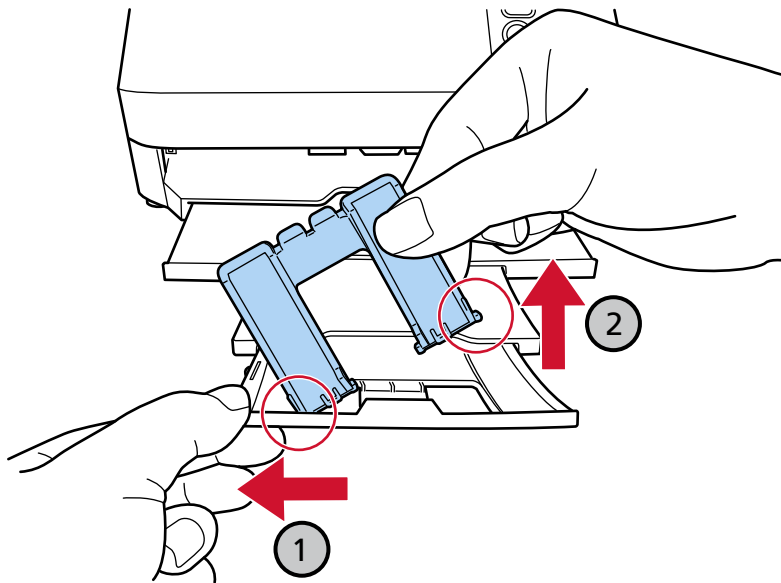
スタッカーストッパーの交換

- 1 スタッカーを引き出します。

→ [スタッカーの設定 \(42 ページ\)](#)

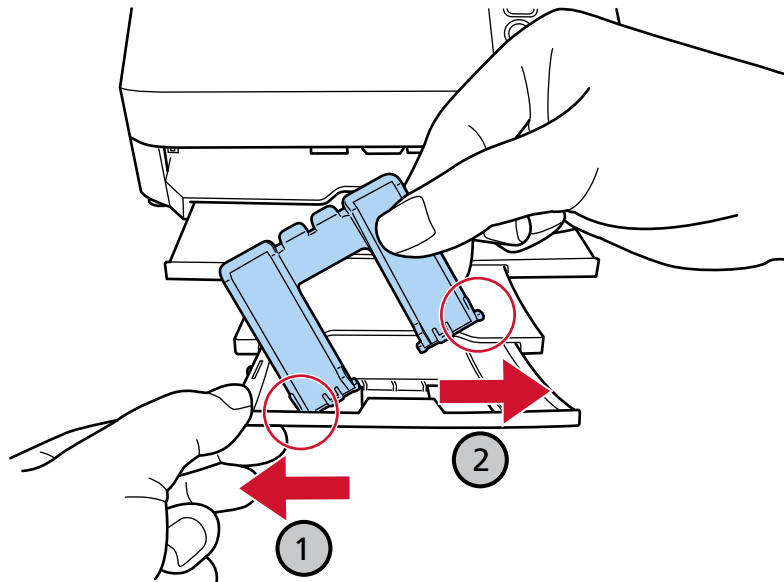
- 2 スタッカーストッパーをスキャナーから取り外します。

スタッカーストッパーの突起を①の矢印方向に押し込んで、反対側の突起を②の矢印方向に持ち上げるようにして取り外してください。



- 3 新しいスタッカーストッパーをスキャナーに取り付けます。

スタッカーストッパーが取り付けられていた箇所にある穴に、スタッカーストッパーの片方の突起を①の矢印方向に差し込んでから、もう一方の突起も同じように、②の矢印方向に差し込んで取り付けてください。



ソフトウェアのアンインストール手順

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にサインインします。
- 2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。
- 3 Windows の「コントロール パネル」画面を表示します。
- 4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。
「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。
- 5 削除するソフトウェアをクリックします。
 - PaperStream IP ドライバーを削除する場合
次のどれかをクリックしてください。
 - PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series
 - Software Operation Panel/Error Recovery Guide を削除する場合
「Software Operation Panel」をクリックしてください。
 - Error Recovery Guide（マニュアル）を削除する場合
「Error Recovery Guide for SP Series」をクリックしてください。
 - PaperStream ClickScan を削除する場合
「PaperStream ClickScan」をクリックしてください。
 - PaperStream Capture を削除する場合
「PaperStream Capture」をクリックしてください。
 - マニュアルを削除する場合
「SP Series manuals for SP-2240」をクリックしてください。
 - SP Series Online Update を削除する場合
「SP Series Online Update」をクリックしてください。
- 6 【アンインストール】 ボタン/ 【アンインストールと変更】 ボタンをクリックします。
- 7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、【OK】 ボタン/ 【はい】 ボタンをクリックします。
アンインストールが実行されます。

e-文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e-文書法（*1）の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

次に、本製品を使用して e-文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。

重要

- 画像の原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任で実施してください。
- A4 サイズより大きい原稿を A3 キャリアシートを使用して読み取る場合や両面印刷された原稿を読み取って表裏の画像を合成する場合は、文書の種類によって次の点に注意してください。
 - 国税関係書類の場合
表裏の画像を合成することは、推奨しません。
 - 国税関係書類以外の場合
表裏の画像を合成した場合、折り目にある情報が欠けていないかを確認してください。
情報が欠けていた場合は、次の対処をしてから、再度原稿を読み取ってください。
 - 文字などの情報がない部分に折り目を変更する
 - 原稿をしっかりと折り曲げる

*1：e-文書法（通称）とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナーで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。

e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。

● e-文書法に対応する要件

e-文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ると、次の法令要件に対応した画像を作成できます。

財務省の省令（電子帳簿保存法）に定められた要件

解像度：200dpi（8 ドット/mm）以上

カラー：24bit カラー（RGB 各色 256 階調）以上またはグレー（256 階調以上）（*1）

非可逆圧縮での画質規定：JIS X6933 または ISO12653 テストチャートの 4 ポイントの文字が認識できること

*1：国税関係書類の文書でグレー（256 階調以上）での保存が認められるのは、資金や物の移動に関連しない国税関係書類や定型的な約款が定められた契約申込書などの文書です。

例：見積書控、注文書控、定型的な約款が定められた保険契約申込書

厚生労働省の省令に定められた要件

診療等の用途に差し支えない精度

重要

- 電子帳簿保存法に対応するには、次の読み取り設定で「e-文書モード」を設定して、原稿を読み取ってください。
 - スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 本製品は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、紙原本に代えて画像で保存することはできません。各省庁より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名・タイムスタンプを画像に付与し、管理および運用していく必要があります。詳細は、当社にお問い合わせください。
<https://www.pfu.rioh.com/rm/anshinrm/>
- レシート、見積書などの国税関係書類は、税法で確実な保存が規定されている重要な文書です。これらの文書を画像として保存し、紙原本を廃棄するためには、電子帳簿保存法の要件に対応したシステム、業務規程の作成、および運用管理などの法定要件を満たして、所轄税務署長の承認が必要です。詳細は、省令を必ず参照してください。

● 原稿を読み取ったあとの検証

紙文書を電子化する場合、原稿を読み取ったあとに原稿の情報が正しく読み取られているかどうかを、次の観点で検証しなければなりません。

- ページの抜けがないか
- 文字がつぶれて読めない箇所がないか
- ごみ、筋などで不鮮明な箇所がないか
- 割り印などの、原稿の端にある情報が欠けていないか

画像の検証で問題があった場合、再度原稿を読み取って検証します。

検証で問題なければ、画像を登録、保存します。

重要

画像は、一切の修正を行ってはいけません。

修理・お問い合わせ

トラブル対処

原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 困ったときには (112 ページ)
- サポート & サービスのホームページ
(<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>)

また、お客様から寄せられた主なご質問とその回答を、次のホームページに掲載しています。
該当する項目がないか、確認してください。原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- よくあるご質問
(https://faq.pfu.jp/?site_domain=fi)

修理サービスのご案内

当社では、お客様に安心して業務用 イメージ スキャナー SP シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制によって、お客様を強力にバックアップいたします。

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。

保証期間については、保証書を参照してください。

製品保証のほか、有償保守サービスをご用意しております。

詳細は、次のホームページをご覧ください。株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/support/maintenance-service/>

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は販売終了後 5 年間です。

お問い合わせ窓口

お客様からの業務用 イメージ スキャナー SP シリーズ全般に関する操作や故障・トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。

故障・トラブルのお問い合わせのときは、[お問い合わせの前に確認すること \(145 ページ\)](#)を参考に必要事項を確認してください。

- **株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター**

お問い合わせ先

次のホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.rioh.com/imaging/contact.html>

サプライ用品の購入先

スキャナーの清掃方法と消耗品の交換方法については、[日常のお手入れ \(89 ページ\)](#)および[消耗品の交換 \(102 ページ\)](#)を参照してください。

清掃用品や消耗品のお問い合わせやご購入については、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

- **株式会社 PFU PFU ダイレクト**

お問い合わせ先

ホームページ

<https://www.pfu.ricoh.com/direct/>